

平成25年度

まちづくりアンケート 報告書

平成26年3月



長野市

はじめに

この「まちづくりアンケート」は、市民の皆様のご意見・ご要望をお聴きし、市政に反映させることを目的として、昭和 57 年度から毎年度実施しております。

調査から得られた結果を十分精査し、より正確でスピーディーな事務処理や、きめ細かなサービスの提供に努めてまいります。

また、さまざまな市政課題に対し、市民ニーズを的確に把握しつつ、前例踏襲からの脱却を図り、このアンケートでも実施した公共施設白書の実情を踏まえた見直しなど重要課題や懸案事項の解決に努めてまいります。

そして、不断の行財政改革を推進し、効率的な財政運営による健全財政の堅持に努め、さらなる市民サービスの充実・拡大に力を入れ、地域の特色を生かした魅力と個性のあふれる「まちづくり」を推進してまいります。

私は、市役所は市民のためにある、「市民は、お客様」と考えております。

このアンケートで市民の皆様から頂いた内容も含め、今後も職員の意識改革を推進し、風通しを良くして、人間関係をスムーズにすることにより、結果を出す、成果を出すという民間では当たり前のことを行う市役所に変えてまいります。

また、ふるさと長野のため、子どもたちの明るい未来のため、市民の皆様と共に力を合わせ、「守る」、「育てる」、「つなぐ」を実践して、「生き生き『ながの』元気な長野」を「市民と共に笑顔あふれる県都長野」をつくってまいります。

結びに、本アンケートの実施に当たり、ご協力いただきました皆様に心から感謝申し上げますとともに、今後とも市政に一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成 26 年 3 月

長野市長 加藤久雄

目 次

1	調査の概要	1
2	調査分析結果	9
	ネーミングライツについて	10
	長野市の公共施設について	24
	コンビニ納付・ペイジー納付について	41
	公共交通の活性化と自転車利用の促進について	51
	第四次長野市総合計画 施策の指標項目	62
	行政施策の満足度	67
	行政施策の優先度	79
3	アンケート用紙	85

1 調査の概要

1 調査の概要

(1) 調査の目的

市政に対する市民ニーズ、市が実施する事業に対する考え方、意見、満足度などを調査し、今後の施策の基礎資料とするもの（昭和 57 年度から毎年度実施）

(2) 調査対象

長野市内に在住の 20 歳以上の男女

(3) 標本の抽出

住民基本台帳（平成 25 年 10 月 16 日現在）からの等間隔無作為抽出

(4) 標本総数

5,000 人

(5) 調査方法

返信用封筒を同封した、質問票送付によるアンケート調査方式

(6) 調査期間

平成 25 年 10 月 25 日（金）から 11 月 8 日（金）まで

(7) 回収結果

有効（送達）標本数	5,000 通
無効（未送達、返送）標本数	0 通
回収標本数	2,977 通
回収率	59.5 %

(8) 集計方法

電子計算機による集計（委託）

		有効標本数	構成比	回収数		回収率
全体		5,000	100.0%	2,977	(性別不明)	59.5%
20歳代	男性	336	6.7%	102	0	30.4%
	女性	317	6.3%	145		45.7%
30歳代	男性	438	8.8%	171	1	39.0%
	女性	456	9.1%	248		54.4%
40歳代	男性	486	9.7%	206	0	42.4%
	女性	461	9.2%	289		62.7%
50歳代	男性	417	8.3%	236	0	56.6%
	女性	411	8.2%	294		71.5%
60歳代	男性	449	9.0%	326	1	72.6%
	女性	516	10.3%	391		75.8%
70歳以上	男性	309	6.2%	274	2	88.7%
	女性	404	8.1%	277		68.6%
不明		-	-	14	-	-

(9) 調査項目

回答者の属性

- A 地域区分 市街地地域、市街地周辺地域、犀南地域、松代・若穂、中山間地域
- B 性別区分 男性、女性
- C 年代区分 20 歳代、30 歳代、40 歳代、50 歳代、60 歳代、70 歳以上
- D 職業区分 [自営業主および家族従業員]
農業・林業・漁業、工業、商業・自由業
[会社員、公務員]
会社員（事務系・技術系） 公務員・教員
[その他]
主婦、パート・アルバイト、無職（学生含む） その他
- E 居住年数区分 5 年未満、5 年以上 10 年未満、10 年以上 20 年未満、20 年以上

設問テーマ

ネーミングライツについて（財政部 財政課）

市有施設等へのネーミングライツ（命名権）の導入を検討するに当たり、市民の関心や認知度、課題等を把握し、今後策定する基本方針の参考とする。

長野市の公共施設について（総務部 行政管理課）

「公共施設白書」の作成、公表後に作成を予定している「施設配置計画」検討のための参考とする。

コンビニ納付・ペイジー納付について（会計局 会計課）

平成 25 年度から導入したコンビニ納付・ペイジー納付についての認知度や今後の利用希望等を調査し、利用件数を増加させるための効果的な取り組みを検討する。

公共交通の活性化と自転車利用の促進について（企画政策部 交通政策課）

市営駐輪場の適正配置を公共交通利用活性化の政策の一つと考えている。自転車の利用度と満足度を調査し、実態を把握することで、新たな駐輪場設置についての検討資料とする。

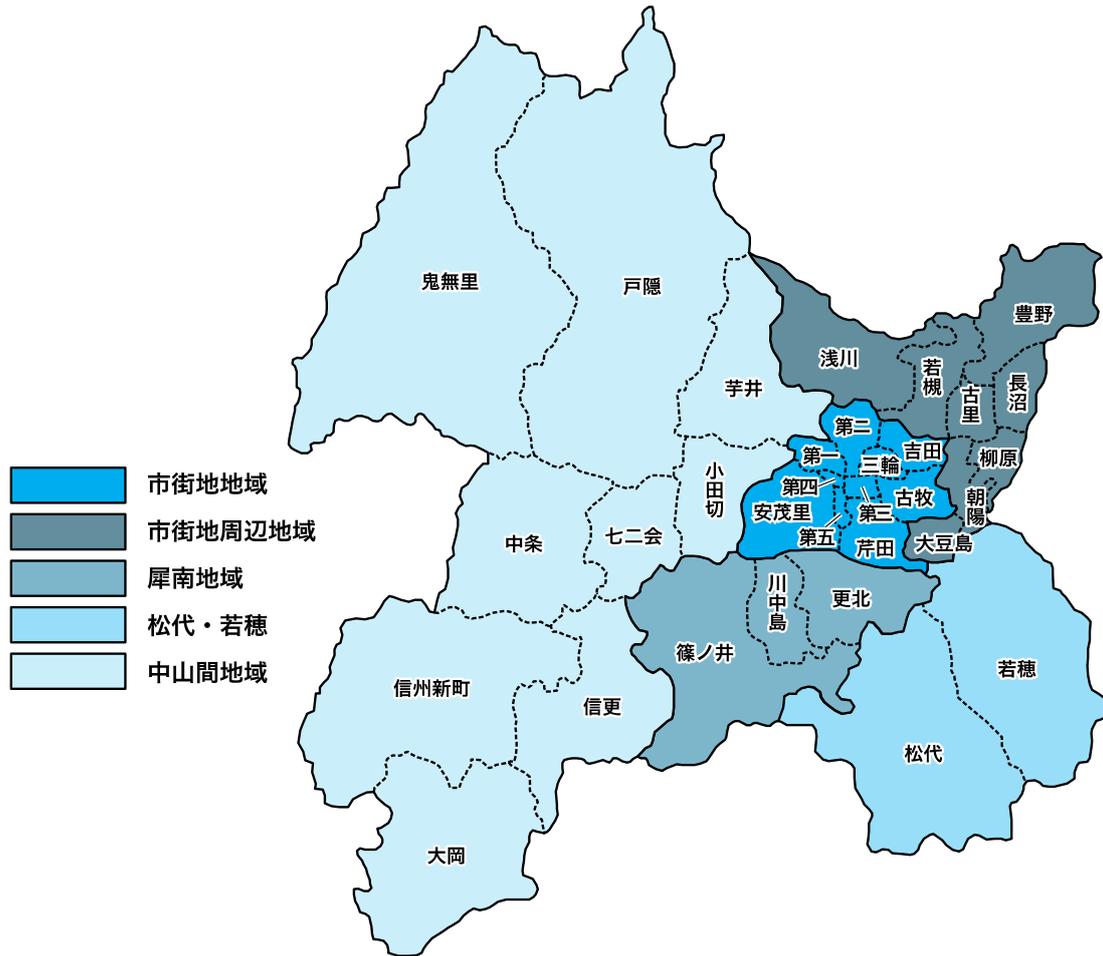
その他市政全般（企画政策部 企画課）

行政施策の満足度、優先度などについて継続的に統計をとり、第四次長野市総合計画の指標などに活用する。

(10) 地域区分別回収状況一覧

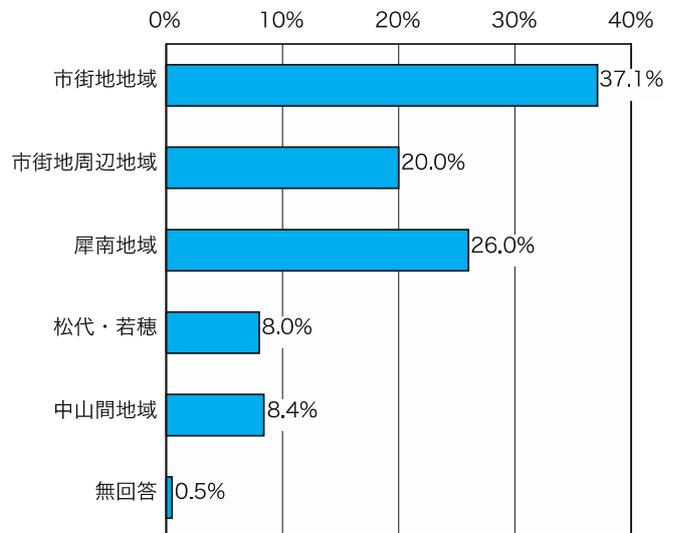
		抽出標本数			無効 標本数	有効 標本数	回収 標本数	有効標本 回収率
		男性	女性	合計				
市街地域	第一	48	32	80	0	80	53	66.3%
	第二	79	87	166	0	166	100	60.2%
	第三	60	64	124	0	124	48	38.7%
	第四	17	19	36	0	36	23	63.9%
	第五	31	34	65	0	65	40	61.5%
	芹田	170	140	310	0	310	191	61.6%
	古牧	157	177	334	0	334	195	58.4%
	三輪	101	121	222	0	222	134	60.4%
	吉田	96	123	219	0	219	155	70.8%
	安茂里	146	146	292	0	292	166	56.8%
	小計	905	943	1,848	0	1,848	1,105	59.8%
市街地周辺地域	古里	87	93	180	0	180	109	60.6%
	柳原	43	52	95	0	95	56	58.9%
	浅川	52	43	95	0	95	57	60.0%
	大豆島	72	92	164	0	164	83	50.6%
	朝陽	95	102	197	0	197	114	57.9%
	若槻	124	138	262	0	262	152	58.0%
	長沼	18	15	33	0	33	25	75.8%
	豊野	64	64	128	0	128	80	62.5%
	小計	555	599	1,154	0	1,154	676	58.6%
犀南地域	篠ノ井	263	271	534	0	534	310	58.1%
	川中島	160	189	349	0	349	230	65.9%
	更北	210	222	432	0	432	233	53.9%
	小計	633	682	1,315	0	1,315	773	58.8%
松代若穂	松代	129	111	240	0	240	161	67.1%
	若穂	77	87	164	0	164	77	47.0%
	小計	206	198	404	0	404	238	58.9%
中山間地域	小田切	10	7	17	0	17	8	47.1%
	芋井	18	15	33	0	33	17	51.5%
	七二会	6	18	24	0	24	13	54.2%
	信更	18	13	31	0	31	23	74.2%
	戸隠	36	15	51	0	51	32	62.7%
	鬼無里	9	13	22	0	22	12	54.5%
	大岡	5	9	14	0	14	10	71.4%
	信州新町	27	34	61	0	61	36	59.0%
	中条	7	19	26	0	26	18	69.2%
	小計	136	143	279	0	279	169	60.6%
不明(未記入)							16	-
合計		2,435	2,565	5,000	0	5,000	2,977	59.5%

(11) 地域区分図

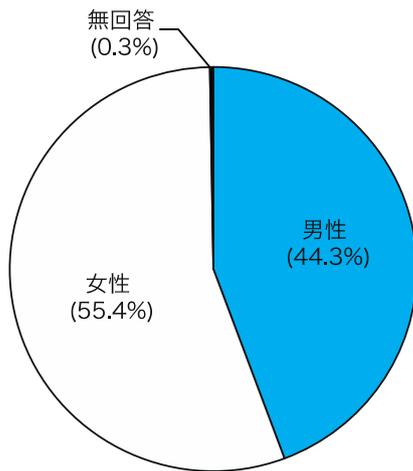


(12) 地域区分別サンプル構成

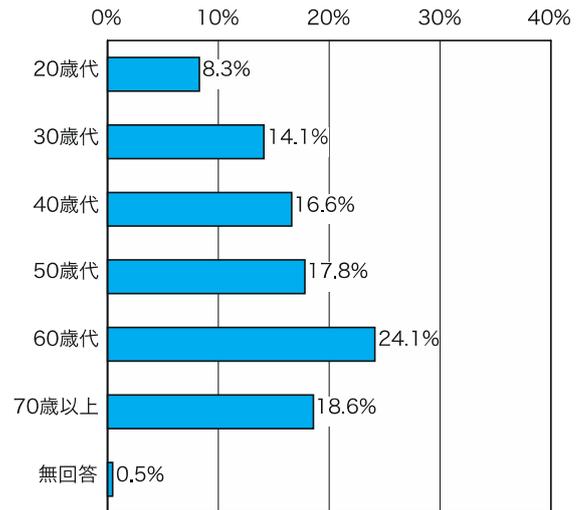
地域区分	地区名
市街地地域 (10地区)	第一地区、第二地区、第三地区、 第四地区、第五地区、芹田地区、 古牧地区、三輪地区、吉田地区、 安茂里地区
市街地周辺地域 (8地区)	古里地区、柳原地区、浅川地区、 大豆島地区、朝陽地区、 若槻地区、長沼地区、豊野地区
犀南地域 (3地区)	篠ノ井地区、川中島地区、 更北地区
松代・若穂 (2地区)	松代地区、若穂地区
中山間地域 (9地区)	小田切地区、芋井地区、 七二会地区、信更地区、戸隠地区、 鬼無里地区、大岡地区 信州新町地区、中条地区



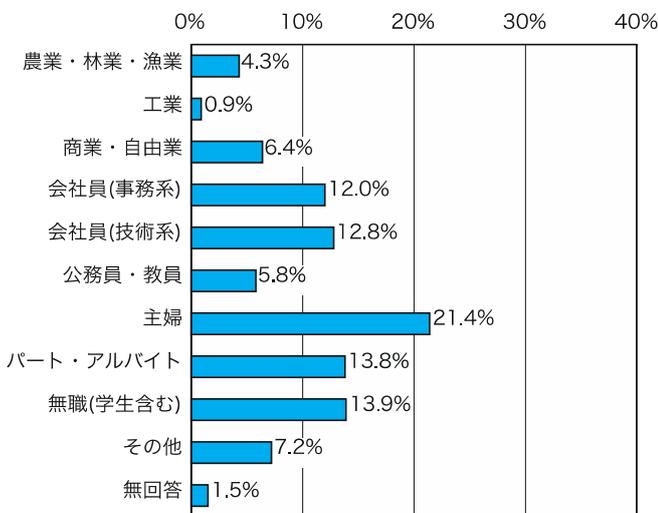
(13) 性別区分別サンプル構成



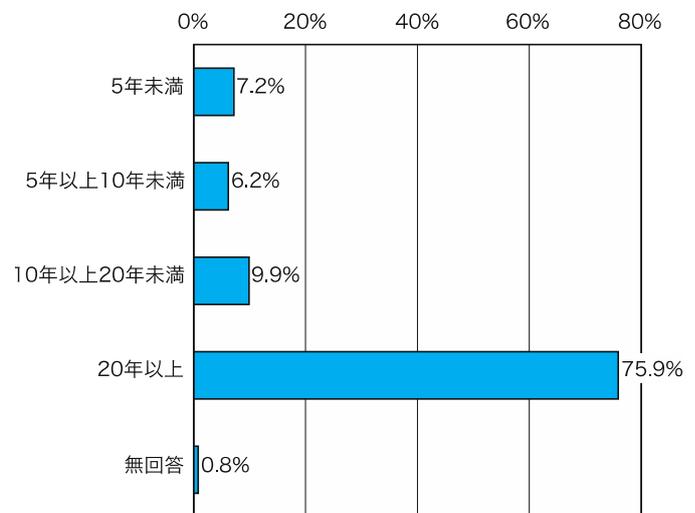
(14) 年代区分別サンプル構成



(15) 職業区分別サンプル構成



(16) 居住年数区分別サンプル構成



(17) 報告書の見方

調査結果の数値は、原則として百分率で表記した。百分率の値は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表記している。従って、内訳を合計しても100%に合致しない場合がある。

アンケートへの回答は、単数回答と複数回答を求めた設問があり、複数回答を求めた設問では、比率の合計が100%を上回る場合がある。

属性別の結果については、特徴的なもの、資料として重要と思われるものについて分析した。
なお、属性別に見た図表では、不明サンプルを表示していないため、標本数の合計が全体の標本数と異なる場合がある。

設問中の選択肢の文字数が多いものについては、本文中や図表中において、便宜上短く省略している場合がある。

(18) 標本の誤差

この調査の標本誤差は、次式によって得られる。ただし、信頼度は95%とする。

(注) 信頼度95%：同じ調査を100回実施したときに、おおむね95回まではこの精度が得られることを示す。

$$b = 1.96 \sqrt{\frac{N - n}{N - 1} \times \frac{P(1 - P)}{n}} \cong 1.96 \sqrt{\frac{P(1 - P)}{n}}$$

ただし、b：標本誤差（±少数ポイント）

N：母集団（人）

n：標本数（人）

P：回答比率（少数）

上式をもとに、本調査の標本誤差の早見表を掲げる。

回答比率と標本誤差（信頼度95%の場合）

回答比率 (P) 標本数 n (人)	10%または 90%程度	20%または 80%程度	30%または 70%程度	40%または 60%程度	50%
3,000	1.07	1.43	1.64	1.75	1.79
2,000	1.31	1.75	2.01	2.15	2.19
1,500	1.52	2.02	2.32	2.48	2.53
1,000	1.86	2.48	2.84	3.04	3.10
500	2.63	3.51	4.02	4.29	4.38
300	3.39	4.53	5.19	5.54	5.66

上表は $(N - n) / (N - 1) \cdot 1$ として算出している。なお、この表の計算式の信頼度は95%である。

表の見方

例えば、ある設問の回答者数が1,500人であり、その設問中のある選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は、最高でも±2.48%ポイント以内(57.52~62.48%)であると見ることができる。

2 調査分析結果

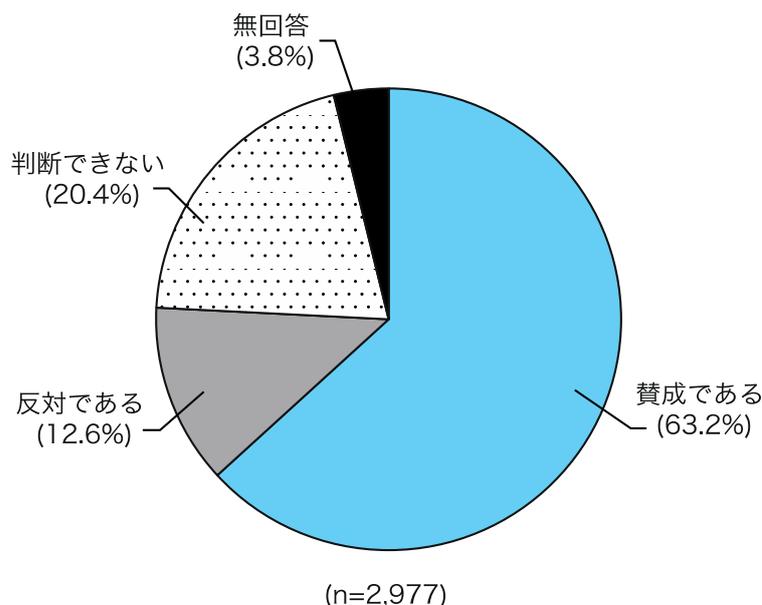
2 調査分析結果

ネーミングライツについて

導入について ~約6割が賛成~

「ネーミングライツ」とは、公共施設などの名称に、企業名、商品名などを冠した愛称を付与し、施設の名称として使用する代わりに、権利を取得した事業者から、対価（命名権料）を得るもので、施設運営などに係る資金調達の手段の一つとして、一部の地方公共団体において取り入れられています。

この「ネーミングライツ」について、お聞きします。（例：日産スタジアム、ホクト文化ホールなど）
問1 市有施設などへのネーミングライツの導入について、どのように考えますか。次の中から1つだけ をしてください。



ネーミングライツの導入については、「賛成である」が63.2%、「反対である」が12.6%となり、ネーミングライツの導入については、好意的な結果が得られました。

男女別に見ると、「賛成である」が1位であります。男性（69.4%）、女性（58.4%）となり、男女間で11ポイントの差がありました。男性の方が、ネーミングライツへの導入について好意的であることが分かりました。また「反対である」は「男性（13.3%）」、「女性（12.1%）」となり、1.2ポイントの差でした。

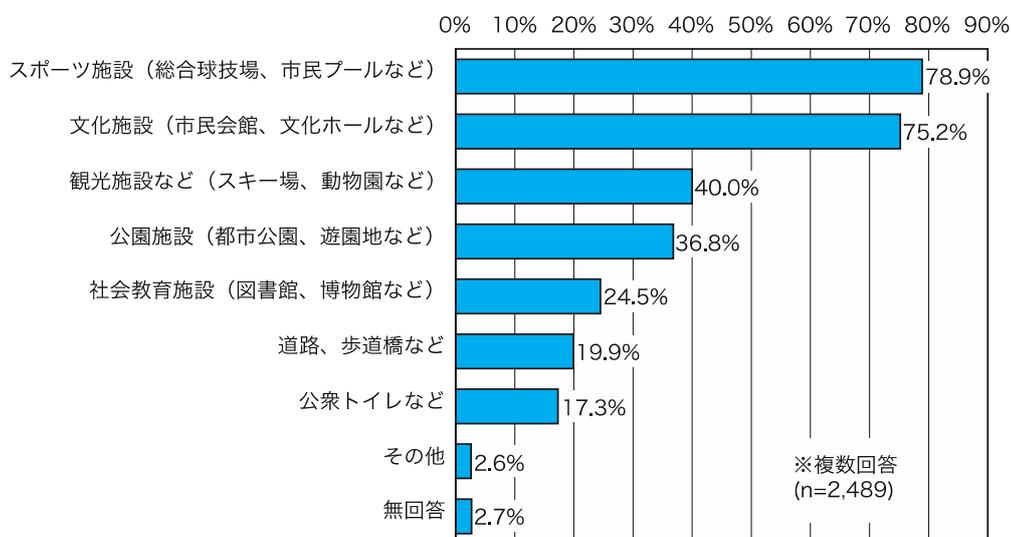
年代別で見ると、全ての年代で、「賛成である」が1位であります。一方、「反対である」は、「50歳代（14.5%）」、「60歳代（16.3%）」、「70歳以上（16.8%）」となり、50歳代以上の「反対である」は、40歳代以下の世代の約2倍の数字となっています。

地域区分別で見ると、どの地域もほぼ同じ割合となっています。

			合計	賛成である	反対である	判断できない	無回答
全体		回答数	2,977	1,881	375	608	113
		割合	100.0%	63.2%	12.6%	20.4%	3.8%
性別	男性	回答数	1,319	916	175	182	46
		割合	100.0%	69.4%	13.3%	13.8%	3.5%
	女性	回答数	1,650	963	199	426	62
		割合	100.0%	58.4%	12.1%	25.8%	3.8%
	無回答	回答数	8	2	1	0	5
		割合	100.0%	25.0%	12.5%	0.0%	62.5%
年代	20歳代	回答数	247	149	18	68	12
		割合	100.0%	60.3%	7.3%	27.5%	4.9%
	30歳代	回答数	420	283	31	94	12
		割合	100.0%	67.4%	7.4%	22.4%	2.9%
	40歳代	回答数	495	319	37	124	15
		割合	100.0%	64.4%	7.5%	25.1%	3.0%
	50歳代	回答数	530	353	77	86	14
		割合	100.0%	66.6%	14.5%	16.2%	2.6%
	60歳代	回答数	718	455	117	125	21
		割合	100.0%	63.4%	16.3%	17.4%	2.9%
	70歳以上	回答数	553	319	93	108	33
		割合	100.0%	57.7%	16.8%	19.5%	6.0%
	無回答	回答数	14	3	2	3	6
		割合	100.0%	21.4%	14.3%	21.4%	42.9%
地域区分	市街地地域	回答数	1,105	718	127	216	44
		割合	100.0%	65.0%	11.5%	19.5%	4.0%
	市街地周辺地域	回答数	596	362	80	128	26
		割合	100.0%	60.7%	13.4%	21.5%	4.4%
	犀南地域	回答数	773	492	105	154	22
		割合	100.0%	63.6%	13.6%	19.9%	2.8%
	松代・若穂	回答数	238	150	35	47	6
		割合	100.0%	63.0%	14.7%	19.7%	2.5%
	中山間地域	回答数	249	151	28	59	11
		割合	100.0%	60.6%	11.2%	23.7%	4.4%
	無回答	回答数	16	8	0	4	4
		割合	100.0%	50.0%	0.0%	25.0%	25.0%

導入施設について ～約8割が「スポーツ」・「文化」施設に～

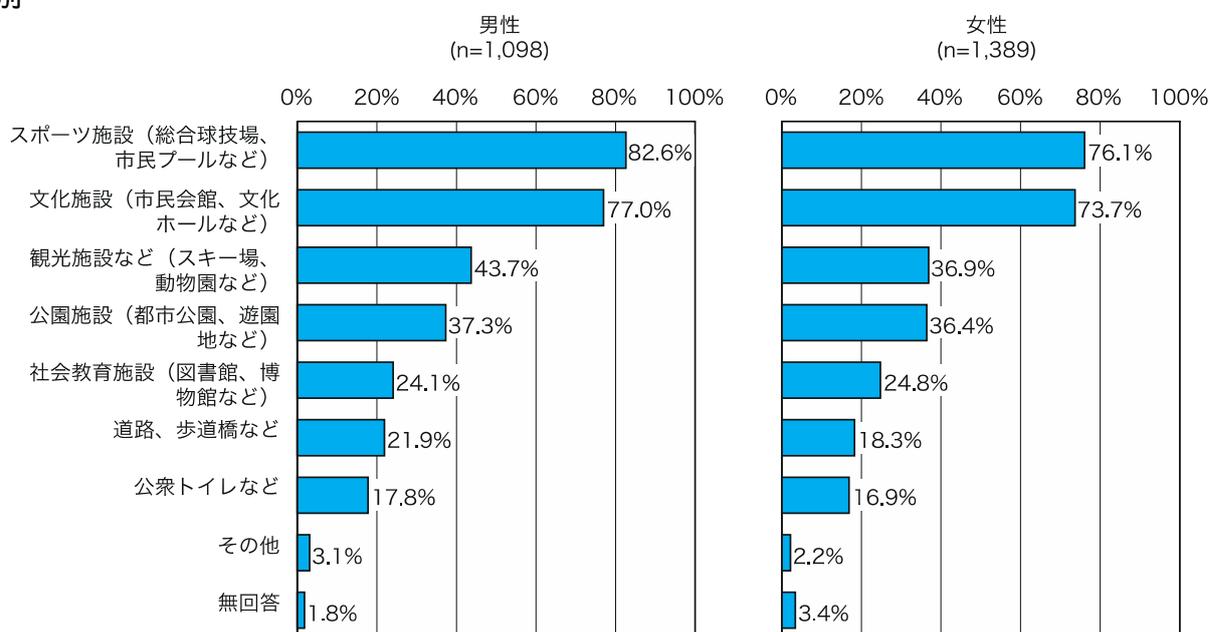
問2 問1で「1 賛成である」または「3 判断できない」にをした方にお聞きします。長野市でネーミングライツを導入する場合、どのような施設に導入すればよいと考えますか。当てはまるもの全てにしてください。



ネーミングライツを導入した場合、どのような施設に導入するのがよいのかは、「スポーツ施設（総合球技場、市民プールなど）(78.9%)」、「文化施設（市民会館、文化ホールなど）(75.2%)」となりました。一方、「道路、歩道橋など（19.9%)」、「公衆トイレ（17.3%)」は約2割という結果になりました。

男女別に見ると、順位については同じとなっていますが、割合で見ると、「スポーツ施設（総合球技場、市民プールなど）」では、「男性（82.6%)」、「女性（76.1%)」となり、男女間差が6.5ポイントで、「観光施設など（スキー場、動物園など）」については、「男性（43.7%)」、「女性（36.9%)」となり、男女間差が6.8ポイントで、この2項目は男女間差が比較的開きました。

男女別

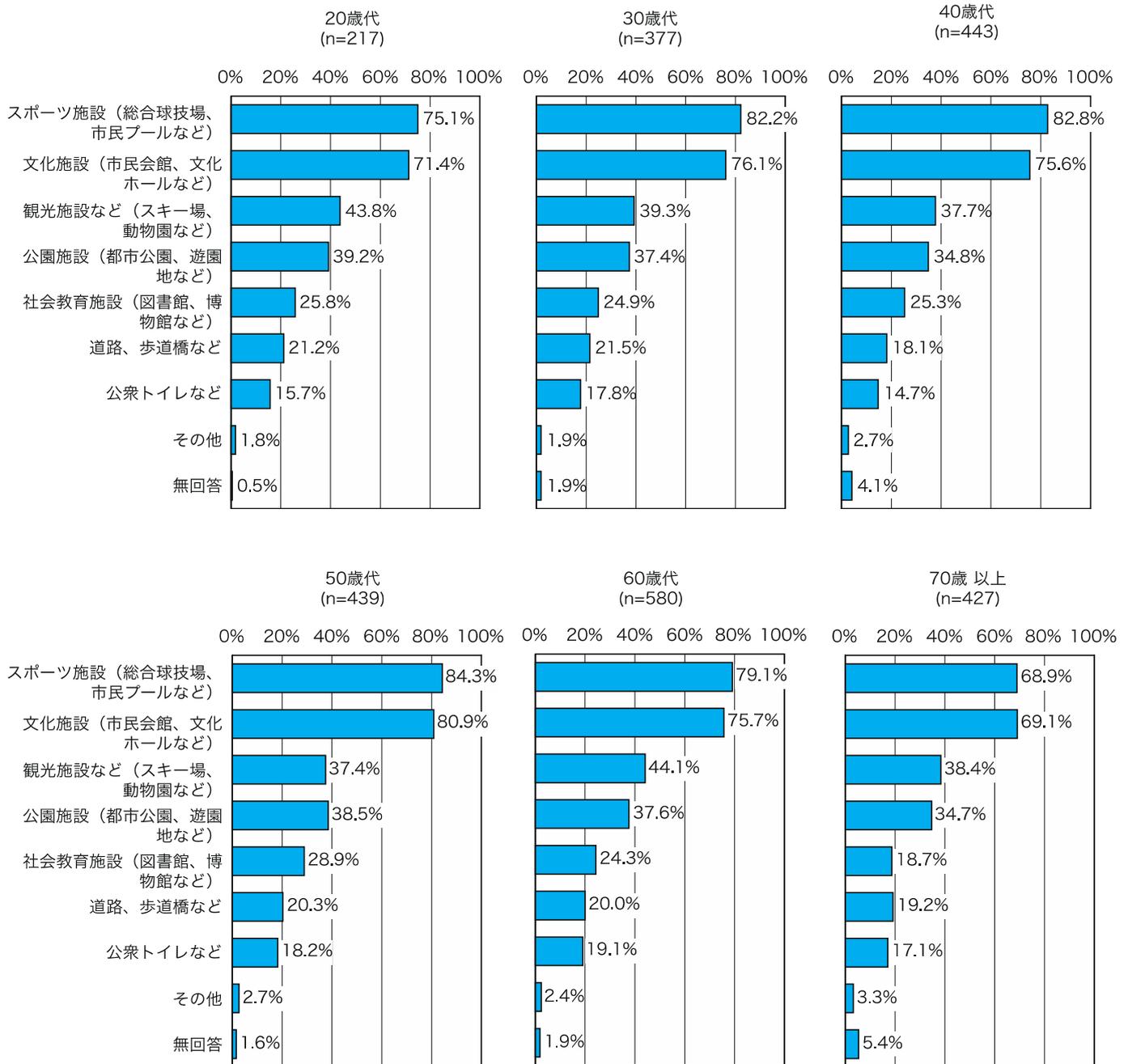


		合計	文化施設(市民会館、文化ホールなど)	スポーツ施設(総合球技場、市民プールなど)	社会教育施設(図書館、博物館など)	公園施設(都市公園、遊園地など)	観光施設など(スキー場、動物園など)	公衆トイレなど	道路、歩道橋など	その他	無回答	
全体	回答数	2,489	1,871	1,965	611	917	995	431	495	64	67	
	割合	-	75.2%	78.9%	24.5%	36.8%	40.0%	17.3%	19.9%	2.6%	2.7%	
性別	男性	回答数	1,098	846	907	265	410	480	195	240	34	20
		割合	-	77.0%	82.6%	24.1%	37.3%	43.7%	17.8%	21.9%	3.1%	1.8%
	女性	回答数	1,389	1,024	1,057	345	506	513	235	254	30	47
		割合	-	73.7%	76.1%	24.8%	36.4%	36.9%	16.9%	18.3%	2.2%	3.4%
無回答	回答数	2	1	1	1	1	2	1	1	0	0	
	割合	-	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	
年代	20歳代	回答数	217	155	163	56	85	95	34	46	4	1
		割合	-	71.4%	75.1%	25.8%	39.2%	43.8%	15.7%	21.2%	1.8%	0.5%
	30歳代	回答数	377	287	310	94	141	148	67	81	7	7
		割合	-	76.1%	82.2%	24.9%	37.4%	39.3%	17.8%	21.5%	1.9%	1.9%
	40歳代	回答数	443	335	367	112	154	167	65	80	12	18
		割合	-	75.6%	82.8%	25.3%	34.8%	37.7%	14.7%	18.1%	2.7%	4.1%
	50歳代	回答数	439	355	370	127	169	164	80	89	12	7
		割合	-	80.9%	84.3%	28.9%	38.5%	37.4%	18.2%	20.3%	2.7%	1.6%
60歳代	回答数	580	439	459	141	218	256	111	116	14	11	
	割合	-	75.7%	79.1%	24.3%	37.6%	44.1%	19.1%	20.0%	2.4%	1.9%	
70歳以上	回答数	427	295	294	80	148	164	73	82	14	23	
	割合	-	69.1%	68.9%	18.7%	34.7%	38.4%	17.1%	19.2%	3.3%	5.4%	
無回答	回答数	6	5	2	1	2	1	1	1	1	0	
	割合	-	83.3%	33.3%	16.7%	33.3%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%	
地域区分	市街地地域	回答数	934	708	736	227	358	402	156	191	19	21
		割合	-	75.8%	78.8%	24.3%	38.3%	43.0%	16.7%	20.4%	2.0%	2.2%
	市街地周辺地域	回答数	490	371	399	121	170	201	83	87	8	15
		割合	-	75.7%	81.4%	24.7%	34.7%	41.0%	16.9%	17.8%	1.6%	3.1%
	犀南地域	回答数	646	492	507	153	235	245	118	132	22	18
		割合	-	76.2%	78.5%	23.7%	36.4%	37.9%	18.3%	20.4%	3.4%	2.8%
	松代・若穂	回答数	197	143	154	59	78	69	32	36	7	8
割合		-	72.6%	78.2%	29.9%	39.6%	35.0%	16.2%	18.3%	3.6%	4.1%	
中山間地域	回答数	210	149	160	48	70	74	36	43	8	5	
	割合	-	71.0%	76.2%	22.9%	33.3%	35.2%	17.1%	20.5%	3.8%	2.4%	
無回答	回答数	12	8	9	3	6	4	6	6	0	0	
	割合	-	66.7%	75.0%	25.0%	50.0%	33.3%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	

年代別に見ると、「70歳以上」のみ「文化施設(市民会館・文化ホールなど)」が69.1%で1位となりました。他の年代は1位「スポーツ施設(総合球技場、市民プールなど)」、2位「文化施設(市民会館・文化ホールなど)」、3位「観光施設など(スキー場、動物園など)」となりました。

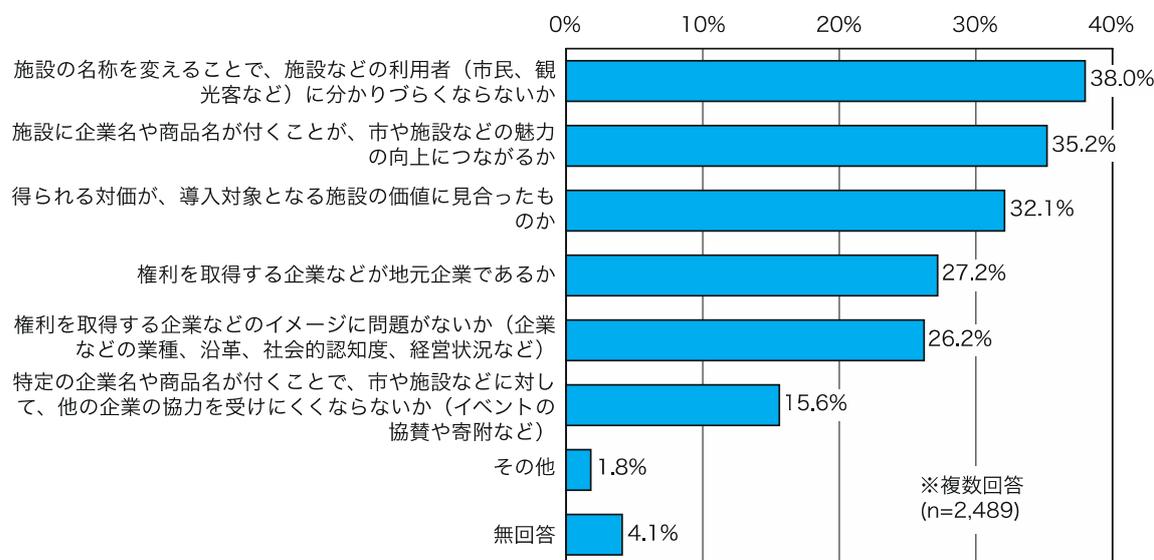
地域区分別に見ると、「市街地地域」、「市街地周辺地域」、「犀南地域」、「中山間地域」は、順位はほぼ同じでした。「松代・若穂」のみが「公園施設(都市公園、遊園地など)」が39.6%で3位、「観光施設など(スキー場、動物園など)」が35.0%で4位となり、3位と4位の順位が入れ替わっています。

年代別



重視すべきことは ～約4割が施設の本来の目的が分かりづらくなること～

問3 問1で「賛成である」または「判断できない」にをした方にお聞きします。ネーミングライツを導入するかどうかの検討に当たり、何を重視すべきであると考えますか。次の中から2つ以内で選び、をしてください。



ネーミングライツを導入するに当たり、重視すべきことは、「施設の名称を変えることで、施設などの利用者（市民、観光客など）に分かりづらくなるか」が38.0%と最も多く、次いで「施設に企業名や商品名が付くことが、市や施設などの魅力の向上につながるか（35.2%）」、「得られる対価が、導入対象となる施設の価値に見合ったものか（32.1%）」の順となりました。

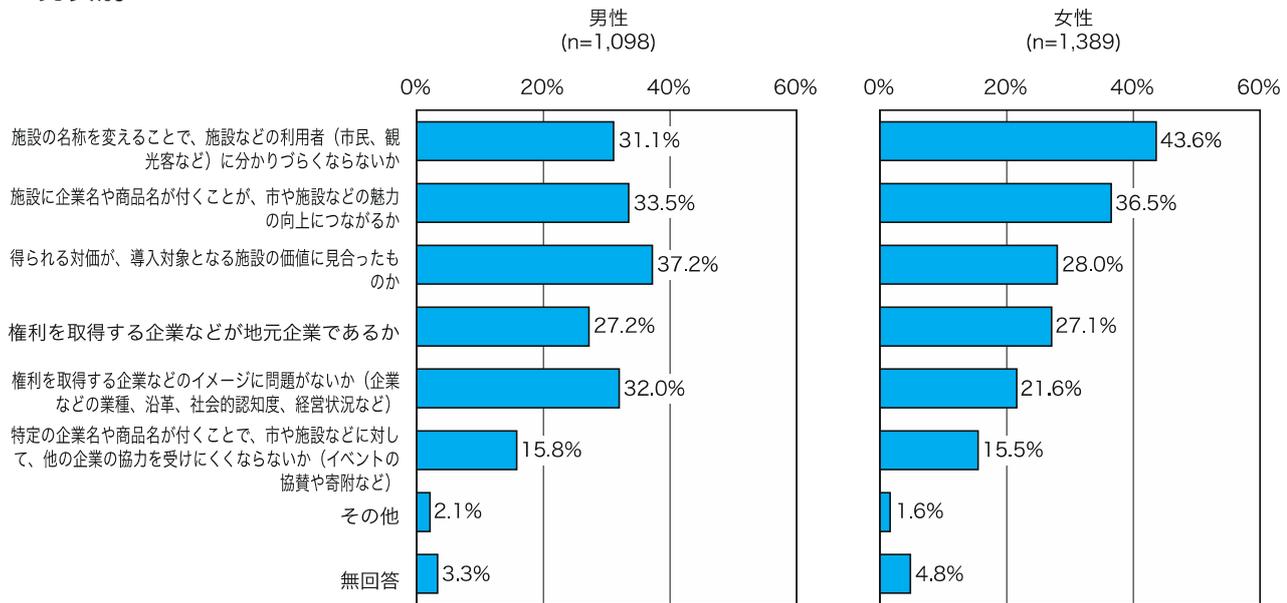
男女別に見ると、「男性」は、1位「得られる対価が、導入対象となる施設の価値に見合ったものか（37.2%）」、2位「施設に企業名や商品名が付くことが、市や施設などの魅力の向上につながるか（33.5%）」、3位「権利を取得する企業などのイメージに問題がないか（企業などの業種、沿革、社会的認知度、経営状況など）（32.0%）」となりました。

一方、「女性」は、1位「施設の名称を変えることで、施設などの利用者（市民、観光客など）に分かりづらくなるか（43.6%）」、2位「施設に企業名や商品名が付くことが、市や施設などの魅力の向上につながるか（36.5%）」、3位「得られる対価が、導入対象となる施設の価値に見合ったものか（28.0%）」となり、男性と女性では重視すべきことが異なることが分かりました。

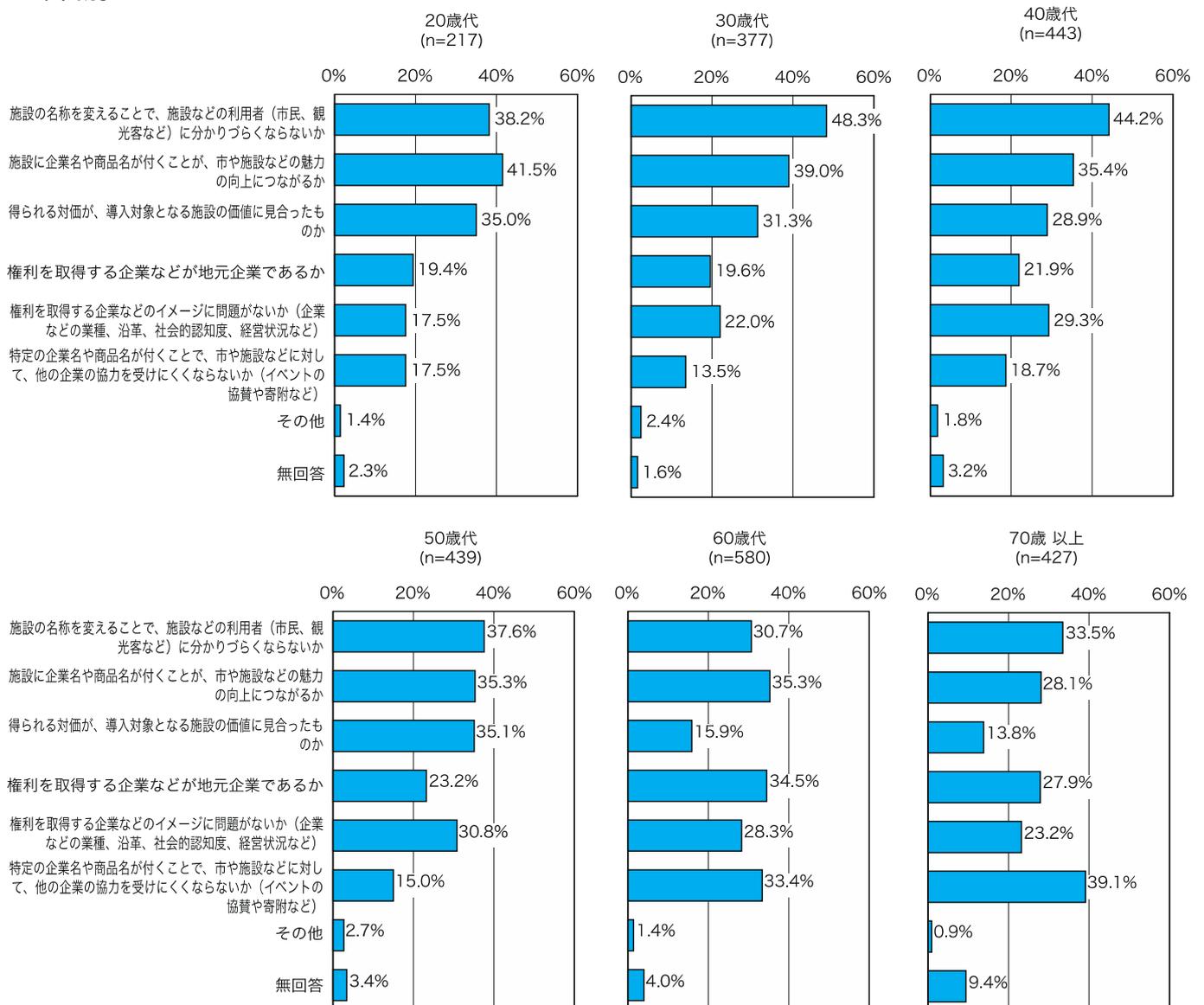
年代別に見ると、それぞれのトップは、「施設に企業名や商品名が付くことが、市や施設などの魅力の向上につながるか」が「20歳代（41.5%）」と「60歳代（35.3%）」。「施設の名称を変えることで、施設などの利用者（市民、観光客など）に分かりづらくなるか」が「30歳代（48.3%）」、「40歳代（44.2%）」、「50歳代（37.6%）」。「権利を取得する企業などが地元企業であるか」が「70歳以上（39.1%）」となり、年代別で重視する内容が異なることが分かりました。

		合計	得られる対価が、導入対象となる施設の価値に見合ったものか	施設に企業名や商品名が付くことが、市や施設などの魅力の向上につながるか	特定の企業名や商品名が付くことで、市や施設などに対して、他の企業の協力を受けにくくならないか(イベントの協賛や寄附など)	施設の名称を変えることで、施設などの利用者(市民、観光客など)に分かりづらくなかないか	権利を取得する企業などのイメージに問題がないか(企業などの業種、沿革、社会的認知度、経営状況など)	権利を取得する企業などが地元企業であるか	その他	無回答	
全体	回答数	2,489	798	875	389	947	651	677	45	103	
	割合	-	32.1%	35.2%	15.6%	38.0%	26.2%	27.2%	1.8%	4.1%	
性別	男性	回答数	1,098	408	368	174	341	351	299	23	36
		割合	-	37.2%	33.5%	15.8%	31.1%	32.0%	27.2%	2.1%	3.3%
	女性	回答数	1,389	389	507	215	606	300	377	22	66
		割合	-	28.0%	36.5%	15.5%	43.6%	21.6%	27.1%	1.6%	4.8%
	無回答	回答数	2	1	0	0	0	0	1	0	1
		割合	-	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%
年代	20歳代	回答数	217	76	90	38	83	38	42	3	5
		割合	-	35.0%	41.5%	17.5%	38.2%	17.5%	19.4%	1.4%	2.3%
	30歳代	回答数	377	118	147	51	182	83	74	9	6
		割合	-	31.3%	39.0%	13.5%	48.3%	22.0%	19.6%	2.4%	1.6%
	40歳代	回答数	443	128	157	83	196	130	97	8	14
		割合	-	28.9%	35.4%	18.7%	44.2%	29.3%	21.9%	1.8%	3.2%
	50歳代	回答数	439	154	155	66	165	135	102	12	15
		割合	-	35.1%	35.3%	15.0%	37.6%	30.8%	23.2%	2.7%	3.4%
	60歳代	回答数	580	178	205	92	200	164	194	8	23
		割合	-	30.7%	35.3%	15.9%	34.5%	28.3%	33.4%	1.4%	4.0%
	70歳以上	回答数	427	143	120	59	119	99	167	4	40
		割合	-	33.5%	28.1%	13.8%	27.9%	23.2%	39.1%	0.9%	9.4%
	無回答	回答数	6	1	1	0	2	2	1	1	0
		割合	-	16.7%	16.7%	0.0%	33.3%	33.3%	16.7%	16.7%	0.0%
地域区分	市街地地域	回答数	934	297	333	145	345	260	241	16	43
		割合	-	31.8%	35.7%	15.5%	36.9%	27.8%	25.8%	1.7%	4.6%
	市街地周辺地域	回答数	490	163	177	81	188	132	123	6	23
		割合	-	33.3%	36.1%	16.5%	38.4%	26.9%	25.1%	1.2%	4.7%
	犀南地域	回答数	646	207	224	93	254	171	190	16	18
		割合	-	32.0%	34.7%	14.4%	39.3%	26.5%	29.4%	2.5%	2.8%
	松代・若穂	回答数	197	66	65	33	73	42	53	4	9
		割合	-	33.5%	33.0%	16.8%	37.1%	21.3%	26.9%	2.0%	4.6%
	中山間地域	回答数	210	63	74	34	81	43	69	3	9
		割合	-	30.0%	35.2%	16.2%	38.6%	20.5%	32.9%	1.4%	4.3%
	無回答	回答数	12	2	2	3	6	3	1	0	1
		割合	-	16.7%	16.7%	25.0%	50.0%	25.0%	8.3%	0.0%	8.3%

男女別



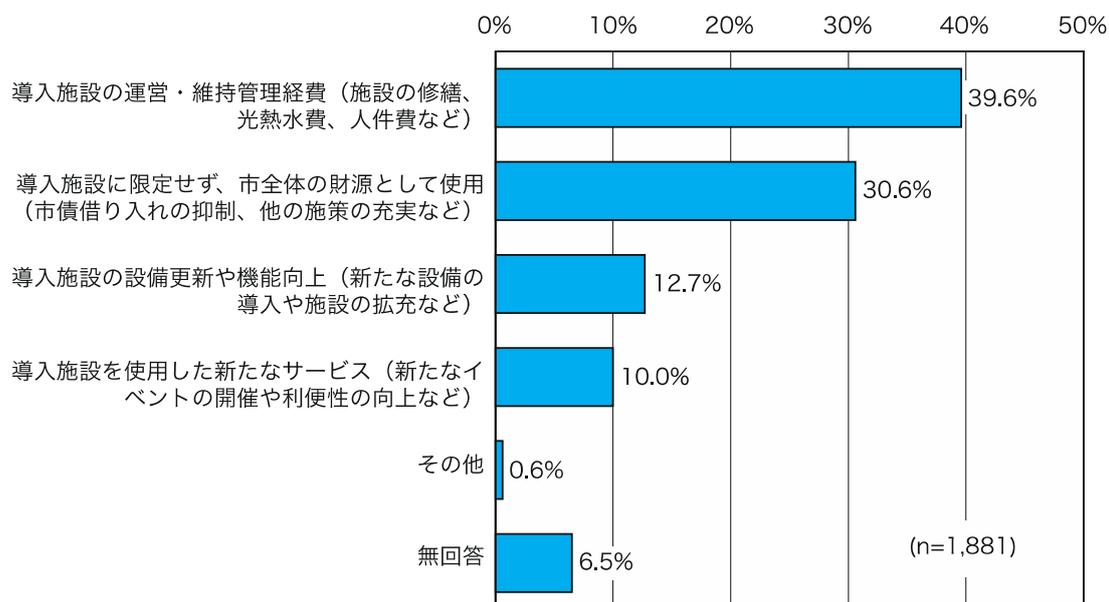
年代別



収入の使い道 ～約4割が施設の運営・維持管理に使用～

問4 問1で「賛成である」にした方にお聞きします。ネーミングライツで得た収入は、どのように使うのがよいと考えますか。次の中から1つだけ、をしてください。

		合計	導入施設の運営・維持管理経費(施設の修繕、光熱水費、人件費など)	導入施設の設備更新や機能向上(新たな設備の導入や施設の拡充など)	導入施設を使用した新たなサービス(新たなイベントの開催や利便性の向上など)	導入施設に限定せず、市全体の財源として使用(市債借入れの抑制、他の施策の充実など)	その他	無回答	
全体	回答数	1,881	744	239	188	576	12	122	
	割合	100.0%	39.6%	12.7%	10.0%	30.6%	0.6%	6.5%	
性別	男性	回答数	916	341	113	84	302	8	68
		割合	100.0%	37.2%	12.3%	9.2%	33.0%	0.9%	7.4%
	女性	回答数	963	402	126	104	273	4	54
		割合	100.0%	41.7%	13.1%	10.8%	28.3%	0.4%	5.6%
	無回答	回答数	2	1	0	0	1	0	0
		割合	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
年代	20歳代	回答数	149	46	36	19	39	2	7
		割合	100.0%	30.9%	24.2%	12.8%	26.2%	1.3%	4.7%
	30歳代	回答数	283	106	28	41	91	1	16
		割合	100.0%	37.5%	9.9%	14.5%	32.2%	0.4%	5.7%
	40歳代	回答数	319	136	48	33	83	2	17
		割合	100.0%	42.6%	15.0%	10.3%	26.0%	0.6%	5.3%
	50歳代	回答数	353	150	46	32	104	3	18
		割合	100.0%	42.5%	13.0%	9.1%	29.5%	0.8%	5.1%
	60歳代	回答数	455	184	42	35	155	4	35
		割合	100.0%	40.4%	9.2%	7.7%	34.1%	0.9%	7.7%
	70歳以上	回答数	319	120	39	28	103	0	29
		割合	100.0%	37.6%	12.2%	8.8%	32.3%	0.0%	9.1%
	無回答	回答数	3	2	0	0	1	0	0
		割合	100.0%	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
地域区分	市街地地域	回答数	718	285	94	66	219	3	51
		割合	100.0%	39.7%	13.1%	9.2%	30.5%	0.4%	7.1%
	市街地周辺地域	回答数	362	144	41	38	108	4	27
		割合	100.0%	39.8%	11.3%	10.5%	29.8%	1.1%	7.5%
	犀南地域	回答数	492	192	64	47	163	3	23
		割合	100.0%	39.0%	13.0%	9.6%	33.1%	0.6%	4.7%
	松代・若穂	回答数	150	60	22	21	35	2	10
		割合	100.0%	40.0%	14.7%	14.0%	23.3%	1.3%	6.7%
	中山間地域	回答数	151	61	17	16	47	0	10
		割合	100.0%	40.4%	11.3%	10.6%	31.1%	0.0%	6.6%
	無回答	回答数	8	2	1	0	4	0	1
		割合	100.0%	25.0%	12.5%	0.0%	50.0%	0.0%	12.5%



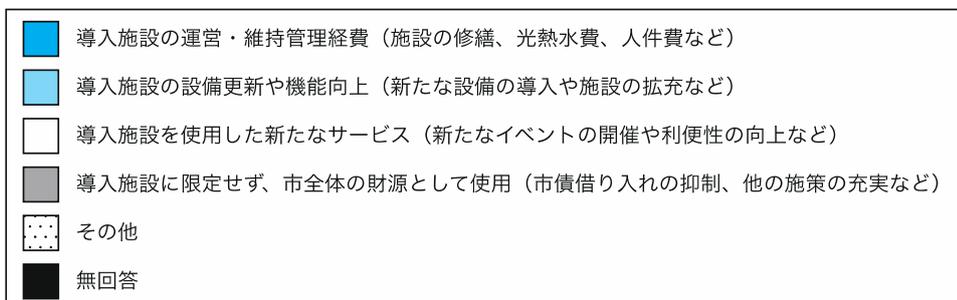
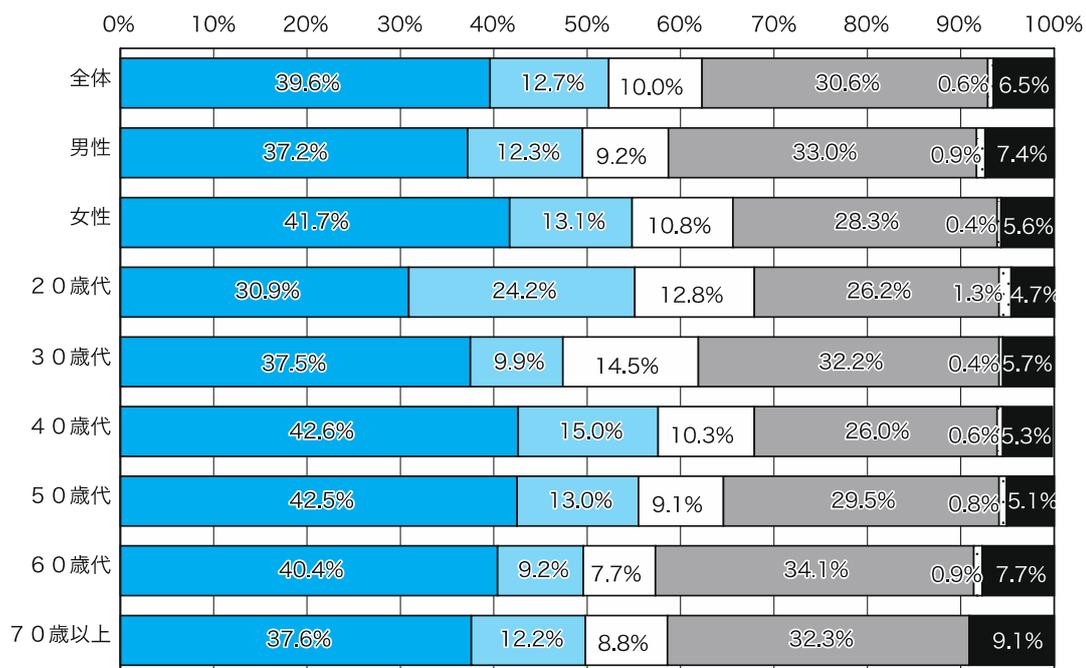
ネーミングライツの導入に賛成の方に、得られた収入の使い道を尋ねたところ、「導入施設の運営・維持管理経費（施設の修繕、光熱水費、人件費など）」が39.6%と最も多く、次に「導入施設に限定せず、市全体の財源として使用（市債借り入れの抑制、他の施策の充実など）」が30.6%となりました。

男女別では、共に「導入施設の運営・維持管理経費（施設の修繕、光熱水費、人件費など）」が1位で、「男性（37.2%）」、「女性（41.7%）」。「導入施設に限定せず、市全体の財源として使用（市債借り入れの抑制、他の施策の充実など）」が2位で、「男性（33.0%）」、「女性（28.3%）」。「導入施設の設備更新や機能向上（新たな設備の導入や施設の拡充など）」が3位で「男性（12.3%）」、「女性（13.1%）」となりました。

年代別では、「導入施設の運営・維持管理経費（施設の修繕、光熱水費、人件費など）」が「20歳代（30.9%）」、「30歳代（37.5%）」、「40歳代（42.6%）」、「50歳代（42.5%）」、「60歳代（40.4%）」、「70歳以上（37.6%）」で1位となり、次に「導入施設に限定せず、市全体の財源として使用（市債借り入れの抑制、他の施策の充実など）」が「20歳代（26.2%）」、「30歳代（32.2%）」、「40歳代（26.0%）」、「50歳代（29.5%）」、「60歳代（34.1%）」、「70歳以上（32.3%）」が2位となりました。また、「導入施設の設備更新や機能向上（新たな設備の導入や施設の拡大など）」が、「20歳代（24.2%）」、「40歳代（15.0%）」、「50歳代（13.0%）」、「60歳代（9.2%）」、「70歳以上（12.2%）」で3位となり、「30歳代」のみ「導入施設を使用した新たなサービス（新たなイベントの開催や利便性の向上など）」が14.5%で3位となりました。

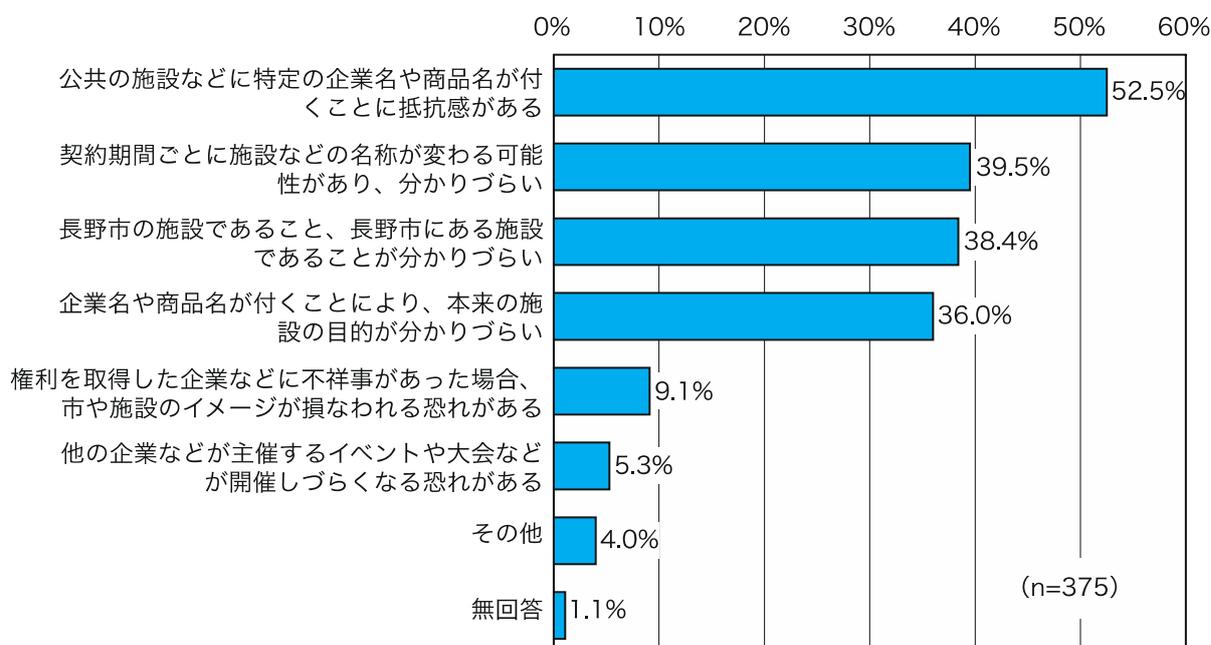
地域区分別では、全ての地域で「導入施設の運営・維持管理経費（施設の修繕、光熱水費、人件費など）」、「導入施設に限定せず、市全体の財源として使用（市債借り入れの抑制、他の施策の充実など）」、「導入施設の設備更新や機能向上（新たな設備の導入や施設の拡充など）」の順となりました。

男女別、年代別



反対の理由 ~約5割が、企業名などが付くことに抵抗感あり~

問5 問1で「反対である」にをした方にお聞きします。ネーミングライツの導入に反対の理由は何ですか。次の中から2つ以内で選び、をしてください。



ネーミングライツを導入することに「反対である」方の理由は、「公共の施設などに特定の企業名や商品名が付くことに抵抗感がある（52.5%）」がトップで、次に「契約期間ごとに施設などの名称が変わる可能性があり、分かりづらい（39.5%）」、「長野市の施設であること、長野市にある施設であることが分かりづらい（38.4%）」の順となりました。

男女別では、1位は「公共の施設などに特定の企業名や商品名が付くことに抵抗感がある」で「男性（55.4%）」、「女性（50.3%）」と共に半数以上を占めました。

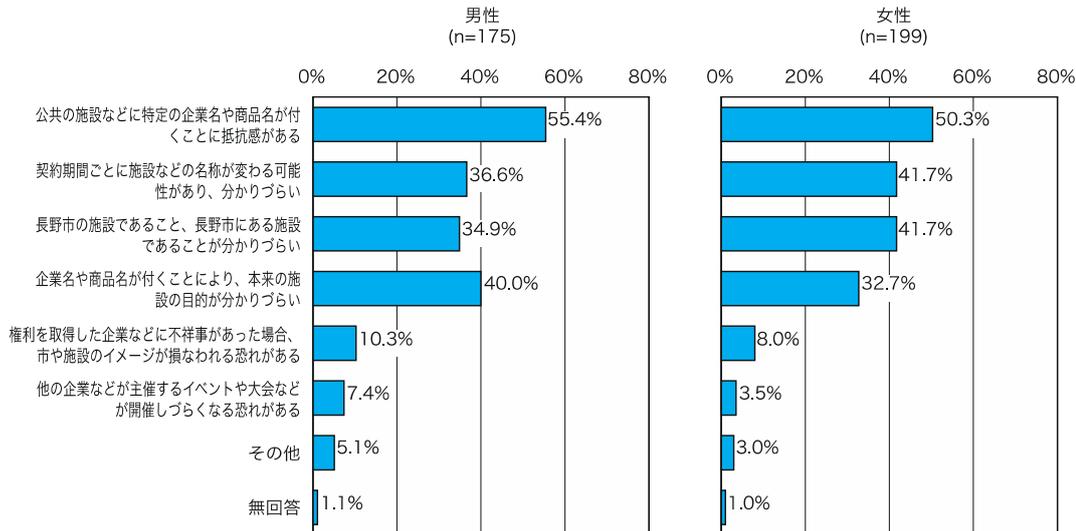
しかし、2位から4位については、男女間での意見は次のように異なりました。

「男性」では、2位「企業名や商品名が付くことにより、本来の施設の目的が分かりづらい（40.0%）」、3位「契約期間ごとに施設などの名称が変わる可能性があり、分かりづらい（36.6%）」、4位「長野市の施設であること、長野市にある施設であることが分かりづらい（34.9%）」。

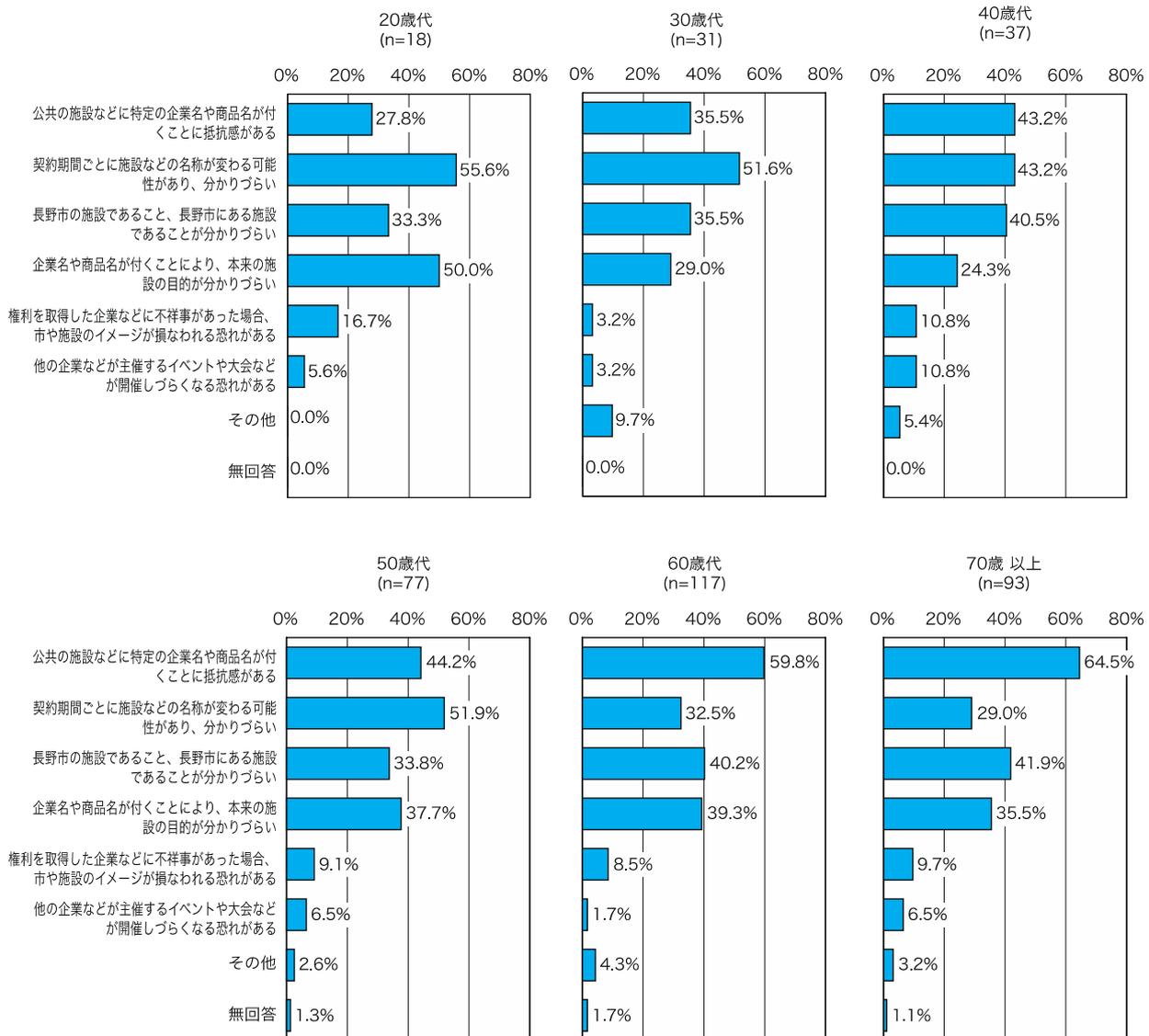
「女性」では、2位「契約期間ごとに施設などの名称が変わる可能性があり、分かりづらい（41.7%）」、3位「長野市の施設であること、長野市にある施設であることが分かりづらい（41.7%）」、4位「企業名や商品名が付くことにより、本来の施設の目的が分かりづらい（32.7%）」となりました。

年代別では、1位は「公共施設などに特定の企業名や商品名が付くことに抵抗感がある」で、「20歳代（27.8%）」、「30歳代（35.5%）」、「40歳代（43.2%）」、「50歳代（44.2%）」、「60歳代（59.8%）」、「70歳以上（64.5%）」で、50歳代以下に比べ60歳代以上は、特定の企業名や商品名が付くことに対して抵抗感が強いことが分かりました。

男女別



年代別



		合計	公共の施設などに特定の企業名や商品名が付くことに抵抗感がある	契約期間ごとに施設などの名称が変わる可能性があり、分かりづらい	企業名や商品名が付くことにより、本来の施設の目的が分かりづらい	長野市の施設であること、長野市にある施設であることが分かりづらい	権利を取得した企業などに不祥事があった場合、市や施設のイメージが損なわれる恐れがある	他の企業などが主催するイベントや大会などが開催しづらいくなる恐れがある	その他	無回答	
全体	回答数	375	197	148	135	144	34	20	15	4	
	割合	-	52.5%	39.5%	36.0%	38.4%	9.1%	5.3%	4.0%	1.1%	
性別	男性	回答数	175	97	64	70	61	18	13	9	2
		割合	-	55.4%	36.6%	40.0%	34.9%	10.3%	7.4%	5.1%	1.1%
	女性	回答数	199	100	83	65	83	16	7	6	2
		割合	-	50.3%	41.7%	32.7%	41.7%	8.0%	3.5%	3.0%	1.0%
	無回答	回答数	1	0	1	0	0	0	0	0	0
		割合	-	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
年代	20歳代	回答数	18	5	10	9	6	3	1	0	0
		割合	-	27.8%	55.6%	50.0%	33.3%	16.7%	5.6%	0.0%	0.0%
	30歳代	回答数	31	11	16	9	11	1	1	3	0
		割合	-	35.5%	51.6%	29.0%	35.5%	3.2%	3.2%	9.7%	0.0%
	40歳代	回答数	37	16	16	9	15	4	4	2	0
		割合	-	43.2%	43.2%	24.3%	40.5%	10.8%	10.8%	5.4%	0.0%
	50歳代	回答数	77	34	40	29	26	7	5	2	1
		割合	-	44.2%	51.9%	37.7%	33.8%	9.1%	6.5%	2.6%	1.3%
	60歳代	回答数	117	70	38	46	47	10	2	5	2
		割合	-	59.8%	32.5%	39.3%	40.2%	8.5%	1.7%	4.3%	1.7%
	70歳以上	回答数	93	60	27	33	39	9	6	3	1
		割合	-	64.5%	29.0%	35.5%	41.9%	9.7%	6.5%	3.2%	1.1%
	無回答	回答数	2	1	1	0	0	0	1	0	0
		割合	-	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
地域区分	市街地地域	回答数	127	67	51	44	54	10	5	3	0
		割合	-	52.8%	40.2%	34.6%	42.5%	7.9%	3.9%	2.4%	0.0%
	市街地周辺地域	回答数	80	45	32	26	32	8	8	2	1
		割合	-	56.3%	40.0%	32.5%	40.0%	10.0%	10.0%	2.5%	1.3%
	犀南地域	回答数	105	49	43	37	41	11	5	8	3
		割合	-	46.7%	41.0%	35.2%	39.0%	10.5%	4.8%	7.6%	2.9%
	松代・若穂	回答数	35	19	14	14	8	3	1	2	0
		割合	-	54.3%	40.0%	40.0%	22.9%	8.6%	2.9%	5.7%	0.0%
	中山間地域	回答数	28	17	8	14	9	2	1	0	0
		割合	-	60.7%	28.6%	50.0%	32.1%	7.1%	3.6%	0.0%	0.0%
	無回答	回答数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		割合	-	-	-	-	-	-	-	-	-

長野市の公共施設について

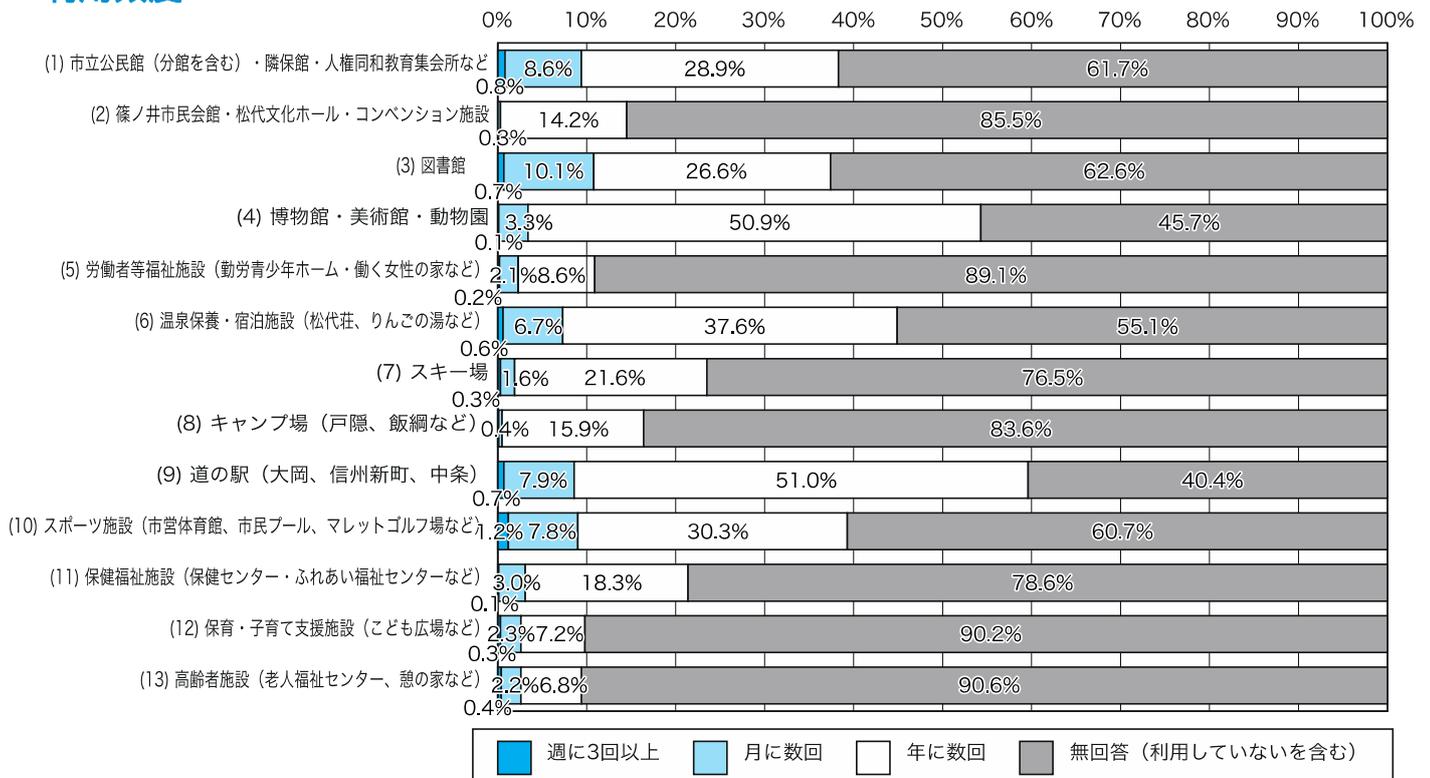
利用状況 ~利用頻度は、施設の大多数で「無回答（利用していないを含む）」がトップ~

わが国では、高度経済成長期に整備された数多くの公共施設が今後耐用年数を迎え老朽化が進むことから、施設の安全確保に向けた取り組みが急務となる一方、近年の財政状況を勘案すると、施設の維持管理・更新費の十分な確保は困難な状況にあります。

本市においても、少子高齢化の進行による税収の減少や社会保障費の増加、人口減少に伴う施設利用者数の減少などから、全ての公共施設を今のまま維持・更新していくことは難しくなると考えられます。今後、持続可能な行政サービスを提供していくためにも、施設の用途変更や統廃合、複合化・多機能化による施設総量（延床面積）の縮小なども含め、さまざまな視点から公共施設の将来の在り方について検討することが必要になるため、長野市の公共施設について、お聞きしました。

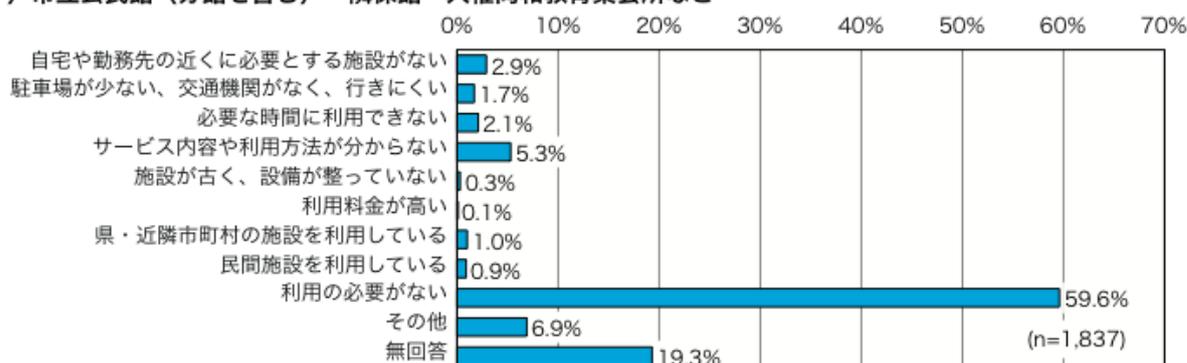
問6 長野市の公共施設の利用状況についてお聞きします。あなたは、長野市の公共施設をどの程度利用していますか。回答欄の(1)～(13)の長野市の公共施設について、利用されている方は、「週に3回以上」、「月に数回」、「年に数回」から1つ選んで、回答欄に をしてください。(観覧・参観などの利用だけでなく、主催者、演者、競技者などとしての場合も含まれます)また、利用されていない方は、<利用していない理由>欄にその理由として当てはまる番号を1つ選んで、回答欄の数字に をしてください。「10」に をした方は、その理由もご記入ください。

利用頻度

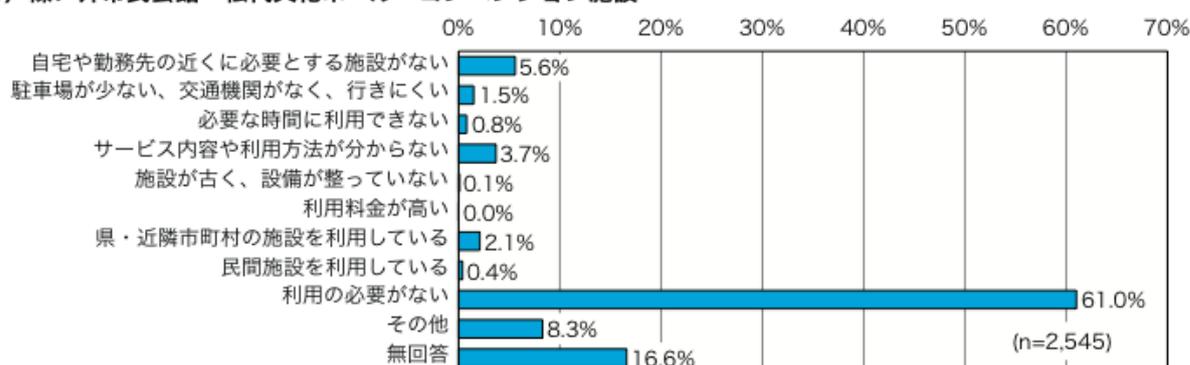


利用していない理由（各項目別） 施設を利用していない方の意見

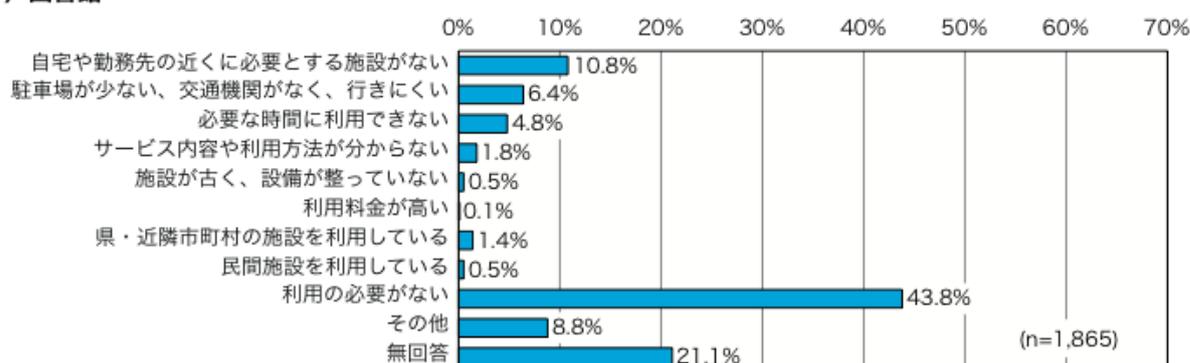
(1) 市立公民館（分館を含む）・隣保館・人権同和教育集会所など



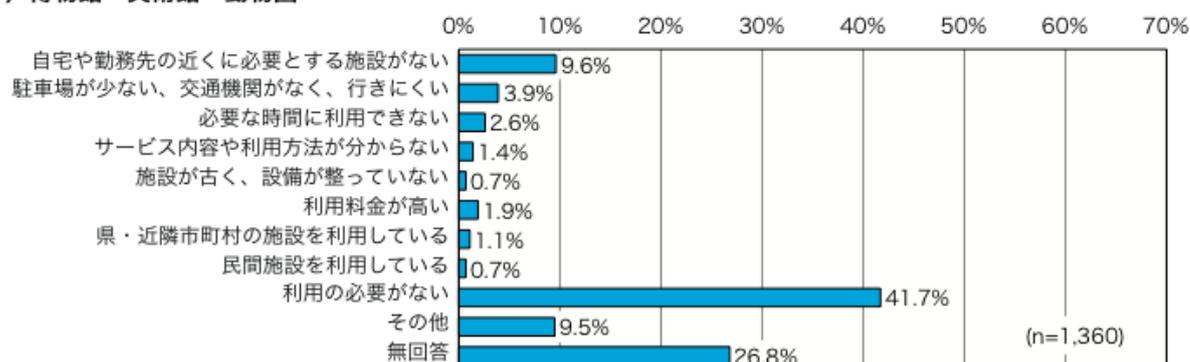
(2) 篠ノ井市民会館・松代文化ホール・コンベンション施設



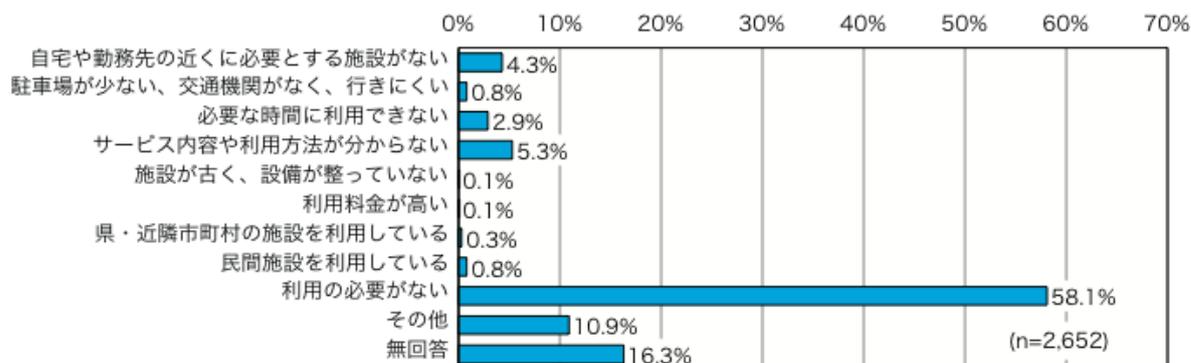
(3) 図書館



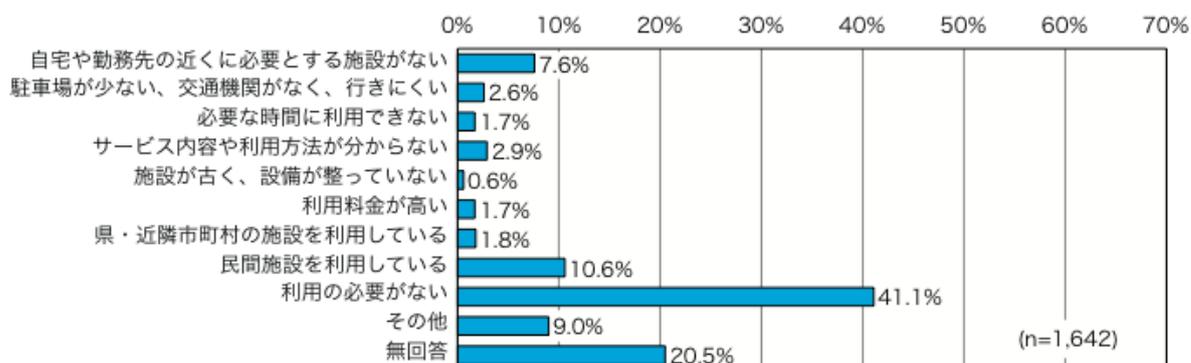
(4) 博物館・美術館・動物園



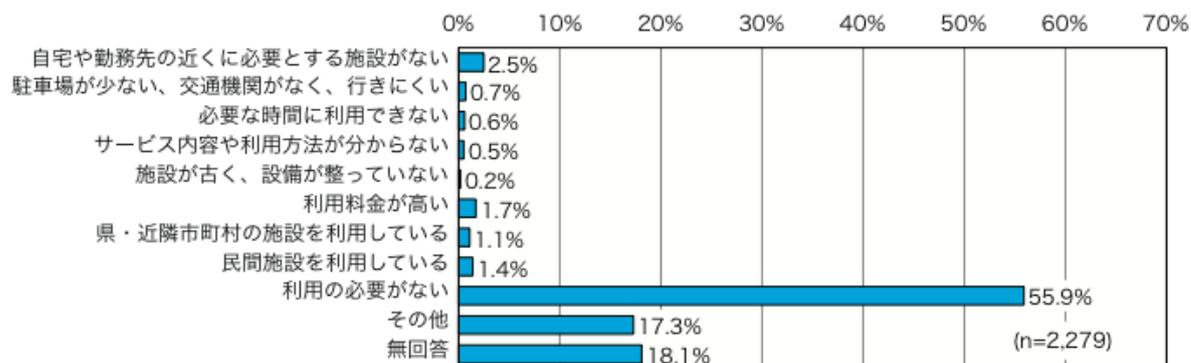
(5) 労働者等福祉施設（勤労青少年ホーム・働く女性の家など）



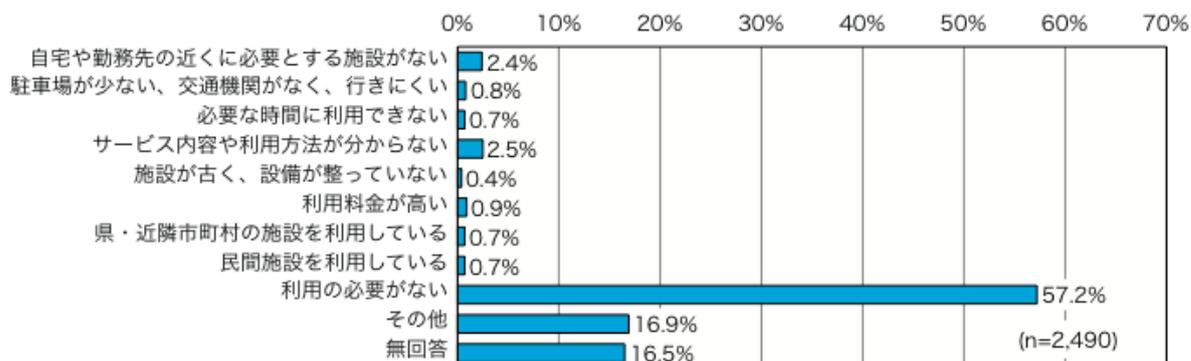
(6) 温泉保養・宿泊施設（松代荘・りんごの湯など）



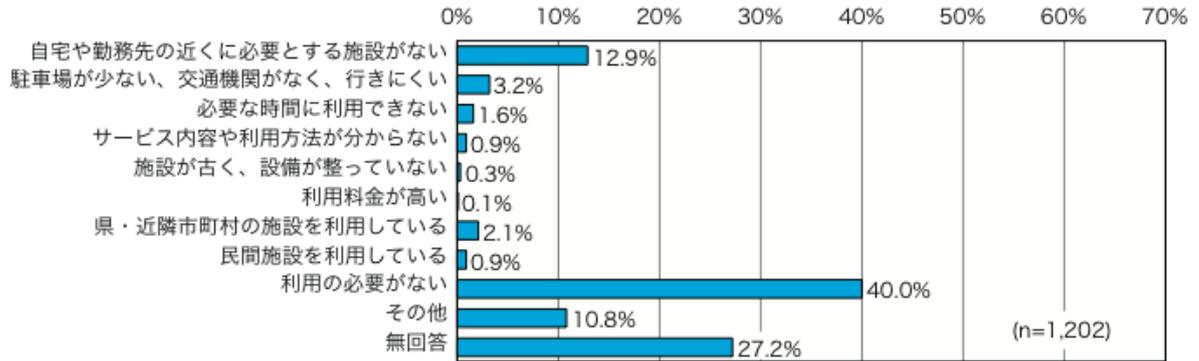
(7) スキー場



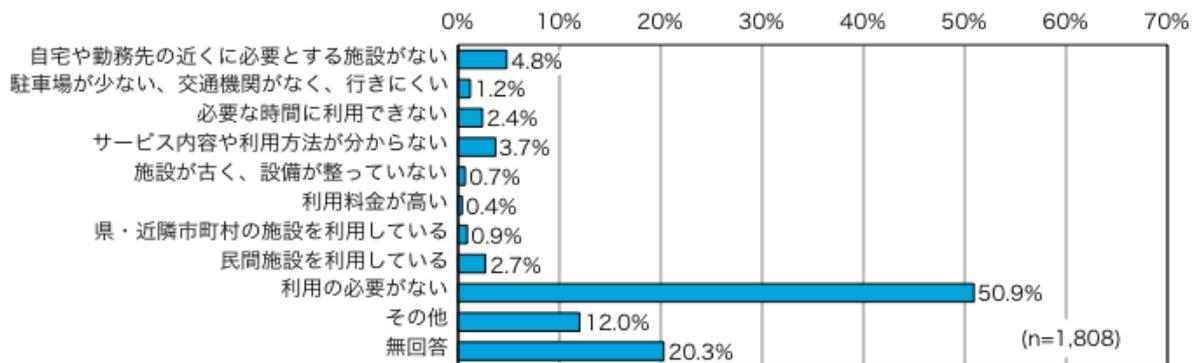
(8) キャンプ場（戸隠、飯綱など）



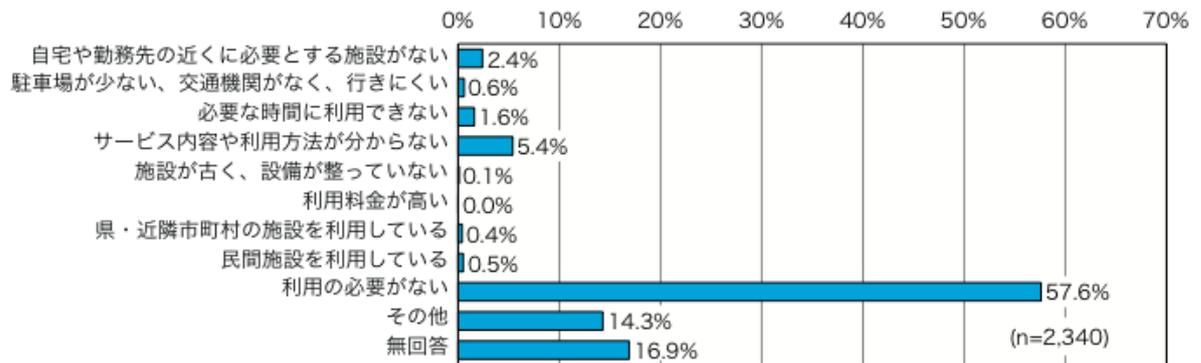
(9) 道の駅（大岡、信州新町、中条）



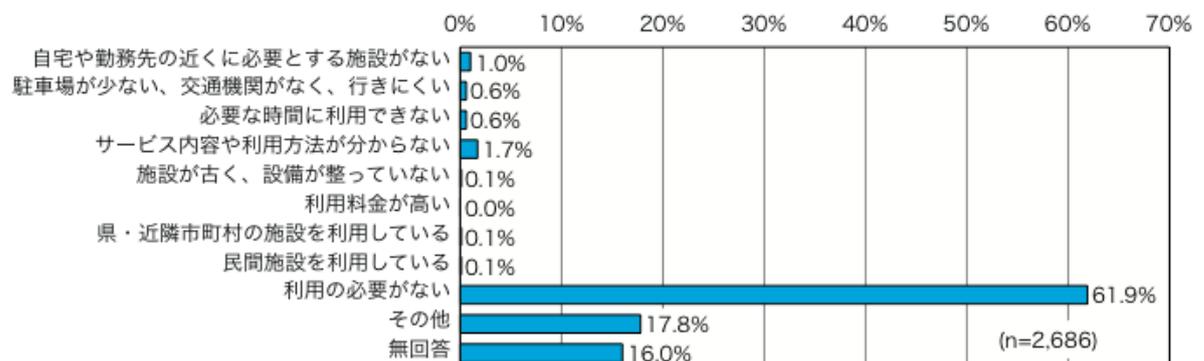
(10) スポーツ施設（市営体育館、市民プール、マレットゴルフ場など）



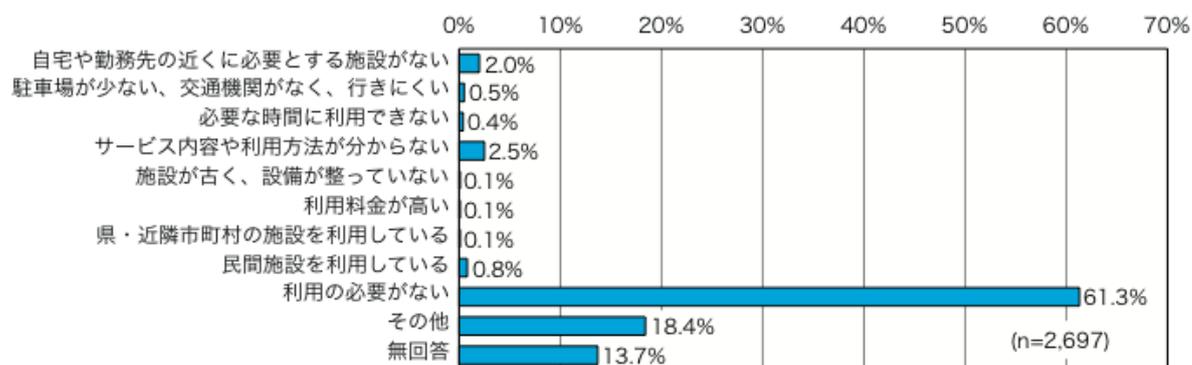
(11) 保健福祉施設（保健センター・ふれあい福祉センターなど）



(12) 保育・子育て支援施設（こども広場など）



(13) 高齢者施設（老人福祉センター、憩の家など）



利用頻度については、施設の大多数で「無回答（利用していないを含む）」がトップとなりました。ただし、「(4) 博物館・美術館・動物園（50.9%）」、「(9) 道の駅（大岡、信州新町、中条）（51.0%）」は、「年に数回」がトップとなりました。

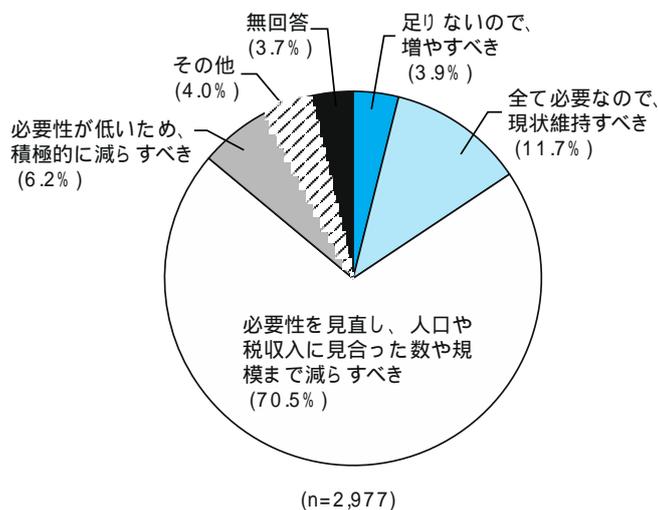
利用していない理由（各項目別：施設を利用していない方の意見）では、全ての施設項目で、「利用の必要がない」がトップとなりました。

選択肢		週に3回以上	月に数回	年に数回	無回答 利用していないを含む)	<利用していない理由>										無回答
						1 自宅や勤務先の近くに必要とする施設がない	2 駐車場が少ない、交通機関がなく、行きにくい	3 必要な時間に利用できない	4 サービス内容や利用方法が分からない	5 施設が古く、設備が整っていない	6 利用料金が高い	7 県近隣市町村の施設を利用している	8 民間施設を利用している	9 利用の必要がない	10 その他	
(1) 市立公民館(分館を含む)・隣保館・人権同和教育集会所など	回答数	24	255	861	1,837	54	31	39	97	6	1	18	16	1,094	126	355
	割合	0.8%	8.6%	28.9%	61.7%	2.9%	1.7%	2.1%	5.3%	0.3%	0.1%	1.0%	0.9%	59.6%	6.9%	19.3%
(2) 篠ノ井市民会館・松代文化ホール・コンベンション施設	回答数	0	10	422	2,545	143	39	20	93	2	0	54	10	1,552	210	422
	割合	0.0%	0.3%	14.2%	85.5%	5.6%	1.5%	0.8%	3.7%	0.1%	0.0%	2.1%	0.4%	61.0%	8.3%	16.6%
(3) 図書館	回答数	20	301	791	1,865	201	119	89	34	9	1	27	10	817	164	394
	割合	0.7%	10.1%	26.6%	62.6%	10.8%	6.4%	4.8%	1.8%	0.5%	0.1%	1.4%	0.5%	43.8%	8.8%	21.1%
(4) 博物館・美術館・動物園	回答数	4	99	1,514	1,360	131	53	35	19	10	26	15	10	567	129	365
	割合	0.1%	3.3%	50.9%	45.7%	9.6%	3.9%	2.6%	1.4%	0.7%	1.9%	1.1%	0.7%	41.7%	9.5%	26.8%
(5) 労働者等福祉施設(勤労青少年ホーム・働く女性の家など)	回答数	6	64	255	2,652	115	21	78	141	3	2	9	20	1,542	288	433
	割合	0.2%	2.1%	8.6%	89.1%	4.3%	0.8%	2.9%	5.3%	0.1%	0.1%	0.3%	0.8%	58.1%	10.9%	16.3%
(6) 温泉保養・宿泊施設(松代荘、りんごの湯など)	回答数	17	200	1,118	1,642	125	42	28	48	10	28	29	174	675	147	336
	割合	0.6%	6.7%	37.6%	55.2%	7.6%	2.6%	1.7%	2.9%	0.6%	1.7%	1.8%	10.6%	41.1%	9.0%	20.5%
(7) スキー場	回答数	8	48	642	2,279	56	17	13	12	4	39	26	33	1,273	394	412
	割合	0.3%	1.6%	21.6%	76.6%	2.5%	0.7%	0.6%	0.5%	0.2%	1.7%	1.1%	1.4%	55.9%	17.3%	18.1%
(8) キャンプ場(戸隠、飯綱など)	回答数	3	11	473	2,490	61	21	18	63	10	23	18	18	1,424	422	412
	割合	0.1%	0.4%	15.9%	83.6%	2.4%	0.8%	0.7%	2.5%	0.4%	0.9%	0.7%	0.7%	57.2%	16.9%	16.5%
(9) 道の駅(大岡、信州新町、中条)	回答数	20	236	1,519	1,202	155	38	19	11	4	1	25	11	481	130	327
	割合	0.7%	7.9%	51.0%	40.4%	12.9%	3.2%	1.6%	0.9%	0.3%	0.1%	2.1%	0.9%	40.0%	10.8%	27.2%
(10) スポーツ施設(市営体育館、市民プール、マレットゴルフ場など)	回答数	35	232	902	1,808	87	22	43	66	12	8	17	48	921	217	367
	割合	1.2%	7.8%	30.3%	60.7%	4.8%	1.2%	2.4%	3.7%	0.7%	0.4%	0.9%	2.7%	50.9%	12.0%	20.3%
(11) 保健福祉施設(保健センター・ふれあい福祉センターなど)	回答数	3	90	544	2,340	57	15	38	127	3	1	9	12	1,348	335	395
	割合	0.1%	3.0%	18.3%	78.6%	2.4%	0.6%	1.6%	5.4%	0.1%	0.0%	0.4%	0.5%	57.6%	14.3%	16.9%
(12) 保育・子育て支援施設(こども広場など)	回答数	10	67	214	2,686	27	16	17	45	3	1	4	4	1,662	478	429
	割合	0.3%	2.3%	7.2%	90.2%	1.0%	0.6%	0.6%	1.7%	0.1%	0.0%	0.1%	0.1%	61.9%	17.8%	16.0%
(13) 高齢者施設(老人福祉センター、憩の家など)	回答数	12	65	203	2,697	53	13	12	68	4	2	4	22	1,654	496	369
	割合	0.4%	2.2%	6.8%	90.6%	2.0%	0.5%	0.4%	2.5%	0.1%	0.1%	0.1%	0.8%	61.3%	18.4%	13.7%

縮小について ~ 約7割が必要を見直し、見合った規模などにすべき ~

問7 公共施設の総量を縮小（施設の数減らしたり、規模を小さくすること）することに対するあなたの考えで、最も近いものに1つだけ をしてください。

		合計	足りないので、増やすべき	全て必要なので、現状維持すべき	必要性を見直し、人口や税収入に見合った数や規模まで減らすべき	必要性が低いため、積極的に減らすべき	その他	無回答	
全体	回答数	2,977	117	349	2,099	185	118	109	
	割合	100.0%	3.9%	11.7%	70.5%	6.2%	4.0%	3.7%	
性別	男性	回答数	1,319	49	143	921	121	48	37
		割合	100.0%	3.7%	10.8%	69.8%	9.2%	3.6%	2.8%
	女性	回答数	1,650	68	205	1,177	64	69	67
		割合	100.0%	4.1%	12.4%	71.3%	3.9%	4.2%	4.1%
	無回答	回答数	8	0	1	1	0	1	5
		割合	100.0%	0.0%	12.5%	12.5%	0.0%	12.5%	62.5%
年代	20歳代	回答数	247	19	25	175	15	10	3
		割合	100.0%	7.7%	10.1%	70.9%	6.1%	4.0%	1.2%
	30歳代	回答数	420	13	33	325	26	20	3
		割合	100.0%	3.1%	7.9%	77.4%	6.2%	4.8%	0.7%
	40歳代	回答数	495	18	49	365	38	20	5
		割合	100.0%	3.6%	9.9%	73.7%	7.7%	4.0%	1.0%
	50歳代	回答数	530	13	54	392	37	25	9
		割合	100.0%	2.5%	10.2%	74.0%	7.0%	4.7%	1.7%
	60歳代	回答数	718	16	93	508	42	27	32
		割合	100.0%	2.2%	13.0%	70.8%	5.8%	3.8%	4.5%
	70歳以上	回答数	553	34	94	332	26	16	51
		割合	100.0%	6.1%	17.0%	60.0%	4.7%	2.9%	9.2%
	無回答	回答数	14	4	1	2	1	0	6
		割合	100.0%	28.6%	7.1%	14.3%	7.1%	0.0%	42.9%
地域区分	市街地地域	回答数	1,105	49	140	756	72	54	34
		割合	100.0%	4.4%	12.7%	68.4%	6.5%	4.9%	3.1%
	市街地周辺地域	回答数	596	21	71	428	35	22	19
		割合	100.0%	3.5%	11.9%	71.8%	5.9%	3.7%	3.2%
	犀南地域	回答数	773	25	76	575	49	24	24
		割合	100.0%	3.2%	9.8%	74.4%	6.3%	3.1%	3.1%
	松代・若穂	回答数	238	14	28	158	19	12	7
		割合	100.0%	5.9%	11.8%	66.4%	8.0%	5.0%	2.9%
	中山間地域	回答数	249	8	30	177	10	6	18
		割合	100.0%	3.2%	12.0%	71.1%	4.0%	2.4%	7.2%
	無回答	回答数	16	0	4	5	0	0	7
		割合	100.0%	0.0%	25.0%	31.3%	0.0%	0.0%	43.8%



公共施設の総量の考え方については、「必要性を見直し、人口や税収入に見合った数や規模まで減らすべき(70.5%)」がトップとなり、「必要性が低いため、積極的に減らすべき(6.2%)」と合わせると76.7%となりました。また、「足りないので増やすべき(3.9%)」と「全て必要なので、現状維持すべき(11.7%)」の公共施設の総量を増加した方がよい意見は15.6%となり、総量については、減らすべきとの意見の方が多ことが分かりました。

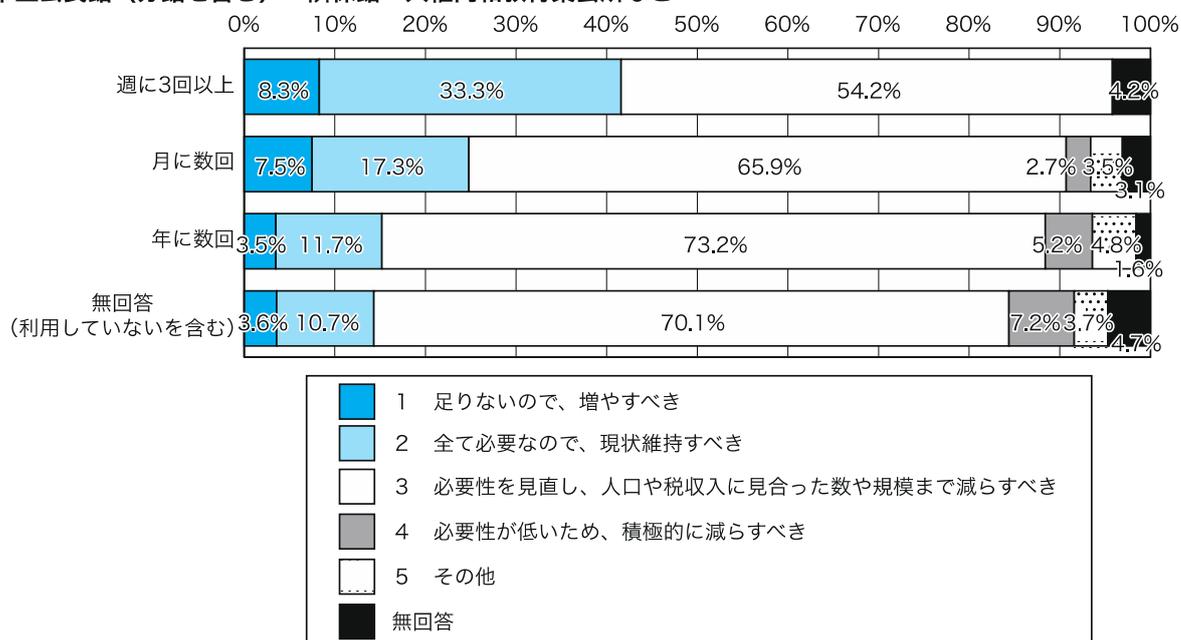
男女別に見ても、「必要性を見直し、人口や税収入に見合った数や規模まで減らすべき」が「男性(69.8%)」、「女性(71.3%)」となりました。

年代別で見ると、「必要性を見直し、人口や税収入に見合った数や規模まで減らすべき」が各年代でトップとなりました。20歳代から60歳代までは、70%以上の方が占めていますが、70歳以上のみ60.0%となりました。

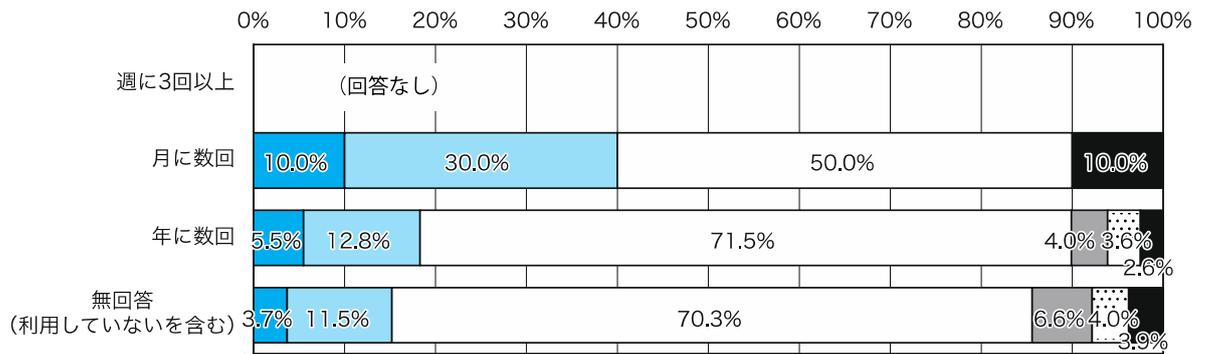
地域区分別で見ると、全ての地域で約7割が「必要性を見直し、人口や税収入に見合った数や規模まで減らすべき」がトップとなりました。

【施設ごとクロス】

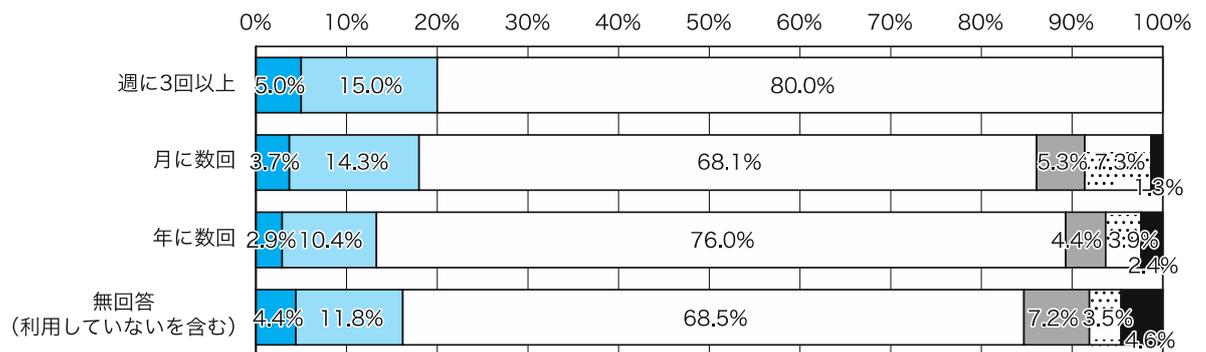
(1) 市立公民館(分館を含む)・隣保館・人権同和教育集会所など



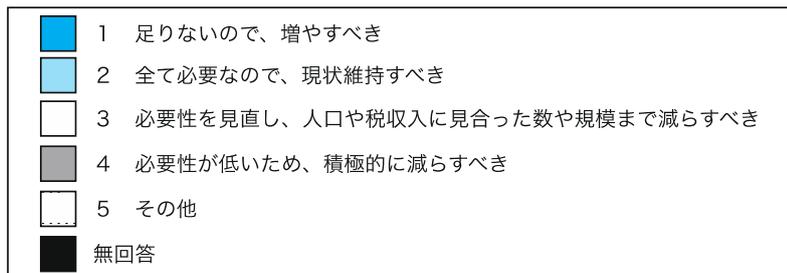
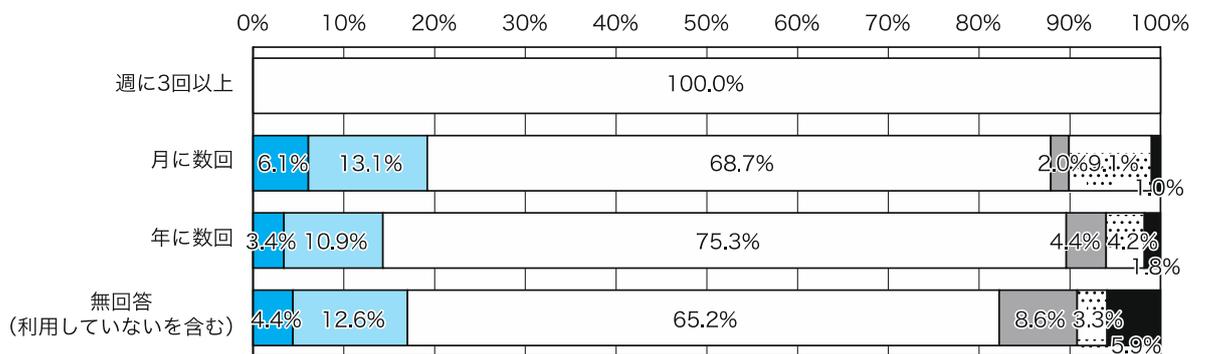
(2) 篠ノ井市民会館・松代文化ホール・コンベンション施設



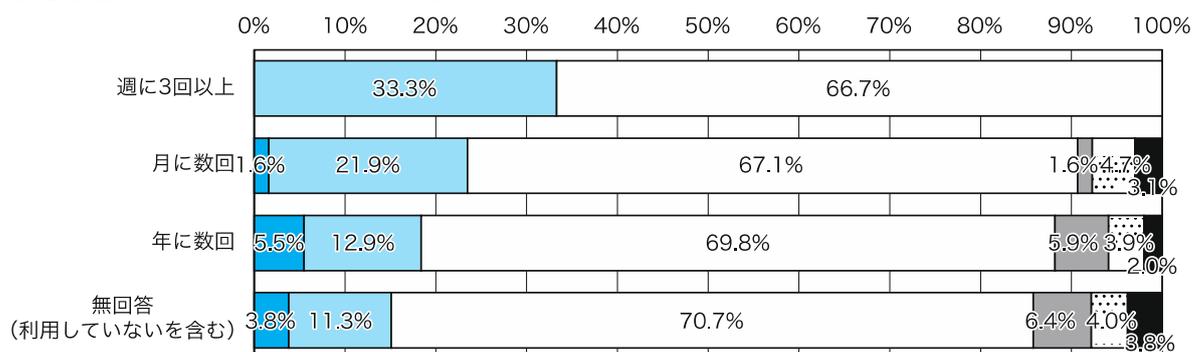
(3) 図書館



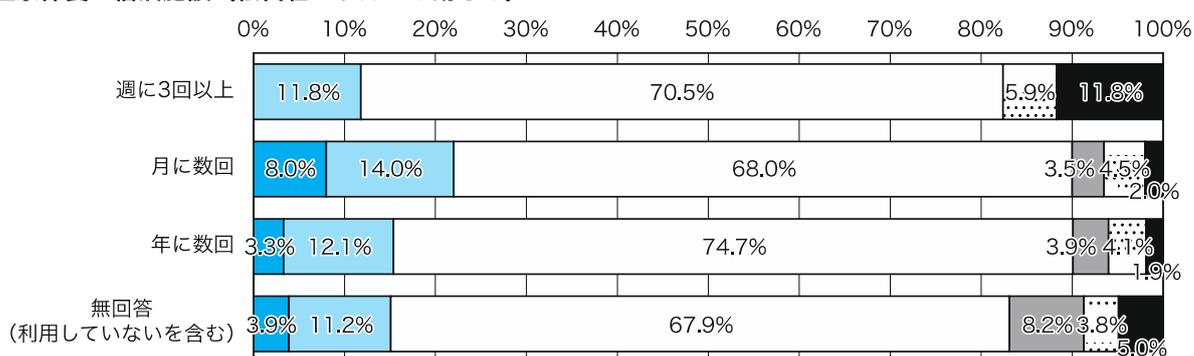
(4) 博物館・美術館・動物園



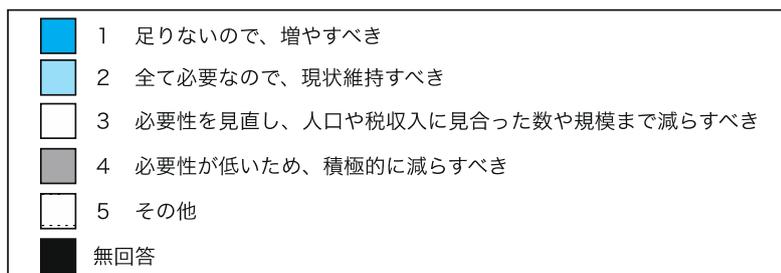
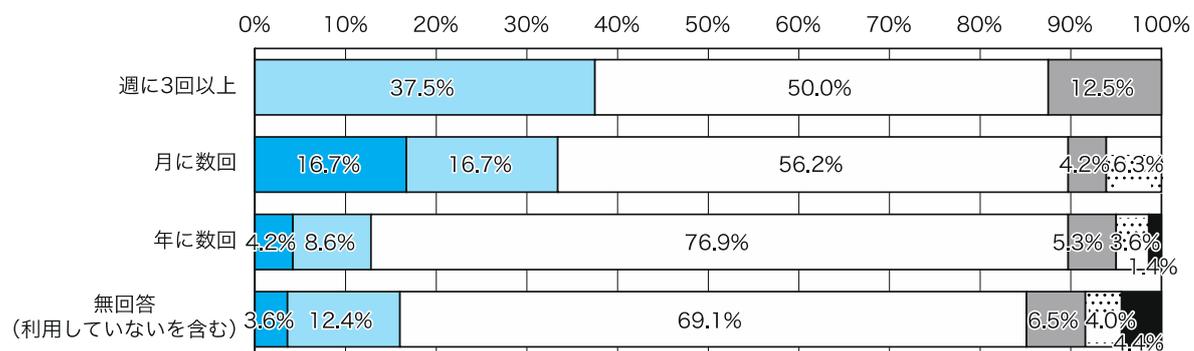
(5) 労働者等福祉施設（勤労青少年ホーム・働く女性の家など）



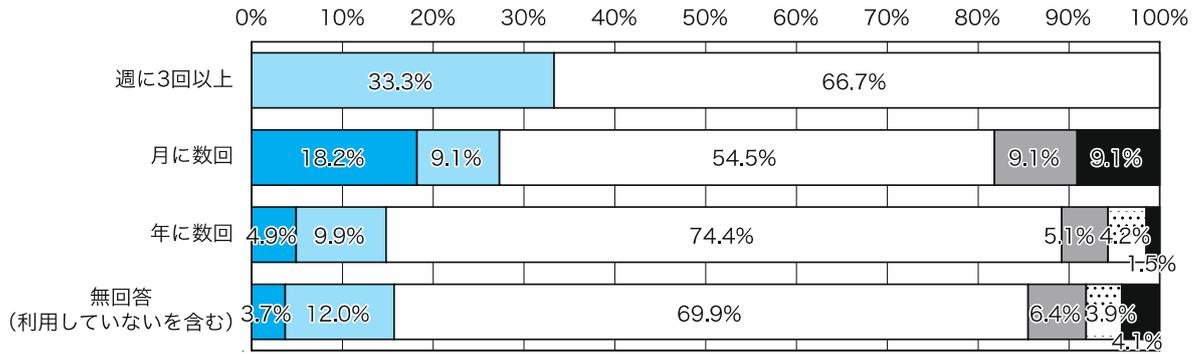
(6) 温泉保養・宿泊施設（松代荘・りんごの湯など）



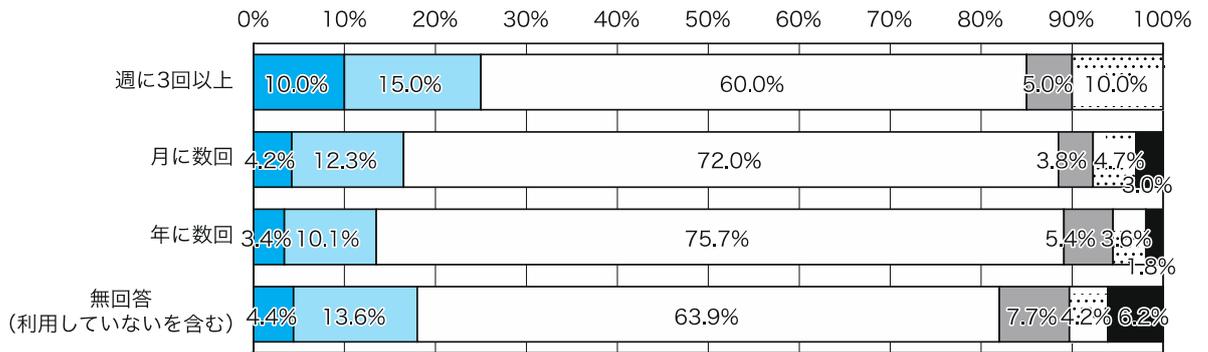
(7) スキー場



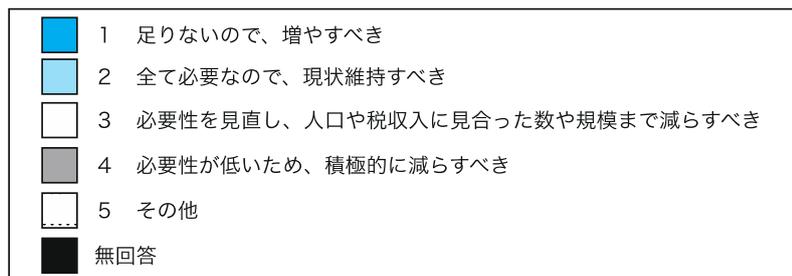
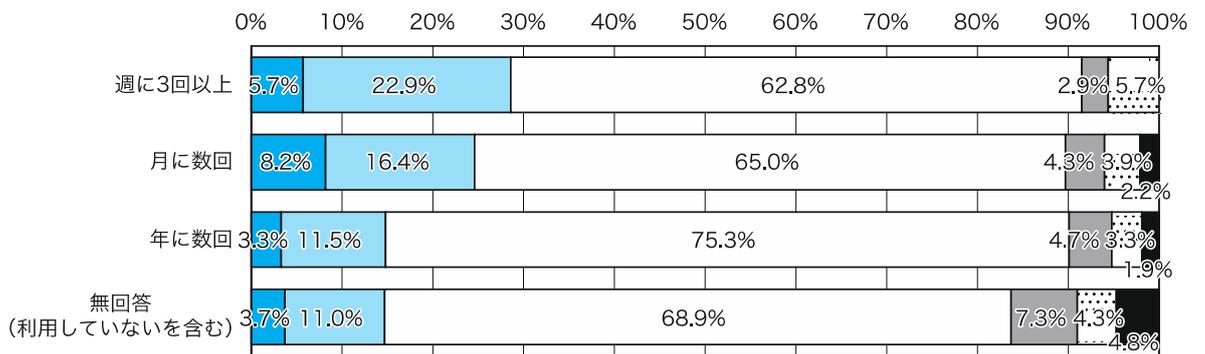
(8) キャンプ場 (戸隠、飯綱など)



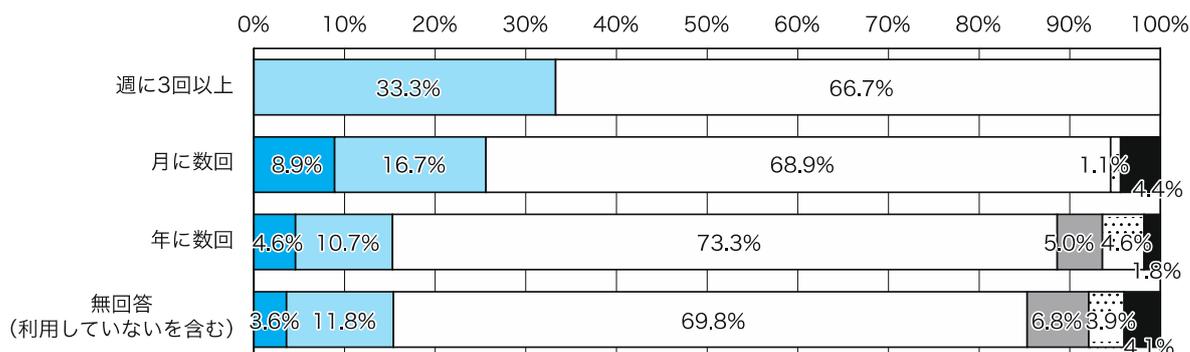
(9) 道の駅 (大岡、信州新町、中条)



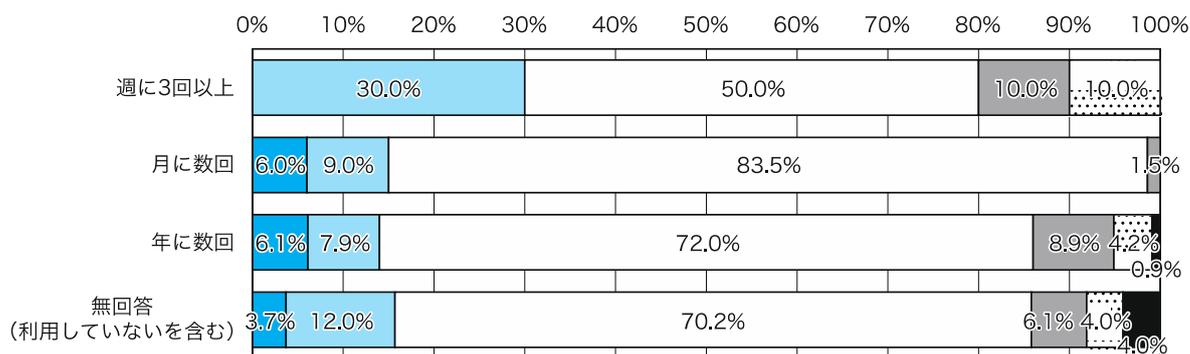
(10) スポーツ施設 (市営体育館、市民プール、マレットゴルフ場など)



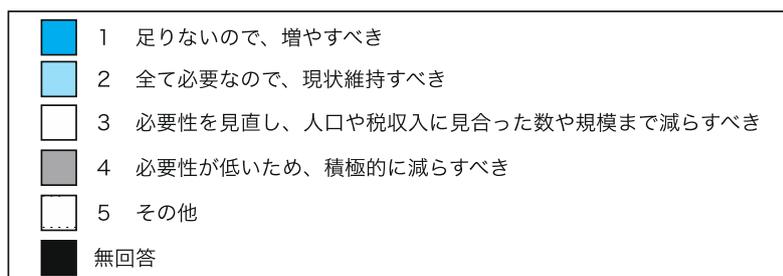
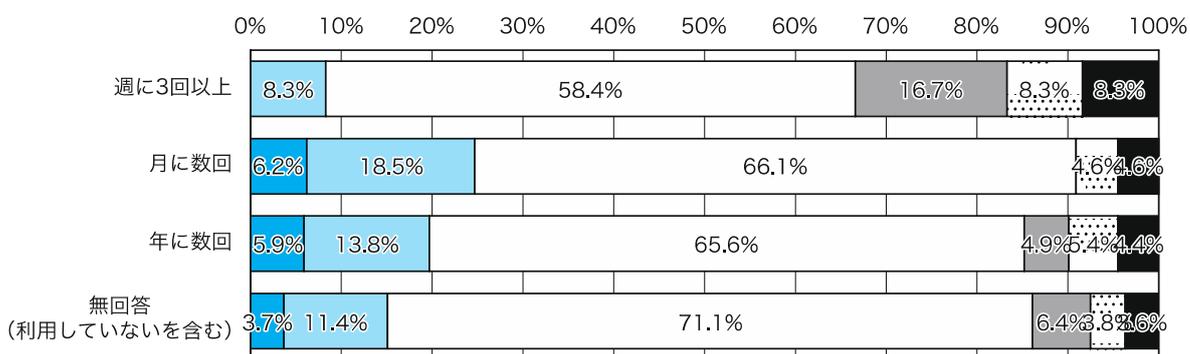
(11) 保健福祉施設（保健センター・ふれあい福祉センターなど）



(12) 保育・子育て支援施設（こども広場など）



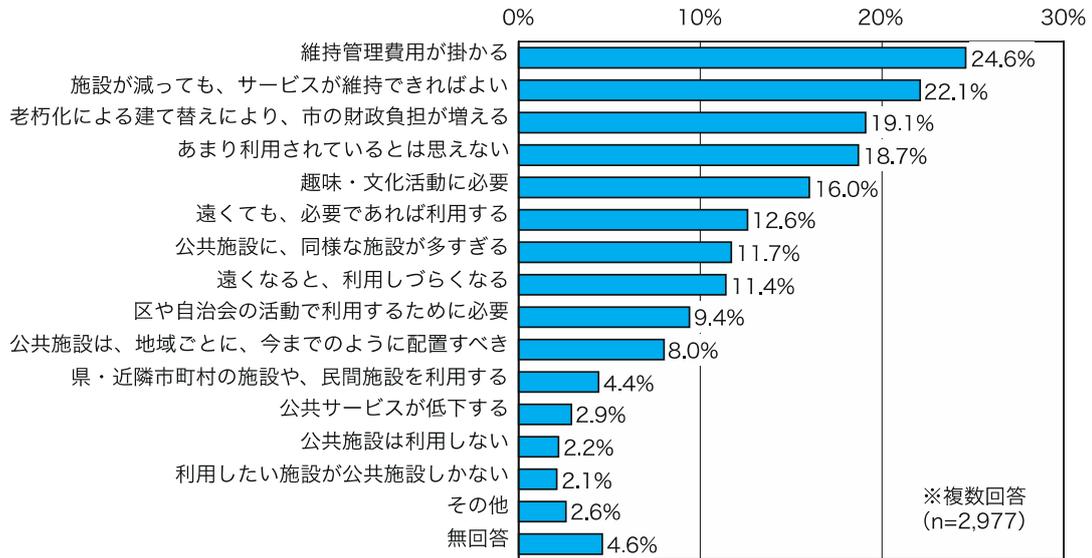
(13) 高齢者施設（老人福祉センター、憩の家など）



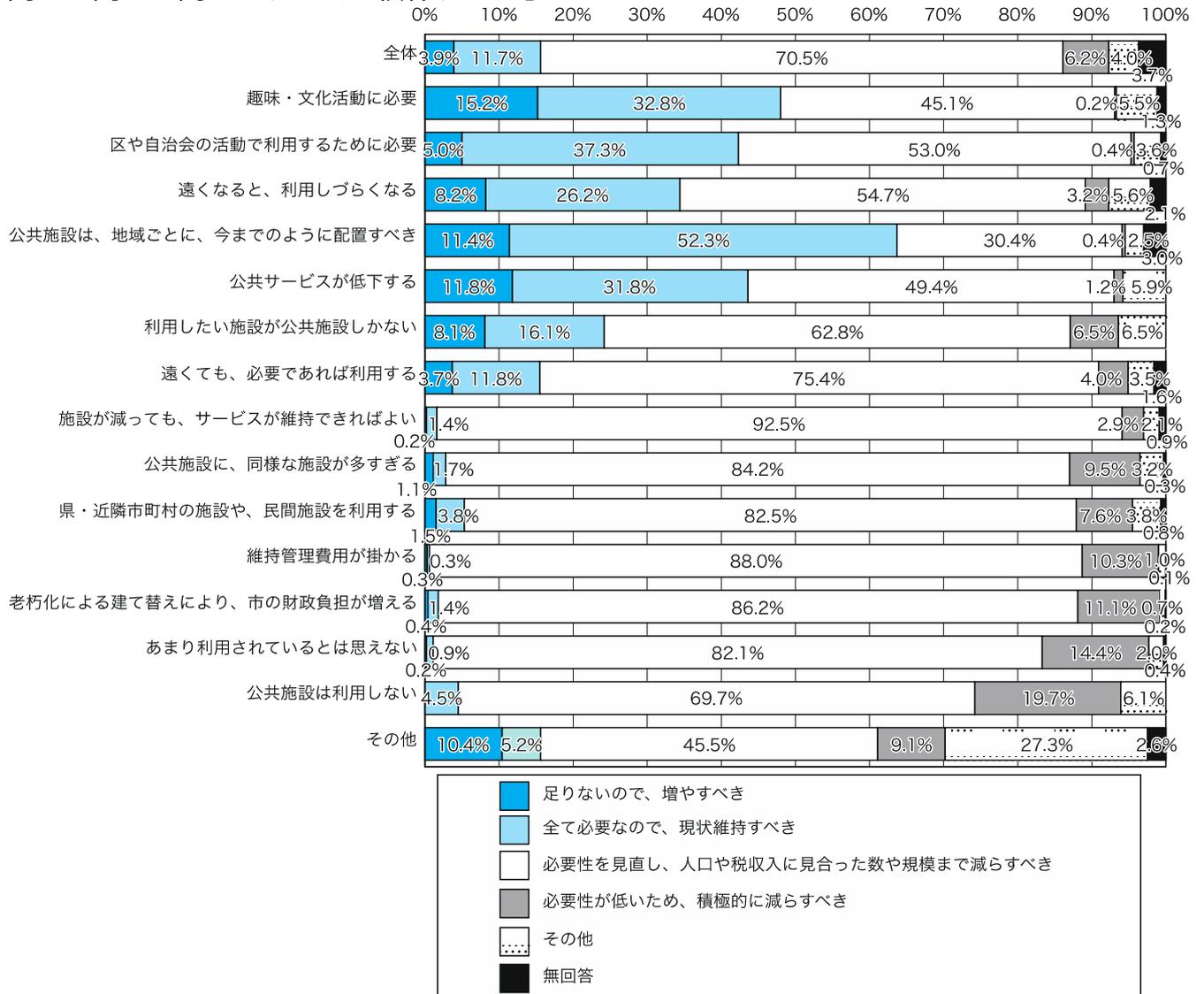
公共施設の総量についての考え方 ～維持管理費用が掛かるがトップ～

問8 問7で選んだ理由として、あなたの考えに近いものを次の中から2つ以内で選び、をしてください。

		合計	趣味文化活動に必要	区や自治会の活動で利用するために必要	遠くなると利用しづらくなる	公共施設は、地域ごとに今までのように配置すべき	公共サービスが低下する	利用したい施設が公共施設しかない	遠くても、必要であれば利用する	施設が減ってもサービスが維持できればよい	公共施設に、同様な施設が多すぎる	県近隣市町村の施設や、民間施設を利用する	維持管理費用が掛かる	老朽化による建て替えにより、市の財政負担が増える	あまり利用されているとは思えない	公共施設は利用しない	その他	無回答	
全体	回答数	2,977	475	279	340	237	85	62	374	657	349	132	731	569	556	66	77	138	
	割合	-	16.0%	9.4%	11.4%	8.0%	2.9%	2.1%	12.6%	22.1%	11.7%	4.4%	24.6%	19.1%	18.7%	2.2%	2.6%	4.6%	
性別	男性	回答数	1,319	198	137	92	104	37	27	155	285	185	64	348	267	293	33	40	44
		割合	-	15.0%	10.4%	7.0%	7.9%	2.8%	2.0%	11.8%	21.6%	14.0%	4.9%	26.4%	20.2%	22.2%	2.5%	3.0%	3.3%
	女性	回答数	1,650	277	141	247	133	48	35	219	371	164	68	382	301	263	33	37	89
		割合	-	16.8%	8.5%	15.0%	8.1%	2.9%	2.1%	13.3%	22.5%	9.9%	4.1%	23.2%	18.2%	15.9%	2.0%	2.2%	5.4%
	無回答	回答数	8	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	5
		割合	-	0.0%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	62.5%
年代	20歳代	回答数	247	56	15	36	9	11	5	28	55	18	7	64	35	51	9	6	6
		割合	-	22.7%	6.1%	14.6%	3.6%	4.5%	2.0%	11.3%	22.3%	7.3%	2.8%	25.9%	14.2%	20.6%	3.6%	2.4%	2.4%
	30歳代	回答数	420	64	24	49	17	14	12	63	99	45	18	115	70	95	13	23	7
		割合	-	15.2%	5.7%	11.7%	4.0%	3.3%	2.9%	15.0%	23.6%	10.7%	4.3%	27.4%	16.7%	22.6%	3.1%	5.5%	1.7%
	40歳代	回答数	495	72	39	53	36	14	10	55	119	54	24	126	105	111	12	11	9
		割合	-	14.5%	7.9%	10.7%	7.3%	2.8%	2.0%	11.1%	24.0%	10.9%	4.8%	25.5%	21.2%	22.4%	2.4%	2.2%	1.8%
	50歳代	回答数	530	68	46	48	27	22	8	61	127	63	25	147	112	101	12	17	16
		割合	-	12.8%	8.7%	9.1%	5.1%	4.2%	1.5%	11.5%	24.0%	11.9%	4.7%	27.7%	21.1%	19.1%	2.3%	3.2%	3.0%
	60歳代	回答数	718	107	79	84	76	14	14	92	157	115	31	171	143	126	14	15	36
		割合	-	14.9%	11.0%	11.7%	10.6%	1.9%	1.9%	12.8%	21.9%	16.0%	4.3%	23.8%	19.9%	17.5%	1.9%	2.1%	5.0%
	70歳以上	回答数	553	107	74	67	72	9	13	72	100	54	26	107	104	70	6	5	59
		割合	-	19.3%	13.4%	12.1%	13.0%	1.6%	2.4%	13.0%	18.1%	9.8%	4.7%	19.3%	18.8%	12.7%	1.1%	0.9%	10.7%
	無回答	回答数	14	1	2	3	0	1	0	3	0	0	1	1	0	2	0	0	5
		割合	-	7.1%	14.3%	21.4%	0.0%	7.1%	0.0%	21.4%	0.0%	0.0%	7.1%	7.1%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	35.7%
地域区分	市街地地域	回答数	1,105	196	85	125	82	32	27	138	228	130	41	263	194	217	24	29	56
		割合	-	17.7%	7.7%	11.3%	7.4%	2.9%	2.4%	12.5%	20.6%	11.8%	3.7%	23.8%	17.6%	19.6%	2.2%	2.6%	5.1%
	市街地周辺地域	回答数	596	103	71	63	47	20	15	73	135	67	26	151	119	99	8	15	27
		割合	-	17.3%	11.9%	10.6%	7.9%	3.4%	2.5%	12.2%	22.7%	11.2%	4.4%	25.3%	20.0%	16.6%	1.3%	2.5%	4.5%
	扉南地域	回答数	773	112	64	81	52	21	10	110	180	78	39	210	165	150	21	24	24
		割合	-	14.5%	8.3%	10.5%	6.7%	2.7%	1.3%	14.2%	23.3%	10.1%	5.0%	27.2%	21.3%	19.4%	2.7%	3.1%	3.1%
	松代・若穂	回答数	238	42	24	21	21	3	7	21	55	44	12	55	44	46	7	5	8
		割合	-	17.6%	10.1%	8.8%	8.8%	1.3%	2.9%	8.8%	23.1%	18.5%	5.0%	23.1%	18.5%	19.3%	2.9%	2.1%	3.4%
	中山間地域	回答数	249	20	33	49	32	8	3	30	59	29	14	51	45	42	6	4	17
		割合	-	8.0%	13.3%	19.7%	12.9%	3.2%	1.2%	12.0%	23.7%	11.6%	5.6%	20.5%	18.1%	16.9%	2.4%	1.6%	6.8%
	無回答	回答数	16	2	2	1	3	1	0	2	0	1	0	1	2	2	0	0	6
		割合	-	12.5%	12.5%	6.3%	18.8%	6.3%	0.0%	12.5%	0.0%	6.3%	0.0%	6.3%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	37.5%



問8 問8と問7のクロス「横棒グラフ」



公共施設の総量に対する考え方については、「維持管理費用が掛かる（24.6%）」がトップで、「施設が減っても、サービスが維持できればよい（22.1%）」、「老朽化による建て替えにより、市の財政負担が増える（19.1%）」と続きました。

男女別に見ると、「男性」は「維持管理費用が掛かる（26.4%）」がトップで、「あまり利用されているとは思えない（22.2%）」、「施設が減っても、サービスが維持できればよい（21.6%）」となっています。一方、「女性」は「男性」と同様に、「維持管理費用が掛かる（23.2%）」がトップで、「施設が減っても、サービスが維持できればよい（22.5%）」、「老朽化による建て替えにより、市の財政負担が増える（18.2%）」となっており、「男性」と「女性」では若干意見が異なっていることが分かりました。

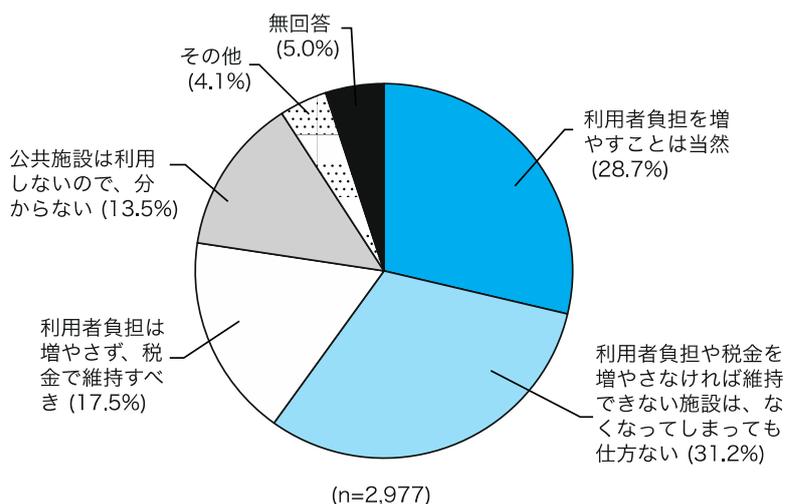
年代別に見ると、どの年代でも「維持管理費用が掛かる」の項目がトップですが、「70歳以上」のみ、「趣味・文化活動に必要（19.3%）」、「維持管理費用が掛かる（19.3%）」が同率のトップとなりました。

地域区分別で見ると、「中山間地域（23.7%）」のみが「施設が減っても、サービスが維持できればよい」がトップとなりました。ただし、「松代・若穂」では、「施設が減っても、サービスが維持できればよい（23.1%）」と「維持管理費用が掛かる（23.1%）」が同率でトップとなりました。

利用者負担の見直し ～利用者負担・税金の投入が必要なら廃止がトップ～

問9 公共施設のサービスの提供に要する経費は、主に施設利用者の負担金と税金で賅っています。公共施設の利用者負担の見直しを検討することについて、あなたはどのように思われますか。あなたの考えに最も近いものに1つだけ をしてください。

		合計	利用者負担を増やすことは当然	利用者負担を増やさず、税金で維持すべき	利用者負担や税金を増やさなければ維持できない施設は、なくなってしまうも仕方ない	公共施設は利用しないのでわらない	その他	無回答	
全体		回答数	2,977	854	522	930	401	121	149
		割合	100.0%	28.7%	17.5%	31.2%	13.5%	4.1%	5.0%
性別	男性	回答数	1,319	392	232	430	147	63	55
		割合	100.0%	29.7%	17.6%	32.6%	11.1%	4.8%	4.2%
	女性	回答数	1,650	461	290	499	254	58	88
		割合	100.0%	27.9%	17.6%	30.2%	15.4%	3.5%	5.3%
	無回答	回答数	8	1	0	1	0	0	6
		割合	100.0%	12.5%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	75.0%
年代	20歳代	回答数	247	63	39	84	51	5	5
		割合	100.0%	25.5%	15.8%	34.0%	20.6%	2.0%	2.0%
	30歳代	回答数	420	106	76	152	50	28	8
		割合	100.0%	25.2%	18.1%	36.2%	11.9%	6.7%	1.9%
	40歳代	回答数	495	116	91	196	58	18	16
		割合	100.0%	23.4%	18.4%	39.6%	11.7%	3.6%	3.2%
	50歳代	回答数	530	167	78	165	63	34	23
		割合	100.0%	31.5%	14.7%	31.1%	11.9%	6.4%	4.3%
	60歳代	回答数	718	219	124	209	103	26	37
		割合	100.0%	30.5%	17.3%	29.1%	14.3%	3.6%	5.2%
	70歳以上	回答数	553	181	112	121	74	10	55
		割合	100.0%	32.7%	20.3%	21.9%	13.4%	1.8%	9.9%
	無回答	回答数	14	2	2	3	2	0	5
		割合	100.0%	14.3%	14.3%	21.4%	14.3%	0.0%	35.7%
地域区分	市街地地域	回答数	1,105	346	189	340	134	43	53
		割合	100.0%	31.3%	17.1%	30.8%	12.1%	3.9%	4.8%
	市街地周辺地域	回答数	596	176	90	187	82	31	30
		割合	100.0%	29.5%	15.1%	31.4%	13.8%	5.2%	5.0%
	犀南地域	回答数	773	203	150	256	109	29	26
		割合	100.0%	26.3%	19.4%	33.1%	14.1%	3.8%	3.4%
	松代・若穂	回答数	238	63	36	75	39	10	15
		割合	100.0%	26.5%	15.1%	31.5%	16.4%	4.2%	6.3%
	中山間地域	回答数	249	62	55	70	36	6	20
		割合	100.0%	24.9%	22.1%	28.1%	14.5%	2.4%	8.0%
	無回答	回答数	16	4	2	2	1	2	5
		割合	100.0%	25.0%	12.5%	12.5%	6.3%	12.5%	31.3%



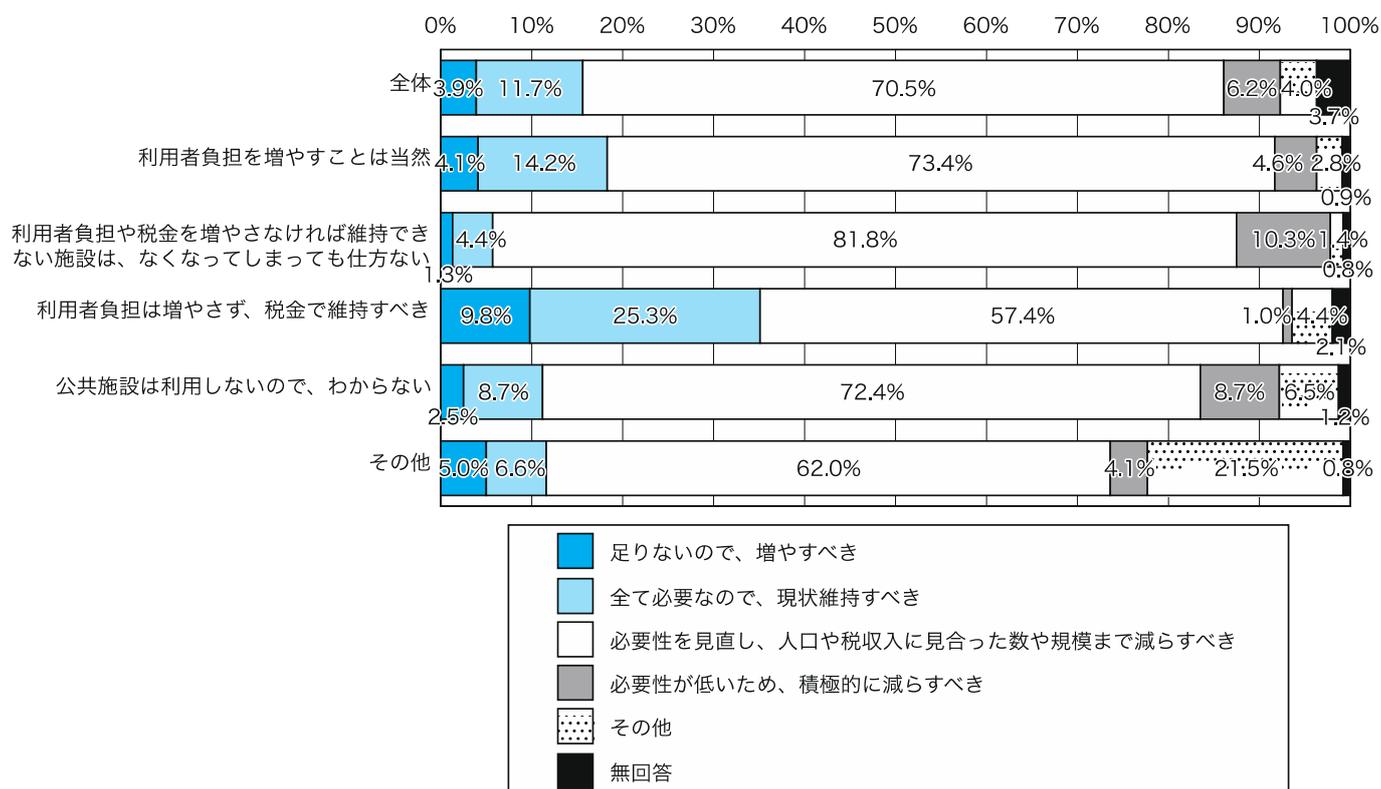
公共施設の利用者負担の見直しについては、「利用者負担や税金を増やさなければ維持できない施設は、なくなってしまうと仕方ない(31.2%)」がトップで、「利用者負担を増やすことは当然(28.7%)」、「利用者負担を増やさず、税金で維持すべき(17.5%)」の順となりました。

男女別で見ても上記と同じ結果となりました。

年代別で見ると、「20歳代(34.0%)」、「30歳代(36.2%)」、「40歳代(39.6%)」は、「利用者負担や税金を増やさなければ維持できない施設は、なくなってしまうと仕方ない」がトップとなりました。一方、「50歳代(31.5%)」、「60歳代(30.5%)」、「70歳以上(32.7%)」は、「利用者負担を増やすことは当然」がトップとなりました。40歳代を境に考え方が違うことが分かりました。

地区別で見ると、「市街地地域」以外では、「利用者負担や税金を増やさなければ維持できない施設は、なくなってしまうと仕方ない」がトップとなりましたが、「市街地地域」では、「利用者負担を増やすことは当然(31.3%)」がトップとなりました。

問9と問7のクロス(利用者負担の見直しと公共施設総量の考え方)



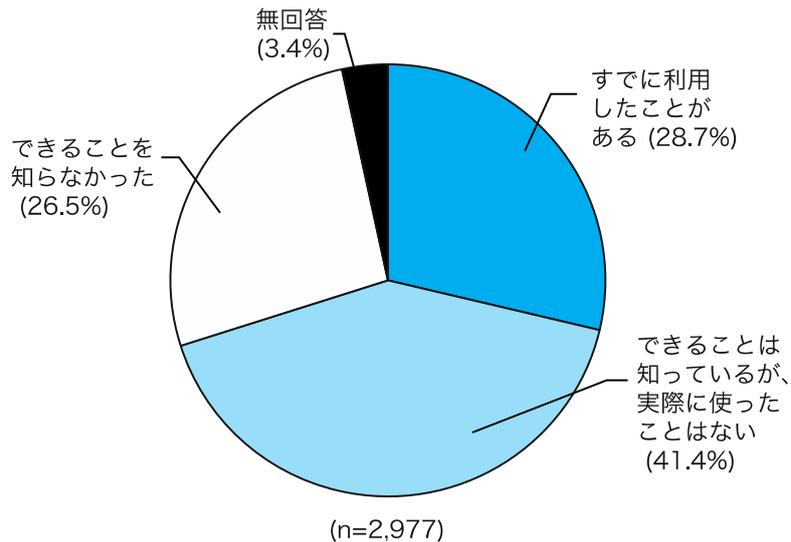
コンビニ納付・ペイジー納付について

コンビニ納付・ペイジー納付 ～トップは両方とも知っているが未利用～

問 10 長野市では、今年4月からコンビニ納付・ペイジー納付を開始しました。長野市の税金、国民健康保険料、介護保険料および後期高齢者医療保険料のコンビニ納付とペイジー納付について、お聞きします。

コンビニ納付（コンビニエンスストアでの納付）について当てはまるものに、1つだけ をしてください。

		合計	すでに利用したことがある	できることは知っているが、実際に使ったことはない	できることを知らなかった	無回答	
全体	回答数	2,977	853	1,232	790	102	
	割合	100.0%	28.7%	41.4%	26.5%	3.4%	
性別	男性	回答数	1,319	361	583	330	45
		割合	100.0%	27.4%	44.2%	25.0%	3.4%
	女性	回答数	1,650	491	647	459	53
		割合	100.0%	29.8%	39.2%	27.8%	3.2%
	無回答	回答数	8	1	2	1	4
		割合	100.0%	12.5%	25.0%	12.5%	50.0%
年代	20歳代	回答数	247	69	79	97	2
		割合	100.0%	27.9%	32.0%	39.3%	0.8%
	30歳代	回答数	420	141	124	149	6
		割合	100.0%	33.6%	29.5%	35.5%	1.4%
	40歳代	回答数	495	150	172	165	8
		割合	100.0%	30.3%	34.7%	33.3%	1.6%
	50歳代	回答数	530	187	194	140	9
		割合	100.0%	35.3%	36.6%	26.4%	1.7%
	60歳代	回答数	718	195	370	132	21
		割合	100.0%	27.2%	51.5%	18.4%	2.9%
	70歳以上	回答数	553	106	292	104	51
		割合	100.0%	19.2%	52.8%	18.8%	9.2%
	無回答	回答数	14	5	1	3	5
		割合	100.0%	35.7%	7.1%	21.4%	35.7%
地域区分	市街地地域	回答数	1,105	316	453	305	31
		割合	100.0%	28.6%	41.0%	27.6%	2.8%
	市街地周辺地域	回答数	596	181	234	158	23
		割合	100.0%	30.4%	39.3%	26.5%	3.9%
	犀南地域	回答数	773	221	329	200	23
		割合	100.0%	28.6%	42.6%	25.9%	3.0%
	松代・若穂	回答数	238	73	101	59	5
		割合	100.0%	30.7%	42.4%	24.8%	2.1%
	中山間地域	回答数	249	58	111	64	16
		割合	100.0%	23.3%	44.6%	25.7%	6.4%
	無回答	回答数	16	4	4	4	4
		割合	100.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%



コンビニ納付については、「できることは知っているが、実際に使ったことはない(41.4%)」がトップとなり、「すでに利用したことがある(28.7%)」と続き、コンビニ納付ができることを知っている方は、70.1%となり、認知度はかなりあることが分かりました。

男女別に見ると、全体の順位は変わらないが、トップの「できることは知っているが、実際に使ったことはない」については、「男性(44.2%)」、「女性(39.2%)」となり、5ポイントの差がありました。

年代別に見ると、「できることを知らなかった」が「20歳代(39.3%)」、「30歳代(35.5%)」でトップとなりました。また、40歳代以上は、「できることは知っているが、実際に使ったことはない」が次のとおりトップとなりました「40歳代(34.7%)」、「50歳代(36.6%)」、「60歳代(51.5%)」、「70歳以上(52.8%)」。「できることは知っているが、実際に使ったことはない」について、60歳代以上は約5割ですが、30歳代以下では、約3割となり、年代によりかなりの差がありました。

地域区分別に見ると、「できることは知っているが、実際に使ったことはない」が全ての地域でトップとなりました。その中で、「中山間地域(44.6%)」と「市街地周辺地域(39.3%)」では、5.3ポイントの差がつかしました。

一方、ペイジー納付については、「できることは知っているが、実際に使ったことはない(43.3%)」がトップとなり、次に、「できることは知らなかった(38.0%)」となりました。

年代別に見ると、40歳代以下と以上で結果が次のように異なりました。「20歳代(48.2%)」、「30歳代(48.6%)」、「40歳代(47.5%)」では、「できることは知らなかった」がトップとなりました。「50歳代(41.5%)」、「60歳代(53.1%)」、「70歳以上(46.7%)」では、「できることは知っているが、実際に使ったことはない」がトップとなりました。

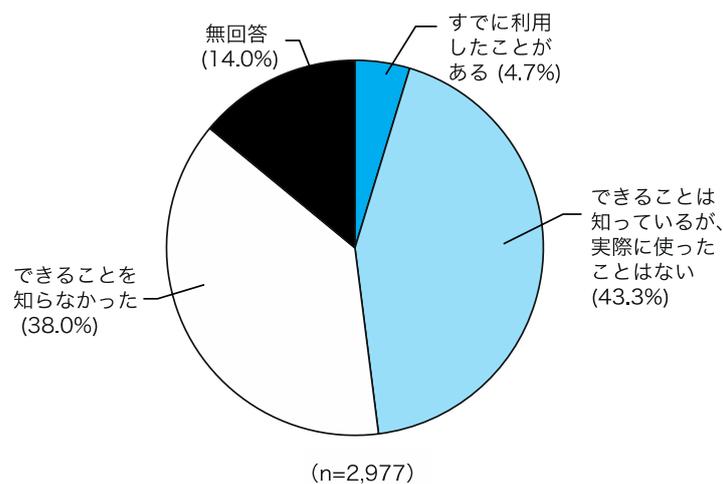
地域区分別に見ると、全ての地域で「できることは知っているが、実際に使ったことはない」が約4割でトップとなりました。

また、コンビニ納付とペイジー納付について比較すると、共に「できることは知っているが、実際に使ったことはない」がトップとなり、「コンビニ納付(41.4%)」で「ペイジー納付(43.3%)」となり、その差は1.9ポイントとそれほど開きはありませんでした。

しかし、「すでに利用したことがある」ことについては、「コンビニ納付(28.7%)」ですが、「ペイジー納付(4.7%)」となり、実際の利用率については24.0ポイントの大きな差がつかしました。

ペイジー納付（金融機関のインターネットバンキングやペイジー対応ATMなどを利用した電子納付）について当てはまるものに、1つだけ をしてください。

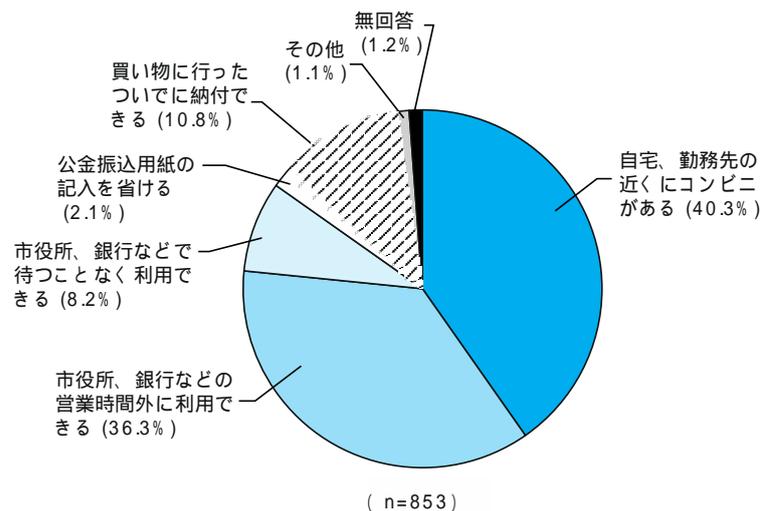
		合計	すでに利用したことがある	できることは知っているが、実際に使ったことはない	できることを知らなかった	無回答	
全体	回答数	2,977	139	1,288	1,132	418	
	割合	100.0%	4.7%	43.3%	38.0%	14.0%	
性別	男性	回答数	1,319	64	606	482	167
		割合	100.0%	4.9%	45.9%	36.5%	12.7%
	女性	回答数	1,650	75	681	649	245
		割合	100.0%	4.5%	41.3%	39.3%	14.8%
	無回答	回答数	8	0	1	1	6
		割合	100.0%	0.0%	12.5%	12.5%	75.0%
年代	20歳代	回答数	247	13	92	119	23
		割合	100.0%	5.3%	37.2%	48.2%	9.3%
	30歳代	回答数	420	26	146	204	44
		割合	100.0%	6.2%	34.8%	48.6%	10.5%
	40歳代	回答数	495	24	190	235	46
		割合	100.0%	4.8%	38.4%	47.5%	9.3%
	50歳代	回答数	530	26	220	215	69
		割合	100.0%	4.9%	41.5%	40.6%	13.0%
	60歳代	回答数	718	32	381	202	103
		割合	100.0%	4.5%	53.1%	28.1%	14.3%
	70歳以上	回答数	553	17	258	153	125
		割合	100.0%	3.1%	46.7%	27.7%	22.6%
	無回答	回答数	14	1	1	4	8
		割合	100.0%	7.1%	7.1%	28.6%	57.1%
地域区分	市街地地域	回答数	1,105	47	465	434	159
		割合	100.0%	4.3%	42.1%	39.3%	14.4%
	市街地周辺地域	回答数	596	31	248	228	89
		割合	100.0%	5.2%	41.6%	38.3%	14.9%
	犀南地域	回答数	773	35	349	295	94
		割合	100.0%	4.5%	45.1%	38.2%	12.2%
	松代・若穂	回答数	238	12	105	85	36
		割合	100.0%	5.0%	44.1%	35.7%	15.1%
中山間地域	回答数	249	11	118	86	34	
	割合	100.0%	4.4%	47.4%	34.5%	13.7%	
無回答	回答数	16	3	3	4	6	
	割合	100.0%	18.8%	18.8%	25.0%	37.5%	



コンビニ納付利用者の理由 ～自宅・勤務先の近くにあるがトップ～

問11 問10で回答が「1」の方にお聞きします。コンビニ納付を利用した主な理由を次の中から1つだけをしてください。

		合計	自宅、勤務先の近くにコンビニがある	市役所、銀行などの営業時間外に利用できる	市役所、銀行などで待つことなく利用できる	公金振込用紙の記入を省ける	買い物に行ったついでに納付できる	その他	無回答
全体		回答数 853	344	310	70	18	92	9	10
		割合	40.3%	36.3%	8.2%	2.1%	10.8%	1.1%	1.2%
性別	男性	回答数 361	165	122	26	7	34	4	3
		割合	45.7%	33.8%	7.2%	1.9%	9.4%	1.1%	0.8%
	女性	回答数 491	178	188	44	11	58	5	7
		割合	36.3%	38.3%	9.0%	2.2%	11.8%	1.0%	1.4%
	無回答	回答数 1	1	0	0	0	0	0	0
		割合	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
年代	20歳代	回答数 69	21	28	7	1	11	1	0
		割合	30.4%	40.6%	10.1%	1.4%	15.9%	1.4%	0.0%
	30歳代	回答数 141	65	56	11	1	7	0	1
		割合	46.1%	39.7%	7.8%	0.7%	5.0%	0.0%	0.7%
	40歳代	回答数 150	57	61	13	2	10	3	4
		割合	38.0%	40.7%	8.7%	1.3%	6.7%	2.0%	2.7%
	50歳代	回答数 187	62	85	15	1	18	3	3
		割合	33.2%	45.5%	8.0%	0.5%	9.6%	1.6%	1.6%
60歳代	回答数 195	84	49	15	9	35	2	1	
	割合	43.1%	25.1%	7.7%	4.6%	17.9%	1.0%	0.5%	
70歳以上	回答数 106	53	30	8	4	10	0	1	
	割合	50.0%	28.3%	7.5%	3.8%	9.4%	0.0%	0.9%	
	無回答	回答数 5	2	1	1	0	1	0	0
		割合	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%
地域区分	市街地地域	回答数 316	132	110	29	7	32	4	2
		割合	41.8%	34.8%	9.2%	2.2%	10.1%	1.3%	0.6%
	市街地周辺地域	回答数 181	76	71	9	5	18	1	1
		割合	42.0%	39.2%	5.0%	2.8%	9.9%	0.6%	0.6%
	犀南地域	回答数 221	91	87	20	2	18	1	2
		割合	41.2%	39.4%	9.0%	0.9%	8.1%	0.5%	0.9%
	松代・若穂	回答数 73	28	21	10	2	9	1	2
	割合	38.4%	28.8%	13.7%	2.7%	12.3%	1.4%	2.7%	
中山間地域	回答数 58	17	19	2	2	13	2	3	
	割合	29.3%	32.8%	3.4%	3.4%	22.4%	3.4%	5.2%	
	無回答	回答数 4	0	2	0	0	2	0	0
		割合	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%



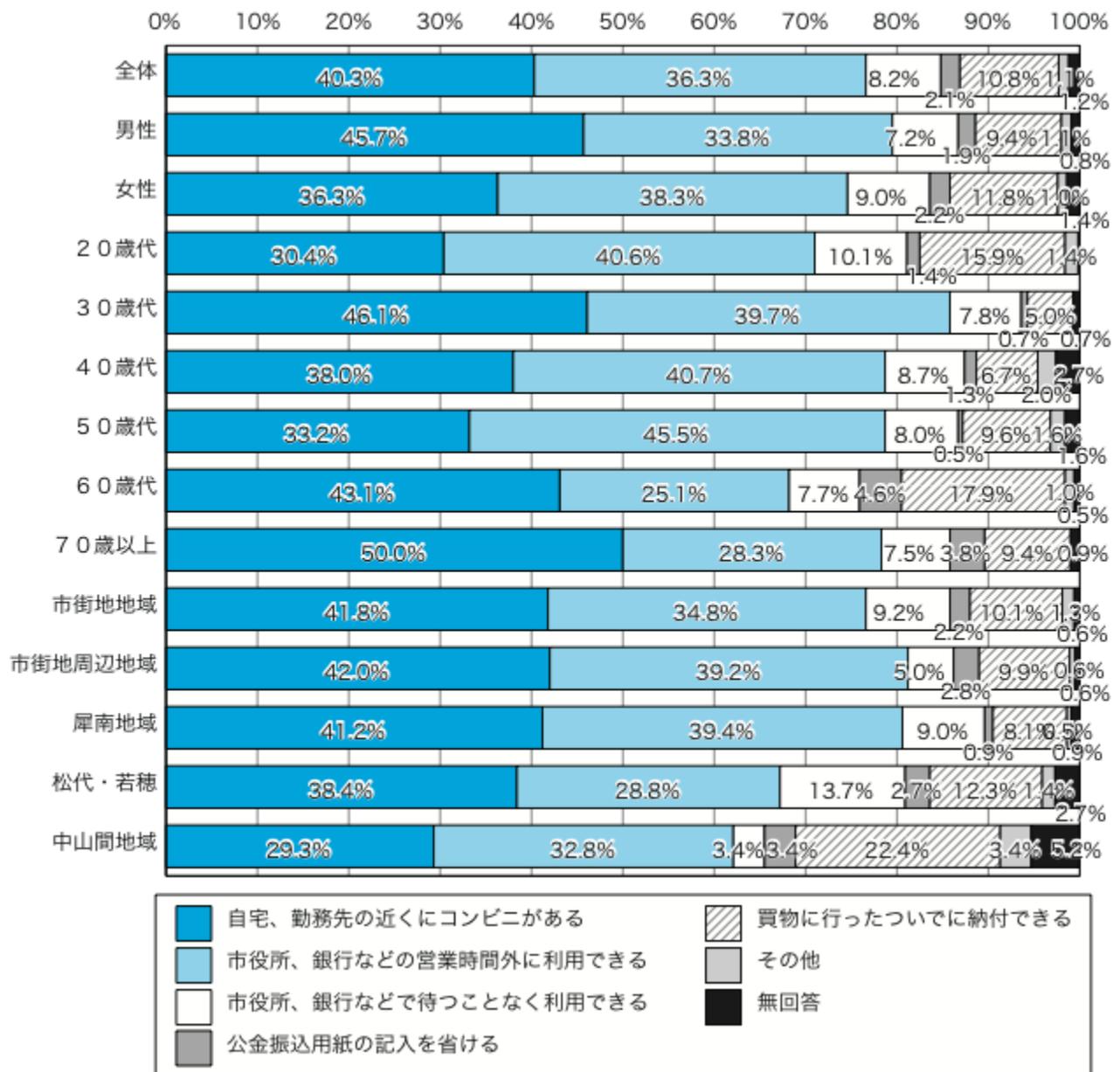
性別、年代別、地域区分別

コンビニ納付を利用した理由としては、「自宅、勤務先の近くにコンビニがある」が40.3%でトップとなりました。男女別で見ると、「男性」では「自宅、勤務先の近くにコンビニがある（45.7%）」がトップとなりました。「女性」では、この項目は、2位で36.3%となっており、9.4ポイントの差がありました。

年代別で見ると、「自宅、勤務先の近くにコンビニがある」が、「30歳代（46.1%）」、「60歳代（43.1%）」、「70歳以上（50.0%）」でトップとなり、70歳以上とこの項目で一番低い「20歳代（30.4%）」では、19.6ポイントの差がありました。

一方「市役所、銀行などの営業時間外に利用できる」が「20歳代（40.6%）」、「40歳代（40.7%）」、「50歳代（45.5%）」でトップとなりました。

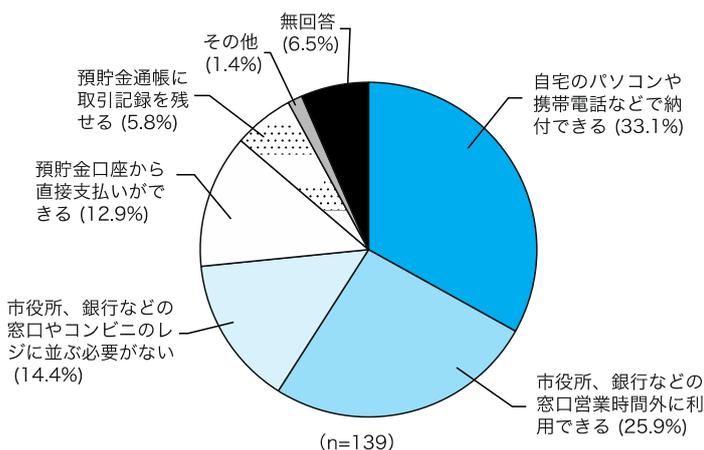
地域区分別で見ると、「自宅、勤務先の近くにコンビニがある」が「中山間地域（29.3%）」以外では、約4割でトップとなりました。



ペイジー納付利用者の理由 ～パソコン・携帯電話で納付ができるがトップ～

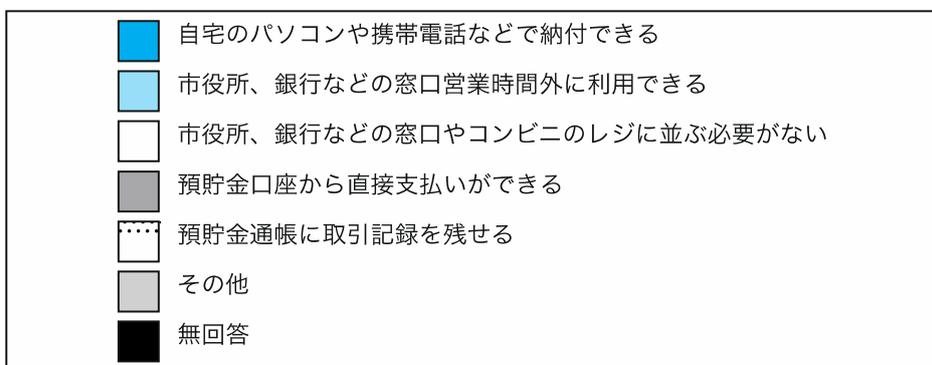
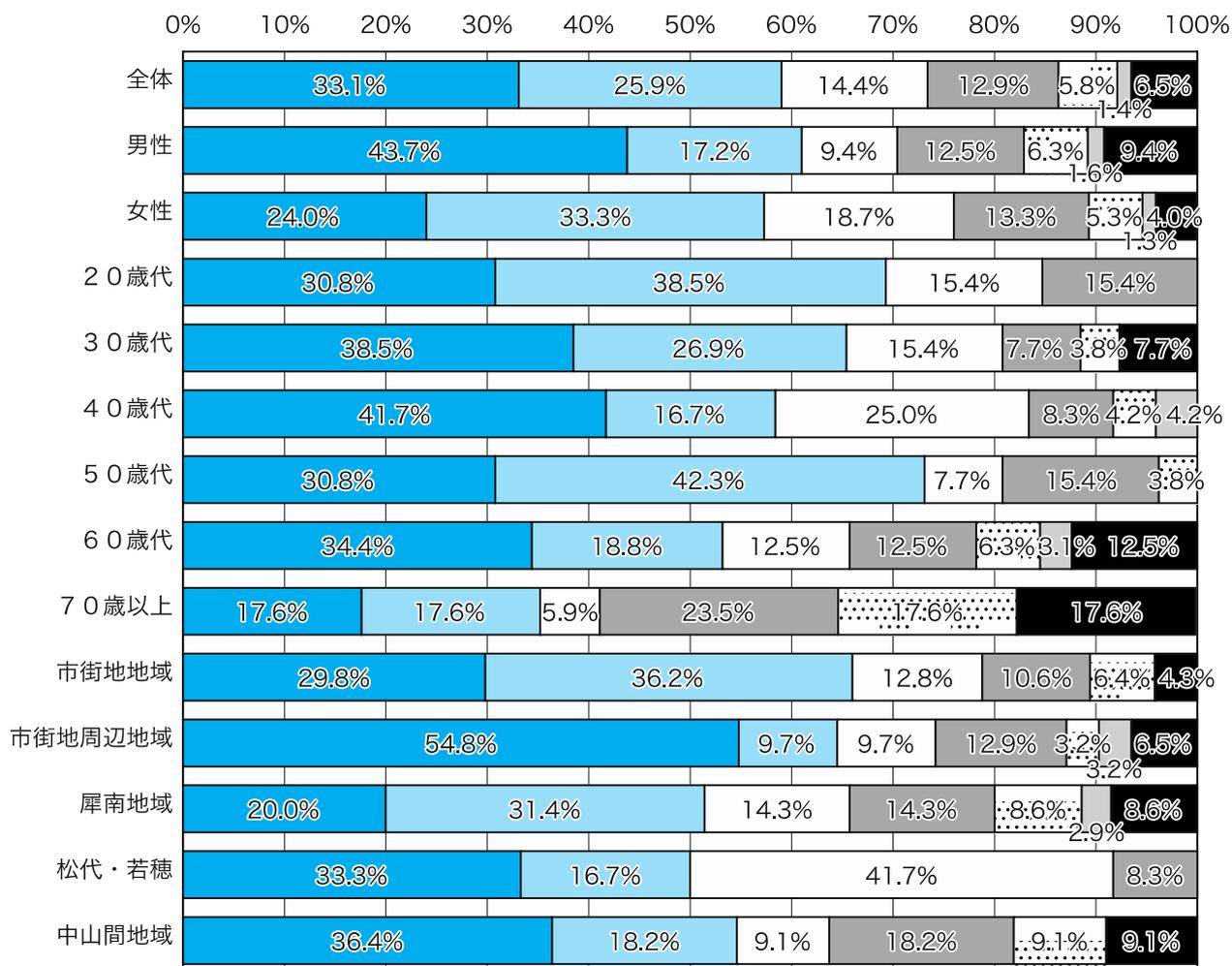
問12 問10で回答が「4」の方にお聞きします。ペイジー納付を利用した主な理由を次の中から1つだけをしてください。

		合計	自宅のパソコンや携帯電話などで納付できる	市役所、銀行などの窓口営業時間外に利用できる	市役所、銀行などの窓口やコンビニのレジに並ぶ必要がない	市役所、銀行などの窓口やコンビニのレジに並ぶ必要がない	預貯金口座から直接支払いができる	預貯金通帳に取引記録を残せる	その他	無回答
全体	回答数	139	46	36	20	18	8	2	9	
	割合	100.0%	33.1%	25.9%	14.4%	12.9%	5.8%	1.4%	6.5%	
性別	男性	回答数	28	11	6	8	4	1	6	
		割合	100.0%	43.8%	17.2%	9.4%	12.5%	6.3%	1.6%	9.4%
	女性	回答数	18	25	14	10	4	1	3	
		割合	100.0%	24.0%	33.3%	18.7%	13.3%	5.3%	1.3%	4.0%
	無回答	回答数	0	0	0	0	0	0	0	0
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
年代	20歳代	回答数	4	5	2	2	0	0	0	
		割合	100.0%	30.8%	38.5%	15.4%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	回答数	10	7	4	2	1	0	2	
		割合	100.0%	38.5%	26.9%	15.4%	7.7%	3.8%	0.0%	7.7%
	40歳代	回答数	10	4	6	2	1	1	0	
		割合	100.0%	41.7%	16.7%	25.0%	8.3%	4.2%	4.2%	0.0%
	50歳代	回答数	8	11	2	4	1	0	0	
		割合	100.0%	30.8%	42.3%	7.7%	15.4%	3.8%	0.0%	0.0%
	60歳代	回答数	11	6	4	4	2	1	4	
		割合	100.0%	34.4%	18.8%	12.5%	12.5%	6.3%	3.1%	12.5%
	70歳以上	回答数	3	3	1	4	3	0	3	
		割合	100.0%	17.6%	17.6%	5.9%	23.5%	17.6%	0.0%	17.6%
無回答	回答数	0	0	1	0	0	0	0		
	割合	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
地域区分	市街地地域	回答数	14	17	6	5	3	0	2	
		割合	100.0%	29.8%	36.2%	12.8%	10.6%	6.4%	0.0%	4.3%
	市街地周辺地域	回答数	17	3	3	4	1	1	2	
		割合	100.0%	54.8%	9.7%	9.7%	12.9%	3.2%	3.2%	6.5%
	犀南地域	回答数	7	11	5	5	3	1	3	
		割合	100.0%	20.0%	31.4%	14.3%	14.3%	8.6%	2.9%	8.6%
	松代・若穂	回答数	4	2	5	1	0	0	0	
		割合	100.0%	33.3%	16.7%	41.7%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	中山間地域	回答数	4	2	1	2	1	0	1	
		割合	100.0%	36.4%	18.2%	9.1%	18.2%	9.1%	0.0%	9.1%
	無回答	回答数	0	1	0	1	0	0	1	
		割合	100.0%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%



ペイジー納付を利用した理由は、「自宅のパソコンや携帯電話などで納付できる（33.1%）」がトップとなりました。

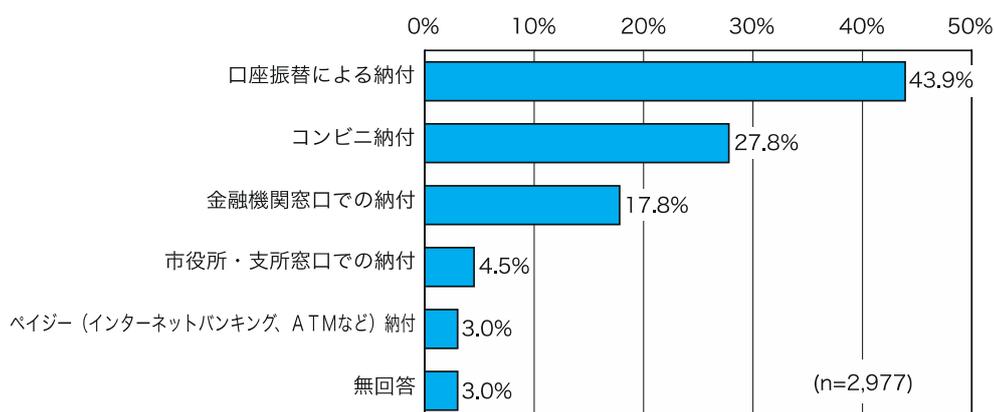
次に、「市役所、銀行などの窓口営業時間外に利用できる（25.9%）」となりました。



今後の税金の納付方法 ～口座振替が約4割でトップ～

問 13 今後、あなたが長野市へ税金などを納付する際に、最もよく利用すると思われる納付方法を1つだけ選び、 をしてください。

		合計	口座振替による納付	ペイジー インターネット バンキング、AT Mなど納付	コンビニ納付	金融機関窓口での納付	市役所・支所窓口での納付	無回答		
全体		回答数	2,977	1,306	90	829	529	135	88	
		割合	100.0%	43.9%	3.0%	27.8%	17.8%	4.5%	3.0%	
性別	男性	回答数	1,319	602	46	337	225	67	42	
		割合	100.0%	45.6%	3.5%	25.5%	17.1%	5.1%	3.2%	
	女性	回答数	1,650	704	44	491	303	66	42	
		割合	100.0%	42.7%	2.7%	29.8%	18.4%	4.0%	2.5%	
	無回答		回答数	8	0	0	1	1	2	4
			割合	100.0%	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%	25.0%	50.0%
年代	20歳代	回答数	247	90	15	92	34	11	5	
		割合	100.0%	36.4%	6.1%	37.2%	13.8%	4.5%	2.0%	
	30歳代	回答数	420	148	23	168	56	20	5	
		割合	100.0%	35.2%	5.5%	40.0%	13.3%	4.8%	1.2%	
	40歳代	回答数	495	159	18	208	86	17	7	
		割合	100.0%	32.1%	3.6%	42.0%	17.4%	3.4%	1.4%	
	50歳代	回答数	530	194	17	188	104	13	14	
		割合	100.0%	36.6%	3.2%	35.5%	19.6%	2.5%	2.6%	
	60歳代	回答数	718	371	11	126	155	35	20	
		割合	100.0%	51.7%	1.5%	17.5%	21.6%	4.9%	2.8%	
	70歳以上	回答数	553	343	5	43	91	39	32	
		割合	100.0%	62.0%	0.9%	7.8%	16.5%	7.1%	5.8%	
	無回答		回答数	14	1	1	4	3	0	5
			割合	100.0%	7.1%	7.1%	28.6%	21.4%	0.0%	35.7%
地域区分	市街地地域		回答数	1,105	455	39	322	211	49	29
			割合	100.0%	41.2%	3.5%	29.1%	19.1%	4.4%	2.6%
	市街地周辺地域		回答数	596	258	18	173	98	28	21
			割合	100.0%	43.3%	3.0%	29.0%	16.4%	4.7%	3.5%
	犀南地域		回答数	773	337	20	215	144	38	19
			割合	100.0%	43.6%	2.6%	27.8%	18.6%	4.9%	2.5%
	松代・若穂		回答数	238	112	6	72	38	5	5
			割合	100.0%	47.1%	2.5%	30.3%	16.0%	2.1%	2.1%
中山間地域		回答数	249	138	7	44	35	15	10	
		割合	100.0%	55.4%	2.8%	17.7%	14.1%	6.0%	4.0%	
無回答		回答数	16	6	0	3	3	0	4	
		割合	100.0%	37.5%	0.0%	18.8%	18.8%	0.0%	25.0%	

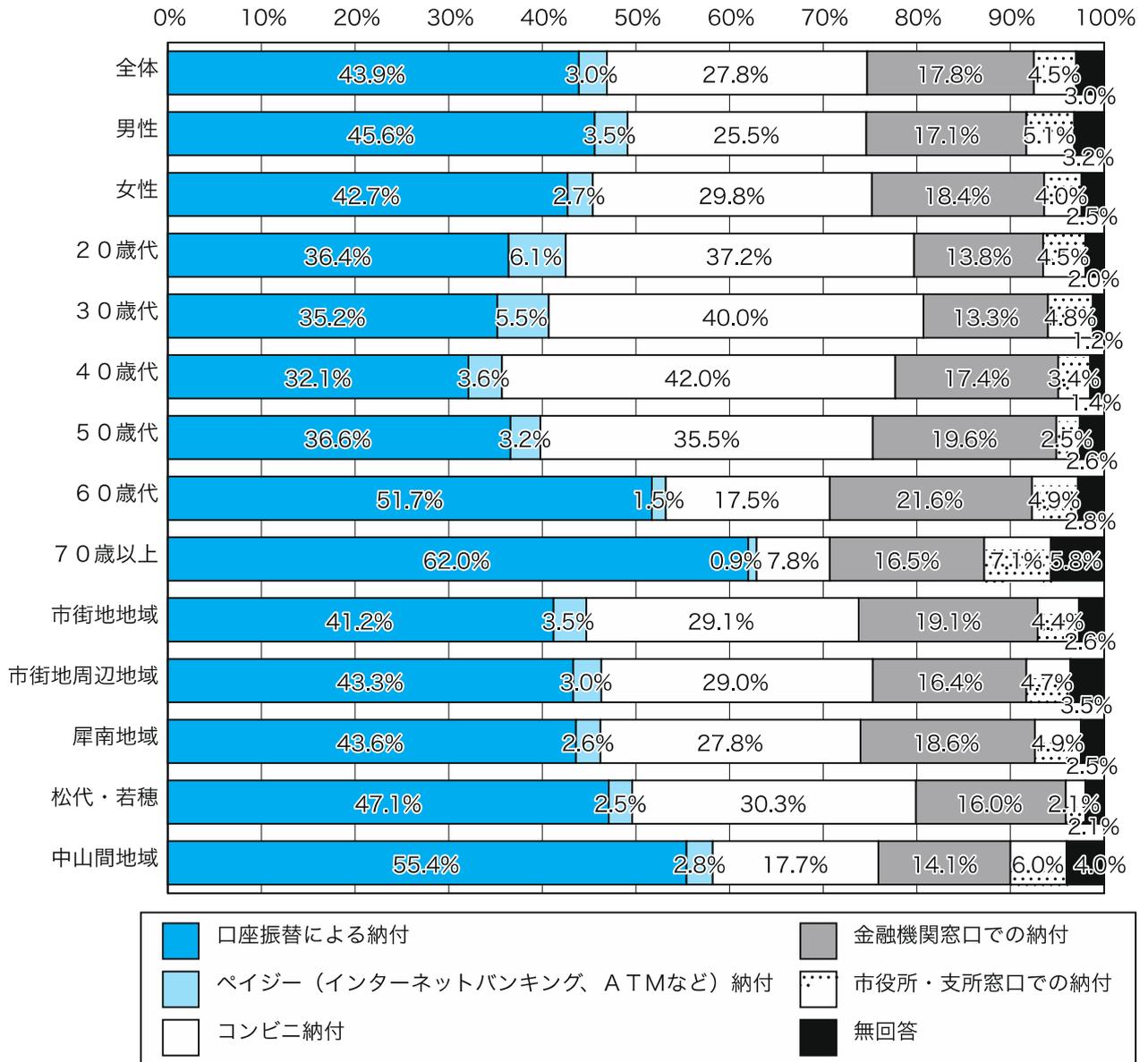


今後の税金などの納付方法については、「口座振替による納付（43.9%）」がトップとなり、次に、「コンビニ納付（27.8%）」と続きました。

男女別に見ると、共に全体の順位と同じで、ポイントでの差もあまりありませんでした。

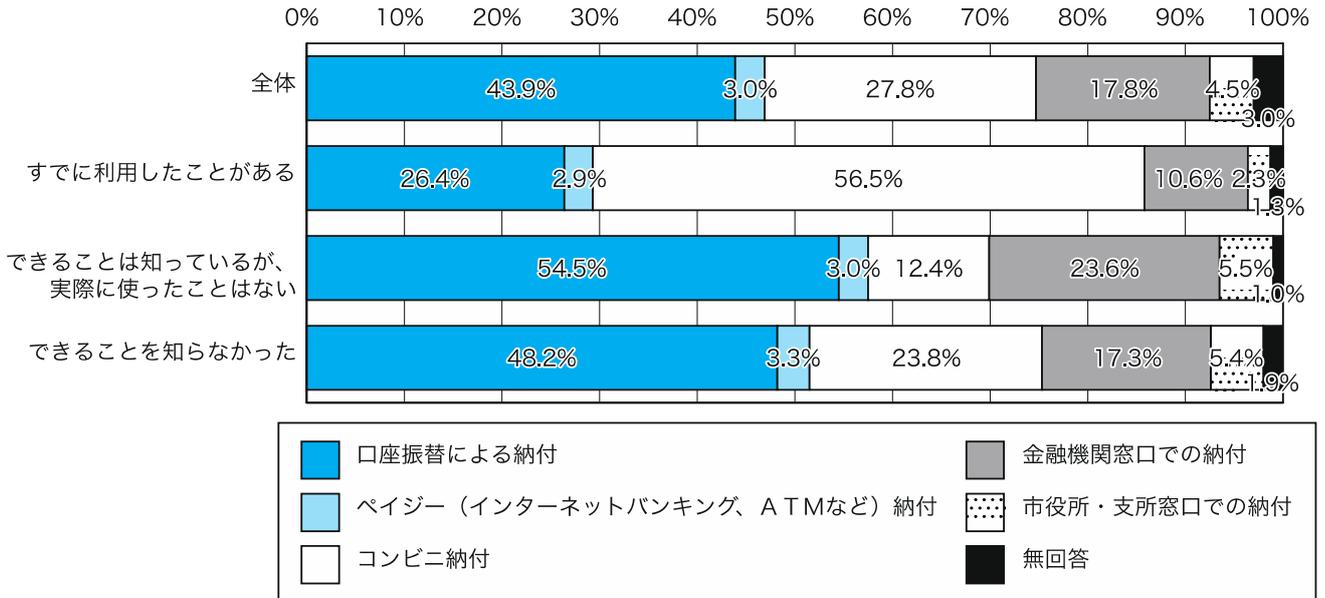
年代別に見ると、「コンビニ納付」が、「20歳代（37.2%）」、「30歳代（40.0%）」、「40歳代（42.0%）」とトップとなりました。一方、50歳代以降は「口座振替による納付」が、「50歳代（36.6%）」、「60歳代（51.7%）」、「70歳以上（62.0%）」となり、年代が低い方はコンビニ納付で、高い方は口座振替と意見が分かれました。

地域区分別に見ると、1位から3位までは、全体と同じ順位でした。ただし、トップの「口座振替による納付」について「中山間地域（55.4%）」で、「市街地地域（41.2%）」となり、14.2ポイントの差がありました。

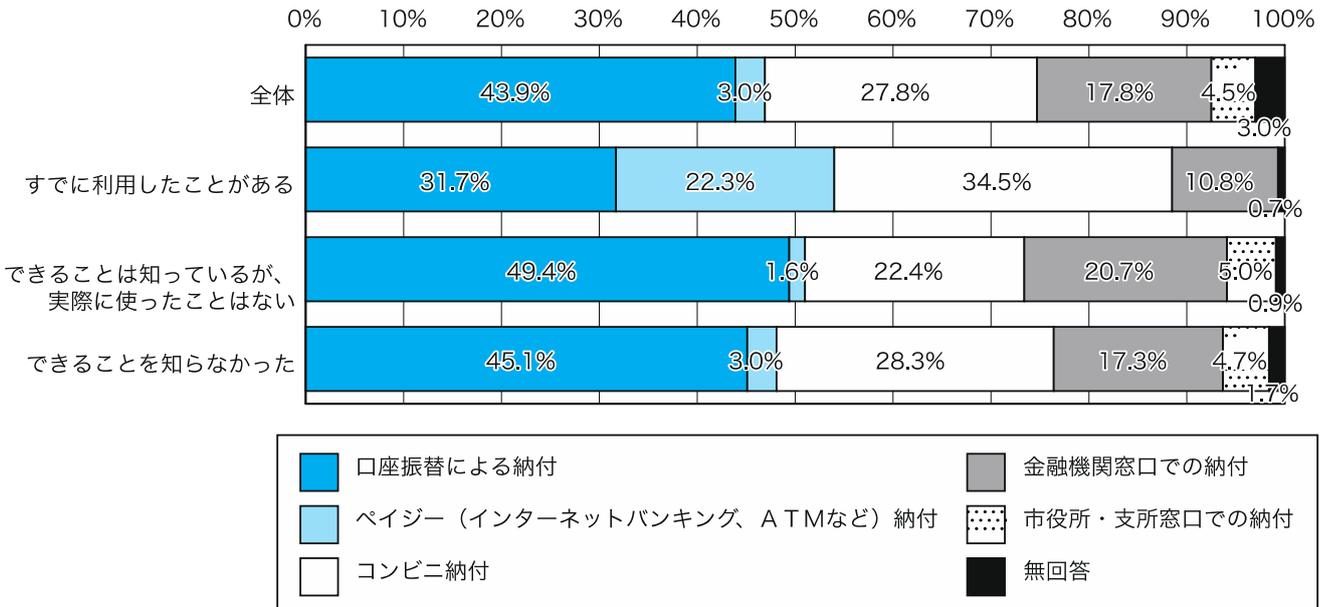


問10と問13のクロス

コンビニ納付



ペイジー納付

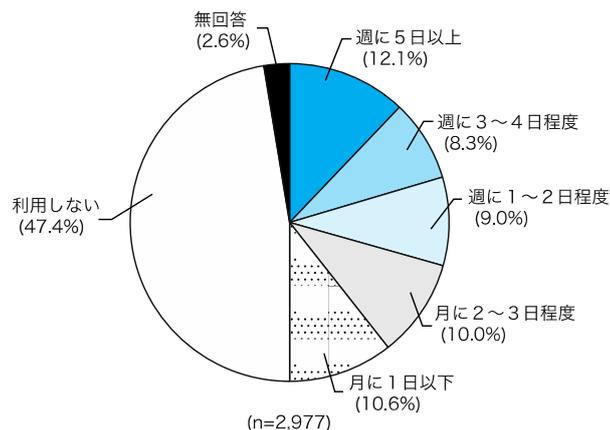


公共交通の活性化と自転車利用の促進について

自転車の利用状況 ～「利用しない」が約半数を占める～

問 14 あなたが自転車に乗る頻度について、次の中から選び、1つだけ をしてください。

		合計	週に5 日以上	週に3～ 4日程度	週に1～ 2日程度	月に2～ 3日程度	月に1 日以下	利用し ない	無回答	
全体	回答数	2,977	360	248	267	298	316	1,410	78	
	割合	100.0%	12.1%	8.3%	9.0%	10.0%	10.6%	47.4%	2.6%	
性別	男性	回答数	1,319	165	94	120	159	175	566	40
		割合	100.0%	12.5%	7.1%	9.1%	12.1%	13.3%	42.9%	3.0%
	女性	回答数	1,650	195	154	147	138	140	843	33
		割合	100.0%	11.8%	9.3%	8.9%	8.4%	8.5%	51.1%	2.0%
	無回答	回答数	8	0	0	0	1	1	1	5
		割合	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%	12.5%	62.5%
年代	20歳代	回答数	247	44	26	11	20	34	110	2
		割合	100.0%	17.8%	10.5%	4.5%	8.1%	13.8%	44.5%	0.8%
	30歳代	回答数	420	40	25	28	50	53	222	2
		割合	100.0%	9.5%	6.0%	6.7%	11.9%	12.6%	52.9%	0.5%
	40歳代	回答数	495	57	37	47	60	79	207	8
		割合	100.0%	11.5%	7.5%	9.5%	12.1%	16.0%	41.8%	1.6%
	50歳代	回答数	530	67	35	35	54	62	270	7
		割合	100.0%	12.6%	6.6%	6.6%	10.2%	11.7%	50.9%	1.3%
	60歳代	回答数	718	74	78	73	70	61	346	16
		割合	100.0%	10.3%	10.9%	10.2%	9.7%	8.5%	48.2%	2.2%
	70歳以上	回答数	553	78	44	72	43	27	250	39
		割合	100.0%	14.1%	8.0%	13.0%	7.8%	4.9%	45.2%	7.1%
	無回答	回答数	14	0	3	1	1	0	5	4
		割合	100.0%	0.0%	21.4%	7.1%	7.1%	0.0%	35.7%	28.6%
地域区分	市街地地域	回答数	1,105	171	116	100	112	111	474	21
		割合	100.0%	15.5%	10.5%	9.0%	10.1%	10.0%	42.9%	1.9%
	市街地周辺地域	回答数	596	69	45	67	64	62	271	18
		割合	100.0%	11.6%	7.6%	11.2%	10.7%	10.4%	45.5%	3.0%
	犀南地域	回答数	773	90	72	74	96	91	337	13
		割合	100.0%	11.6%	9.3%	9.6%	12.4%	11.8%	43.6%	1.7%
	松代・若穂	回答数	238	18	11	21	16	38	128	6
		割合	100.0%	7.6%	4.6%	8.8%	6.7%	16.0%	53.8%	2.5%
	中山間地域	回答数	249	11	4	4	8	12	194	16
		割合	100.0%	4.4%	1.6%	1.6%	3.2%	4.8%	77.9%	6.4%
	無回答	回答数	16	1	0	1	2	2	6	4
		割合	100.0%	6.3%	0.0%	6.3%	12.5%	12.5%	37.5%	25.0%



男女別、年代別、地域区分別、職業別

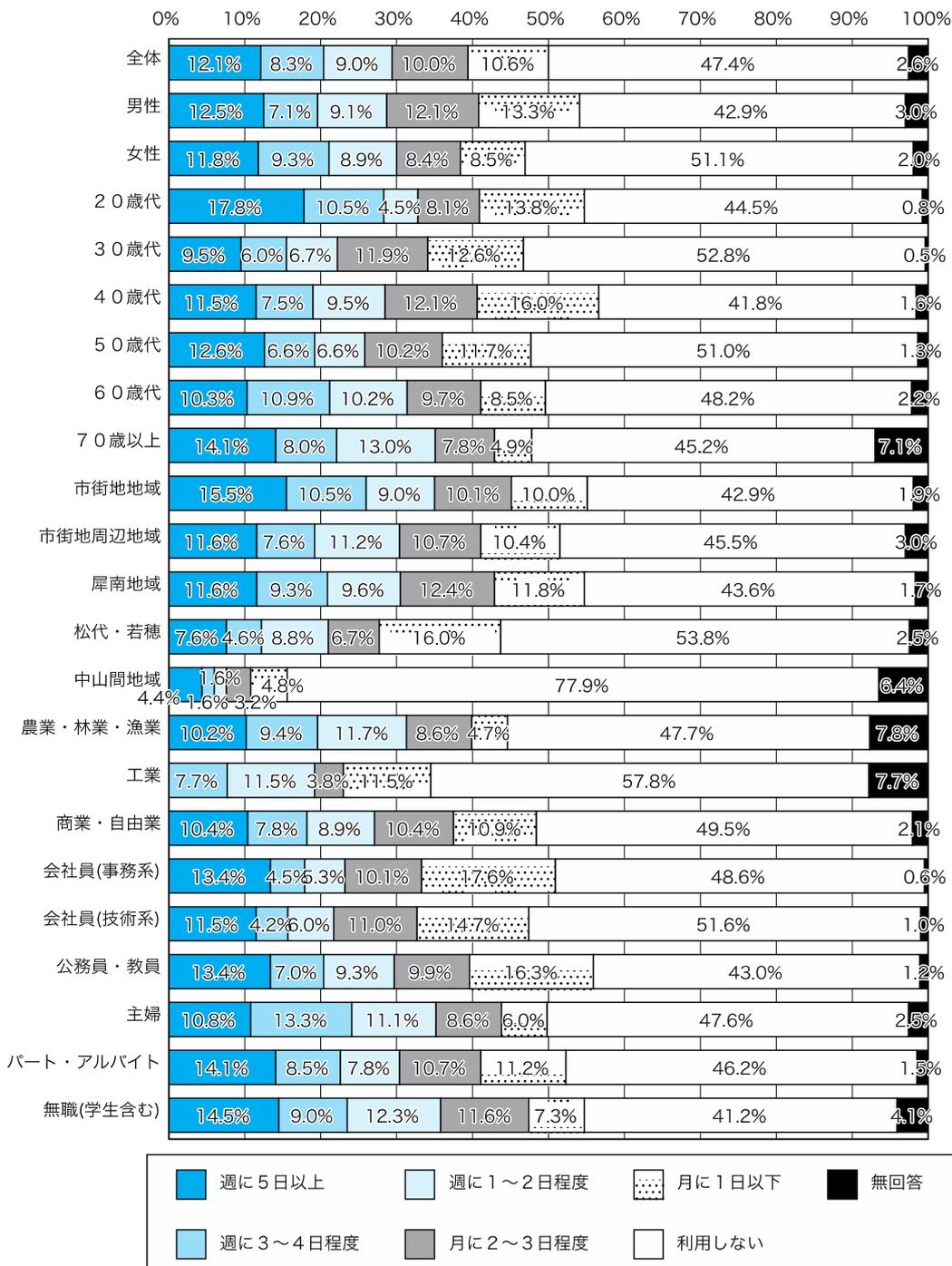
自転車の利用頻度については、「利用しない(47.4%)」で、利用している方、「週5日以上」から「月に1日以下」の合計は、50.0%となり利用している方が2.6ポイント上回りました。

自転車を利用している方の中では、「週に5日以上(12.1%)」がトップになりました。

男女別に見ると、「男性」の利用者は、合計すると54.1%となり、「女性」は46.9%となり「男性」の方が、7.2ポイント利用率が高いことが分かりました。

年代別では、一番利用率が高いのは、40歳代で56.6%、一番低い30歳代は46.7%となり、9.9ポイントの差がありました。

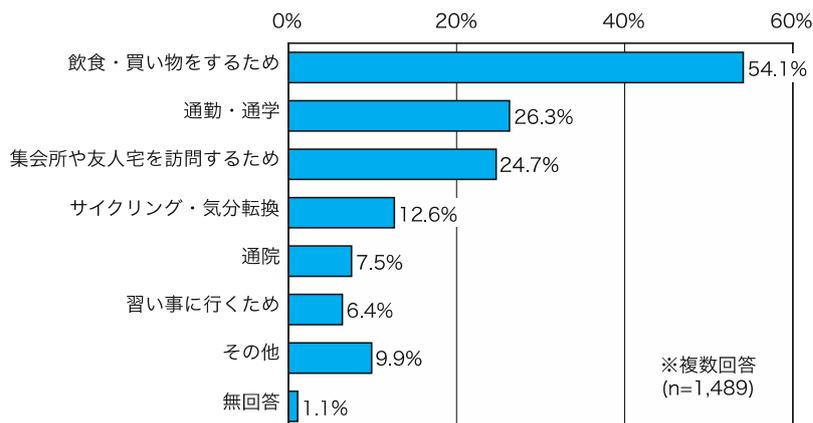
地域区分別で見ると、市街地地域が55.1%と一番高くなり、一番低い中山間地域は15.6%となり、39.5ポイントと大きな差が出ました。



自転車の利用目的 ～「飲食・買い物をするため」が半数以上を占める～

問 15 あなたが主に自転車を利用する目的は何ですか。次の中から2つ以内で選び、 をしてください。

		合計	通勤 通学	飲食・買 い物 をする ため	習い 事 に 行 く た め	集会所 や友人 宅を 訪問 する ため	サイク リング ・ 気分 転換	通院	その他	無 回 答	
全体	回答数	1,489	391	806	95	368	187	112	148	17	
	割合	-	26.3%	54.1%	6.4%	24.7%	12.6%	7.5%	9.9%	1.1%	
性別	男性	回答数	713	186	343	23	191	136	41	61	3
		割合	-	26.1%	48.1%	3.2%	26.8%	19.1%	5.8%	8.6%	0.4%
	女性	回答数	774	205	462	72	177	51	71	87	13
		割合	-	26.5%	59.7%	9.3%	22.9%	6.6%	9.2%	11.2%	1.7%
	無回答	回答数	2	0	1	0	0	0	0	0	1
		割合	-	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
年代	20歳代	回答数	135	75	68	3	10	23	2	4	1
		割合	-	55.6%	50.4%	2.2%	7.4%	17.0%	1.5%	3.0%	0.7%
	30歳代	回答数	196	74	97	7	19	32	3	35	1
		割合	-	37.8%	49.5%	3.6%	9.7%	16.3%	1.5%	17.9%	0.5%
	40歳代	回答数	280	93	150	9	62	31	9	26	5
		割合	-	33.2%	53.6%	3.2%	22.1%	11.1%	3.2%	9.3%	1.8%
	50歳代	回答数	253	92	127	11	52	23	7	25	4
		割合	-	36.4%	50.2%	4.3%	20.6%	9.1%	2.8%	9.9%	1.6%
	60歳代	回答数	356	46	198	36	123	45	38	33	2
		割合	-	12.9%	55.6%	10.1%	34.6%	12.6%	10.7%	9.3%	0.6%
	70歳以上	回答数	264	9	162	29	102	32	53	24	4
		割合	-	3.4%	61.4%	11.0%	38.6%	12.1%	20.1%	9.1%	1.5%
	無回答	回答数	5	2	4	0	0	1	0	1	0
		割合	-	40.0%	80.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%
地域区分	市街地地域	回答数	610	188	396	54	96	68	55	44	6
		割合	-	30.8%	64.9%	8.9%	15.7%	11.1%	9.0%	7.2%	1.0%
	市街地周辺地域	回答数	307	82	161	17	84	42	18	26	4
		割合	-	26.7%	52.4%	5.5%	27.4%	13.7%	5.9%	8.5%	1.3%
	犀南地域	回答数	423	94	202	17	133	54	30	51	6
		割合	-	22.2%	47.8%	4.0%	31.4%	12.8%	7.1%	12.1%	1.4%
	松代・若穂	回答数	104	14	32	6	43	19	7	20	1
		割合	-	13.5%	30.8%	5.8%	41.3%	18.3%	6.7%	19.2%	1.0%
	中山間地域	回答数	39	12	10	0	11	4	1	6	0
		割合	-	30.8%	25.6%	0.0%	28.2%	10.3%	2.6%	15.4%	0.0%
	無回答	回答数	6	1	5	1	1	0	1	1	0
		割合	-	16.7%	83.3%	16.7%	16.7%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%

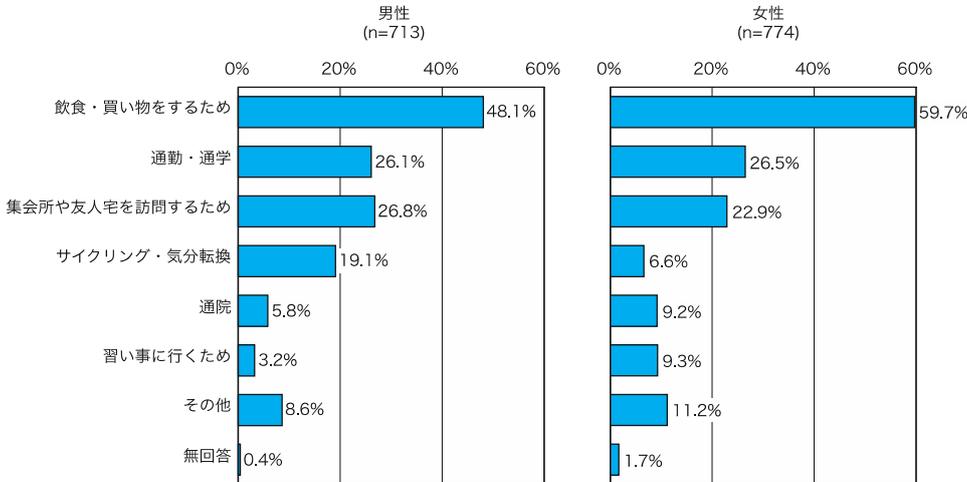


男女別、年代別

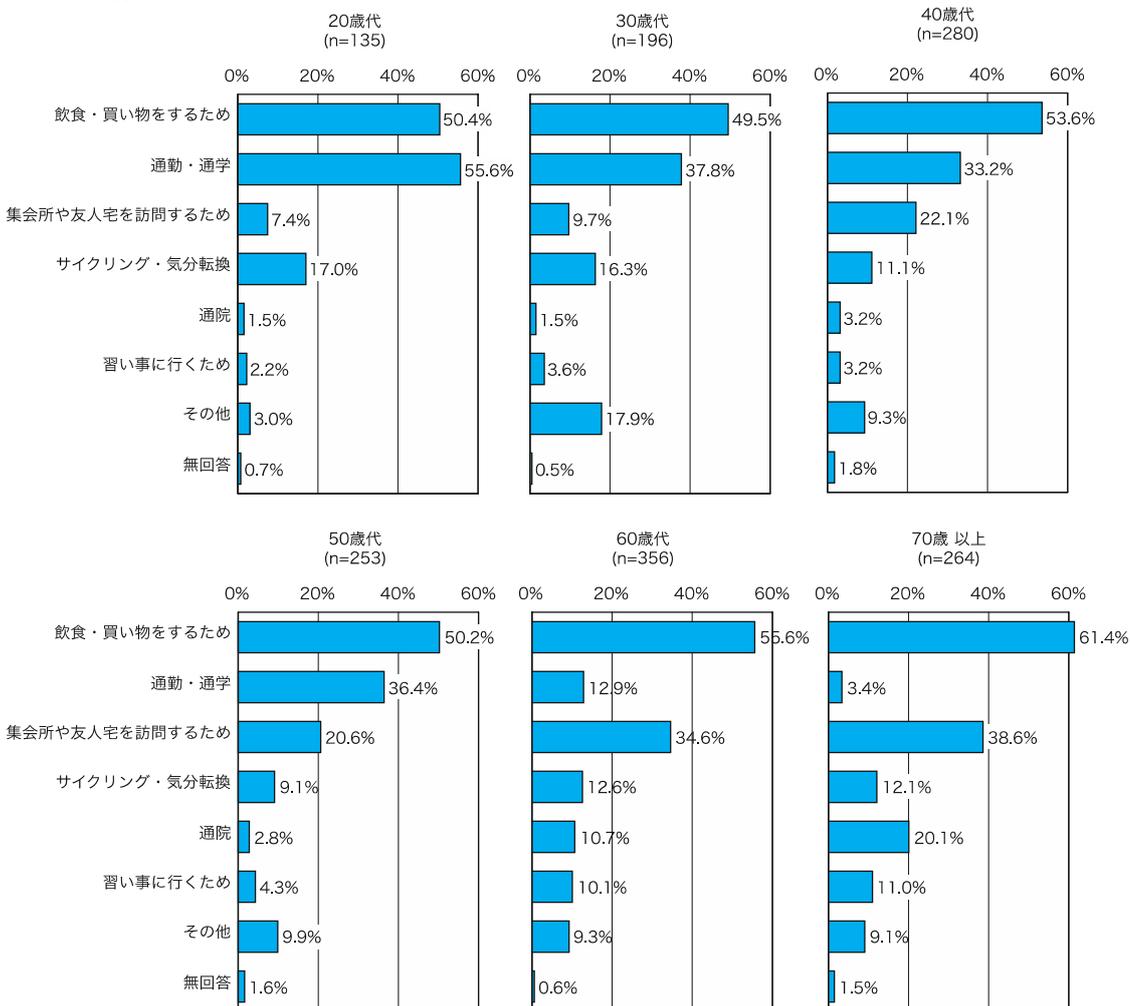
自転車の利用目的について、男女別に見ると、「飲食・買い物をするため」が共にトップであるが、「女性（59.7%）」で、「男性（48.1%）」となり、11.6ポイントの差がありました。

年代別で見ると、「20歳代」だけが、「通勤・通学（55.6%）」がトップで、他の年代は、「飲食・買い物をするため」が約5割以上でトップとなりました。

男女別



年代別



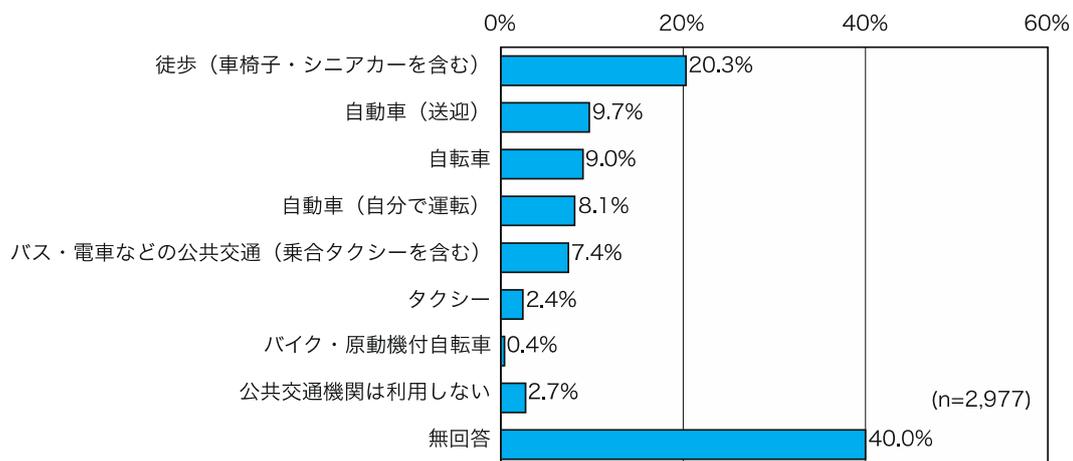
駅、バス停利用者 ~両方とも「徒歩」がトップ~

問 16 あなたが過去1年間で、自宅から最も利用した「駅<鉄道>」および「バス停」へ行くまでの交通手段を教えてください。「駅」、「バス停」ごとに該当する交通手段を次の中から1つずつ選び、回答欄の番号に をしてください。

なお、複数の移動手段を利用されている場合は、最も利用するものをお選びください。

駅

		合計	徒歩 傘椅子 シニアカー (含む)	自転車	自転車 原動機付	自転車 (自分で運 転)	自動車 (送迎)	タクシー	バス・電車などの 公共交通(乗合タ クシーを含む)	公共交通機関は 利用しない	無回答	
全体	回答数	2,977	605	269	13	240	288	71	221	80	1,190	
	割合	100.0%	20.3%	9.0%	0.4%	8.1%	9.7%	2.4%	7.4%	2.7%	40.0%	
性別	男性	回答数	1,319	287	120	5	92	113	36	105	34	527
		割合	100.0%	21.8%	9.1%	0.4%	7.0%	8.6%	2.7%	8.0%	2.6%	40.0%
	女性	回答数	1,650	317	149	8	148	175	35	116	46	656
		割合	100.0%	19.2%	9.0%	0.5%	9.0%	10.6%	2.1%	7.0%	2.8%	39.8%
	無回答	回答数	8	1	0	0	0	0	0	0	0	7
		割合	100.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	87.5%
年代	20歳代	回答数	247	55	40	0	18	35	4	13	13	69
		割合	100.0%	22.3%	16.2%	0.0%	7.3%	14.2%	1.6%	5.3%	5.3%	27.9%
	30歳代	回答数	420	98	40	0	40	54	14	25	22	127
		割合	100.0%	23.3%	9.5%	0.0%	9.5%	12.9%	3.3%	6.0%	5.2%	30.2%
	40歳代	回答数	495	115	45	2	43	55	7	52	15	161
		割合	100.0%	23.2%	9.1%	0.4%	8.7%	11.1%	1.4%	10.5%	3.0%	32.5%
	50歳代	回答数	530	126	59	4	50	54	14	43	8	172
		割合	100.0%	23.8%	11.1%	0.8%	9.4%	10.2%	2.6%	8.1%	1.5%	32.5%
	60歳代	回答数	718	137	56	2	54	62	18	50	12	327
		割合	100.0%	19.1%	7.8%	0.3%	7.5%	8.6%	2.5%	7.0%	1.7%	45.5%
	70歳以上	回答数	553	72	28	5	34	28	14	37	10	325
		割合	100.0%	13.0%	5.1%	0.9%	6.1%	5.1%	2.5%	6.7%	1.8%	58.8%
	無回答	回答数	14	2	1	0	1	0	0	1	0	9
		割合	100.0%	14.3%	7.1%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	64.3%
地域区分	市街地地域	回答数	1,105	283	105	7	54	90	50	104	30	382
		割合	100.0%	25.6%	9.5%	0.6%	4.9%	8.1%	4.5%	9.4%	2.7%	34.6%
	市街地周辺地域	回答数	596	118	60	4	52	53	9	52	8	240
		割合	100.0%	19.8%	10.1%	0.7%	8.7%	8.9%	1.5%	8.7%	1.3%	40.3%
	犀南地域	回答数	773	165	95	1	66	97	11	38	20	280
		割合	100.0%	21.3%	12.3%	0.1%	8.5%	12.5%	1.4%	4.9%	2.6%	36.2%
	松代・若穂	回答数	238	8	3	0	21	28	1	14	11	152
		割合	100.0%	3.4%	1.3%	0.0%	8.8%	11.8%	0.4%	5.9%	4.6%	63.9%
中山間地域	回答数	249	30	6	0	47	17	0	10	11	128	
	割合	100.0%	12.0%	2.4%	0.0%	18.9%	6.8%	0.0%	4.0%	4.4%	51.4%	
無回答	回答数	16	1	0	1	0	3	0	3	0	8	
	割合	100.0%	6.3%	0.0%	6.3%	0.0%	18.8%	0.0%	18.8%	0.0%	50.0%	



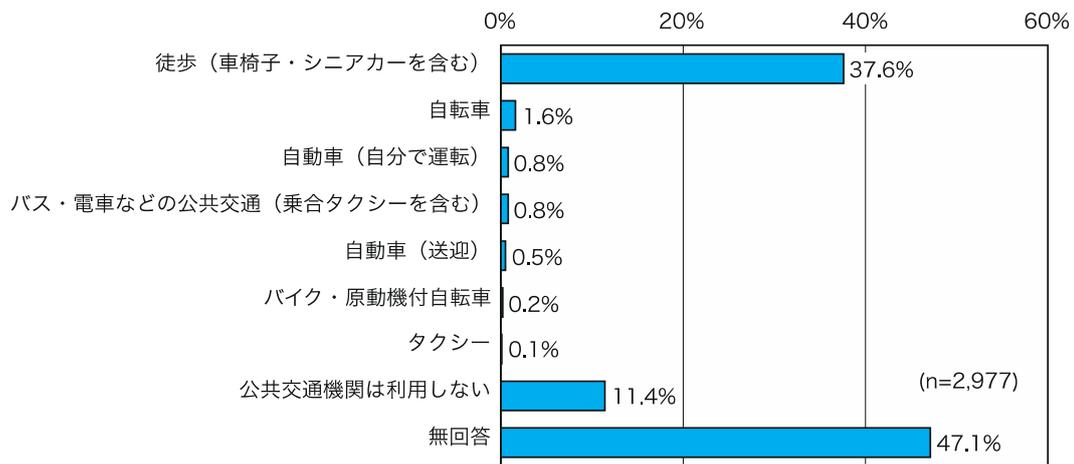
過去1年間で、自宅から最も利用した「駅<鉄道>」へ行くまでの交通手段については、利用された方の中で、「徒歩 (車椅子・シニアカーを含む)」が20.3%でトップとなり、次に「自動車 (送迎)」が9.7%、「自転車」が9.0%と続きました。

男女別に見ると、「男性」は2番目に「自転車」が9.1%となり、全体と異なる結果となりました。

一方、女性は全体の結果と同じでした。

バス停

		合計	徒歩 (傘椅子 シニアカーを 含む)	自転車	バイク 原動機付自転車	自動車 (自分で運転)	自動車 (送迎)	タクシー	バス電車などの公共交通 (乗合タクシーを含む)	公共交通機関は利用しな い	無回答	
全体	回答数	2,977	1,119	47	5	24	15	2	24	338	1,403	
	割合	100.0%	37.6%	1.6%	0.2%	0.8%	0.5%	0.1%	0.8%	11.4%	47.1%	
性別	男性	回答数	1,319	496	19	4	10	5	0	8	136	641
		割合	100.0%	37.6%	1.4%	0.3%	0.8%	0.4%	0.0%	0.6%	10.3%	48.6%
	女性	回答数	1,650	623	28	1	14	10	2	16	202	754
		割合	100.0%	37.8%	1.7%	0.1%	0.8%	0.6%	0.1%	1.0%	12.2%	45.7%
	無回答	回答数	8	0	0	0	0	0	0	0	0	8
		割合	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
年代	20歳代	回答数	247	101	2	0	0	2	0	3	50	89
		割合	100.0%	40.9%	0.8%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%	1.2%	20.2%	36.0%
	30歳代	回答数	420	177	1	0	4	2	0	3	74	159
		割合	100.0%	42.1%	0.2%	0.0%	1.0%	0.5%	0.0%	0.7%	17.6%	37.9%
	40歳代	回答数	495	210	8	1	2	3	0	3	77	191
		割合	100.0%	42.4%	1.6%	0.2%	0.4%	0.6%	0.0%	0.6%	15.6%	38.6%
	50歳代	回答数	530	207	6	0	8	1	1	1	68	238
		割合	100.0%	39.1%	1.1%	0.0%	1.5%	0.2%	0.2%	0.2%	12.8%	44.9%
	60歳代	回答数	718	248	15	1	4	4	1	4	49	392
		割合	100.0%	34.5%	2.1%	0.1%	0.6%	0.6%	0.1%	0.6%	6.8%	54.6%
	70歳以上	回答数	553	172	15	3	6	3	0	10	19	325
		割合	100.0%	31.1%	2.7%	0.5%	1.1%	0.5%	0.0%	1.8%	3.4%	58.8%
	無回答	回答数	14	4	0	0	0	0	0	0	1	9
		割合	100.0%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	64.3%
地域区分	市街地地域	回答数	1,105	519	14	1	4	3	0	6	115	443
		割合	100.0%	47.0%	1.3%	0.1%	0.4%	0.3%	0.0%	0.5%	10.4%	40.1%
	市街地周辺地域	回答数	596	253	3	1	1	1	1	7	51	278
		割合	100.0%	42.4%	0.5%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	1.2%	8.6%	46.6%
	犀南地域	回答数	773	221	17	1	7	6	1	6	127	387
		割合	100.0%	28.6%	2.2%	0.1%	0.9%	0.8%	0.1%	0.8%	16.4%	50.1%
	松代・若穂	回答数	238	68	12	0	5	3	0	1	13	136
		割合	100.0%	28.6%	5.0%	0.0%	2.1%	1.3%	0.0%	0.4%	5.5%	57.1%
	中山間地域	回答数	249	53	1	2	7	1	0	4	31	150
		割合	100.0%	21.3%	0.4%	0.8%	2.8%	0.4%	0.0%	1.6%	12.4%	60.2%
	無回答	回答数	16	5	0	0	0	1	0	0	1	9
		割合	100.0%	31.3%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	6.3%	56.3%

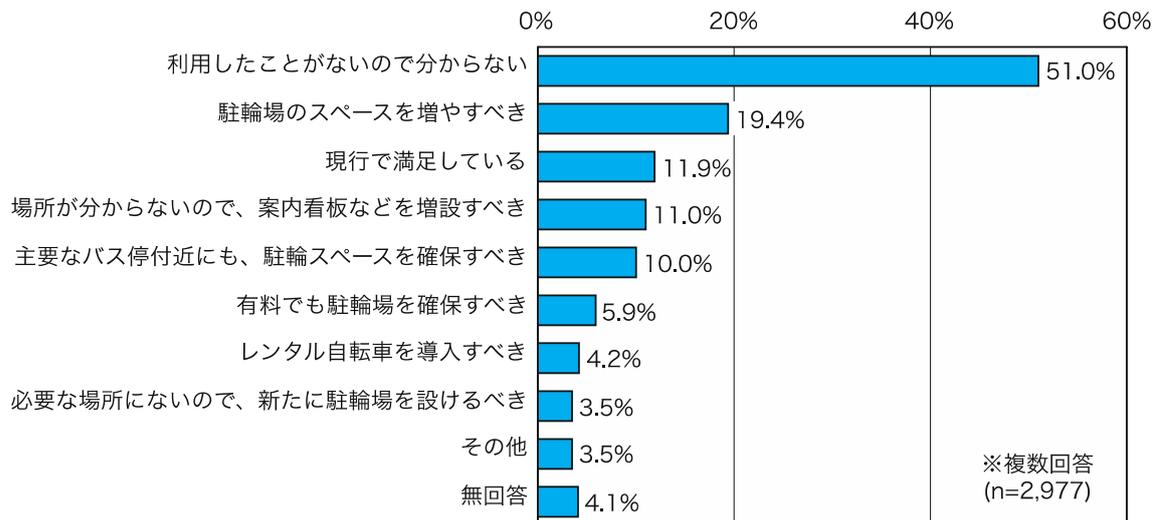


「バス停」を利用した方の中では、「徒歩 (車椅子・シニアカーを含む)」が 37.6%でトップとなり、次に「公共交通機関は利用しない」が 11.4%と続きました。
男女別に見ても、全体の結果と同じになりました。

市営駐輪場の利用向上 ～「利用したことがないので分からない」が約5割～

問 17 電車やバスなどの公共交通の利用を促進するため、駅付近には市営の無料駐輪場を設置しています。この市営駐輪場をより使いやすくするために必要だと思うことは、どのようなことだと思いますか。次の中から2つ以内で選び、 をしてください。

		合計	利用したことがないので分からない	現行で満足している	駐輪場のスペースを増やすべき	場所が分からないので、案内看板などを増設すべき	有料でも駐輪場を確保すべき	主要なバス停付近にも、駐輪スペースを確保すべき	レンタル自転車を導入すべき	必要な場所がないので、新たに駐輪場を設けるべき	その他	無回答	
全体	回答数	2,977	1,518	355	578	328	176	298	124	103	103	123	
	割合	-	51.0%	11.9%	19.4%	11.0%	5.9%	10.0%	4.2%	3.5%	3.5%	4.1%	
性別	男性	回答数	1,319	675	166	243	129	99	122	63	44	50	60
		割合	-	51.2%	12.6%	18.4%	9.8%	7.5%	9.2%	4.8%	3.3%	3.8%	4.5%
	女性	回答数	1,650	841	188	335	198	77	176	61	59	53	59
		割合	-	51.0%	11.4%	20.3%	12.0%	4.7%	10.7%	3.7%	3.6%	3.2%	3.6%
	無回答	回答数	8	2	1	0	1	0	0	0	0	0	4
		割合	-	25.0%	12.5%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
年代	20歳代	回答数	247	83	43	76	38	7	24	13	15	12	4
		割合	-	33.6%	17.4%	30.8%	15.4%	2.8%	9.7%	5.3%	6.1%	4.9%	1.6%
	30歳代	回答数	420	208	48	81	63	14	38	28	18	18	5
		割合	-	49.5%	11.4%	19.3%	15.0%	3.3%	9.0%	6.7%	4.3%	4.3%	1.2%
	40歳代	回答数	495	233	58	108	66	28	55	23	28	20	6
		割合	-	47.1%	11.7%	21.8%	13.3%	5.7%	11.1%	4.6%	5.7%	4.0%	1.2%
	50歳代	回答数	530	268	59	115	58	46	59	22	19	20	8
		割合	-	50.6%	11.1%	21.7%	10.9%	8.7%	11.1%	4.2%	3.6%	3.8%	1.5%
	60歳代	回答数	718	415	79	120	64	48	74	25	17	19	34
		割合	-	57.8%	11.0%	16.7%	8.9%	6.7%	10.3%	3.5%	2.4%	2.6%	4.7%
	70歳以上	回答数	553	306	67	76	37	33	48	13	6	14	60
		割合	-	55.3%	12.1%	13.7%	6.7%	6.0%	8.7%	2.4%	1.1%	2.5%	10.8%
	無回答	回答数	14	5	1	2	2	0	0	0	0	0	6
		割合	-	35.7%	7.1%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	42.9%
地域区分	市街地地域	回答数	1,105	501	116	283	148	87	112	44	50	38	37
		割合	-	45.3%	10.5%	25.6%	13.4%	7.9%	10.1%	4.0%	4.5%	3.4%	3.3%
	市街地周辺地域	回答数	596	332	62	112	67	33	45	25	19	15	23
		割合	-	55.7%	10.4%	18.8%	11.2%	5.5%	7.6%	4.2%	3.2%	2.5%	3.9%
	犀南地域	回答数	773	370	136	129	77	37	92	38	23	36	24
		割合	-	47.9%	17.6%	16.7%	10.0%	4.8%	11.9%	4.9%	3.0%	4.7%	3.1%
	松代・若穂	回答数	238	147	25	21	15	8	34	8	7	7	12
		割合	-	61.8%	10.5%	8.8%	6.3%	3.4%	14.3%	3.4%	2.9%	2.9%	5.0%
	中山間地域	回答数	249	163	16	28	18	11	14	8	4	7	22
		割合	-	65.5%	6.4%	11.2%	7.2%	4.4%	5.6%	3.2%	1.6%	2.8%	8.8%
	無回答	回答数	16	5	0	5	3	0	1	1	0	0	5
		割合	-	31.3%	0.0%	31.3%	18.8%	0.0%	6.3%	6.3%	0.0%	0.0%	31.3%

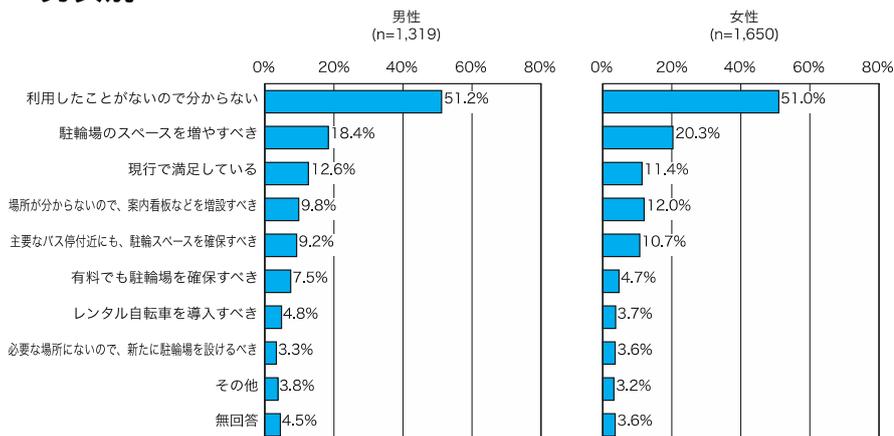


市営無料駐輪場の利用向上については、「利用したことがないので分からない」が 51.0%でトップとなり、次に「駐輪場のスペースを増やすべき」が 19.4%、「現行で満足している」が 11.9%と続きました。

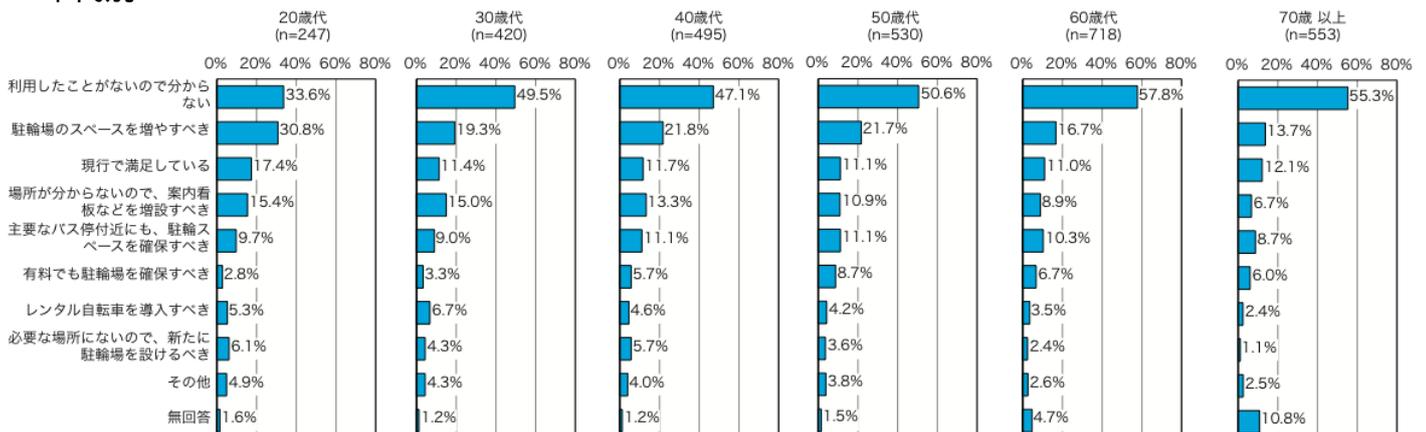
男女別に見ると、男性は、全体の結果と同様の順位となりましたが、女性は、「場所が分からないので、案内看板などを増設すべき」が 3 位となりました。

年代別に見ると、「30 歳代 (15.0%)」、「40 歳代 (13.3%)」は、3 位に「場所が分からないので、案内看板などを増設すべき」が入りました。

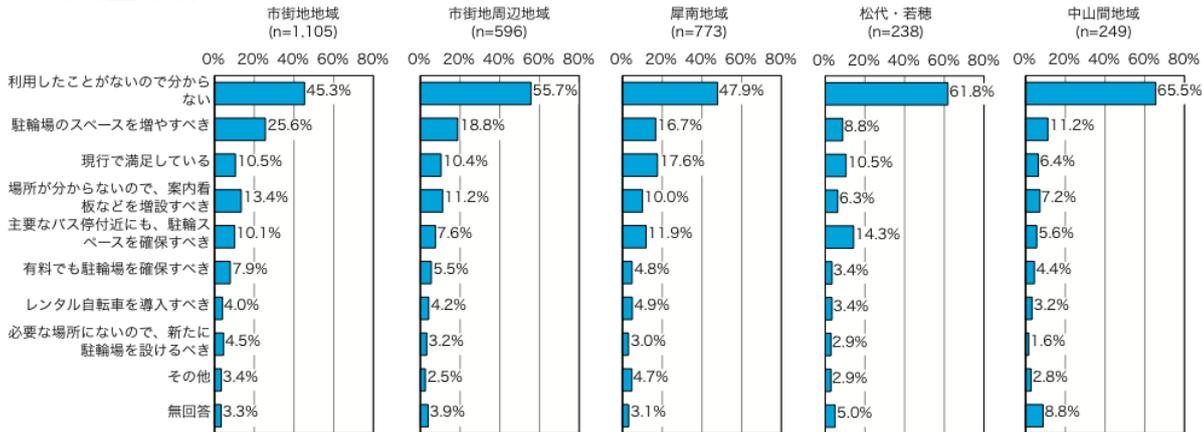
男女別



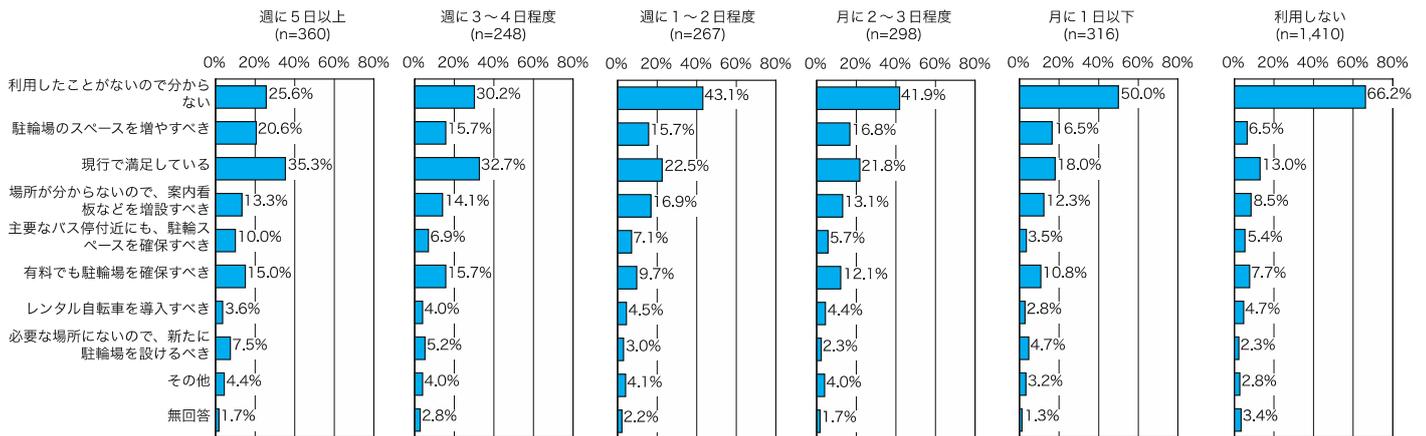
年代別



地域区別



問 14 と問 17 のクロス集計



1週間に3日以上自転車を利用する方は、「現行で満足している」がそれぞれ「週5日以上（35.3%）」、「週に3～4日程度（32.7%）」とトップになりました。

一方、自転車をあまり利用されない方は、「利用したことがないので分からない」が「週に1～2日程度（43.1%）」、「月に2～3日程度（41.9%）」、「月に1日以下（50.0%）」、「利用しない（66.2%）」とトップになりました。

第四次長野市総合計画 施策の指標項目

週1回以上の運動 ～前年度より2.4ポイント減「51.4%」～

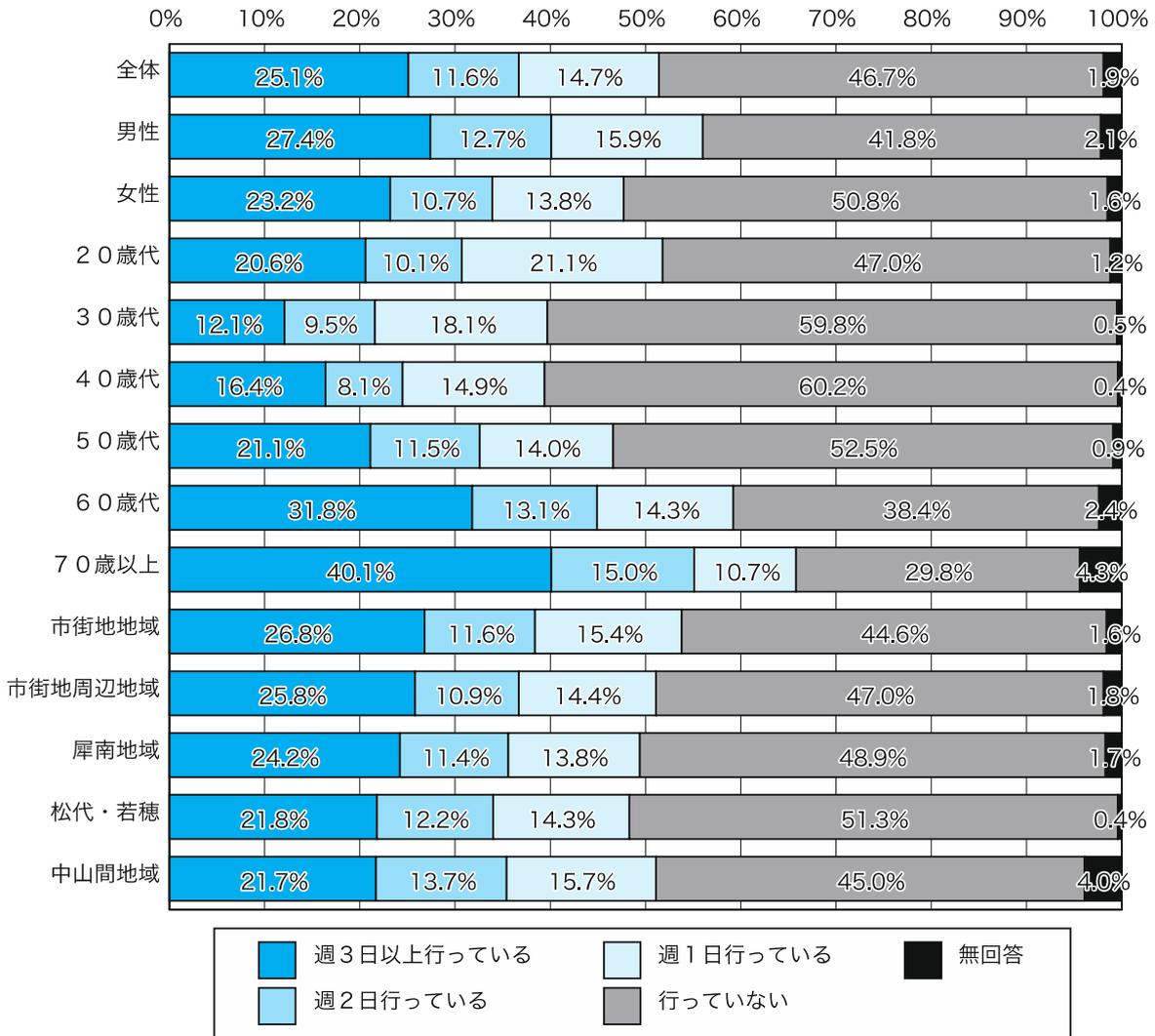
問 18 あなたは、体を動かす運動（1日30分以上）をどのくらい行っていますか。次の中から1つだけをしてください。

基本施策 441 スポーツを軸としたまちづくりの推進

指標項目	現状値（H22）	目標値（H28）
週1回以上スポーツ活動を行っている成人の割合	52.8%	69.6%

		合計	週3日以上 行っている	週2日 行っている	週1日 行っている	行って いない	無回答	
全体	回答数	2,977	747	344	438	1,390	58	
	割合	100.0%	25.1%	11.6%	14.7%	46.7%	1.9%	
性別	男性	回答数	1,319	362	168	210	551	28
		割合	100.0%	27.4%	12.7%	15.9%	41.8%	2.1%
	女性	回答数	1,650	382	176	228	838	26
		割合	100.0%	23.2%	10.7%	13.8%	50.8%	1.6%
	無回答	回答数	8	3	0	0	1	4
		割合	100.0%	37.5%	0.0%	0.0%	12.5%	50.0%
年代	20歳代	回答数	247	51	25	52	116	3
		割合	100.0%	20.6%	10.1%	21.1%	47.0%	1.2%
	30歳代	回答数	420	51	40	76	251	2
		割合	100.0%	12.1%	9.5%	18.1%	59.8%	0.5%
	40歳代	回答数	495	81	40	74	298	2
		割合	100.0%	16.4%	8.1%	14.9%	60.2%	0.4%
	50歳代	回答数	530	112	61	74	278	5
		割合	100.0%	21.1%	11.5%	14.0%	52.5%	0.9%
	60歳代	回答数	718	228	94	103	276	17
		割合	100.0%	31.8%	13.1%	14.3%	38.4%	2.4%
	70歳以上	回答数	553	222	83	59	165	24
		割合	100.0%	40.1%	15.0%	10.7%	29.8%	4.3%
	無回答	回答数	14	2	1	0	6	5
		割合	100.0%	14.3%	7.1%	0.0%	42.9%	35.7%
地域区分	市街地地域	回答数	1,105	296	128	170	493	18
		割合	100.0%	26.8%	11.6%	15.4%	44.6%	1.6%
	市街地周辺地域	回答数	596	154	65	86	280	11
		割合	100.0%	25.8%	10.9%	14.4%	47.0%	1.8%
	犀南地域	回答数	773	187	88	107	378	13
		割合	100.0%	24.2%	11.4%	13.8%	48.9%	1.7%
	松代・若穂	回答数	238	52	29	34	122	1
		割合	100.0%	21.8%	12.2%	14.3%	51.3%	0.4%
	中山間地域	回答数	249	54	34	39	112	10
		割合	100.0%	21.7%	13.7%	15.7%	45.0%	4.0%
	無回答	回答数	16	4	0	2	5	5
		割合	100.0%	25.0%	0.0%	12.5%	31.3%	31.3%

性別・年代別・地域別「積み上げグラフ」



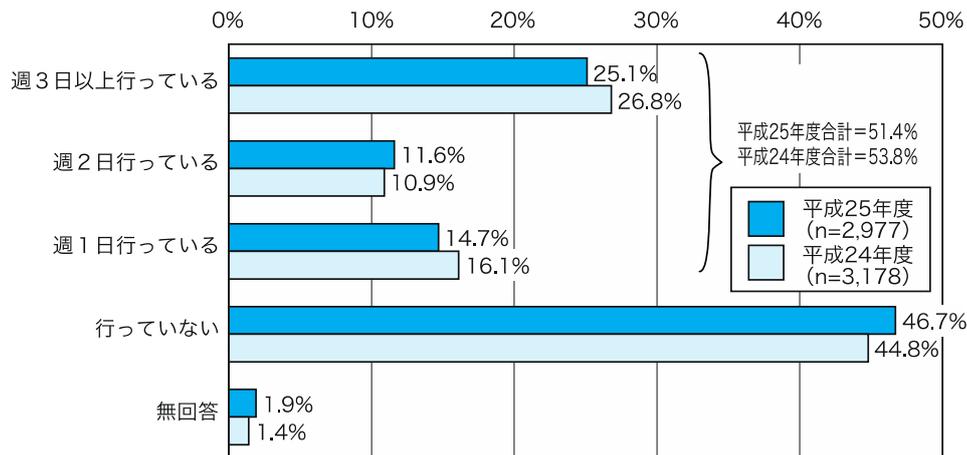
「1日30分以上の運動」をどのくらいしているかについては、「行っていない(46.7%)」が最も多い。続いて、「週3日以上行っている(25.1%)」、「週1日行っている(14.7%)」、「週2日行っている(11.6%)」の順となりました。

男女別で見ると、運動を行っている割合(「週1日行っている」、「週2日以上行っている」、「週3日以上行っている」)は、「男性(56.0%)」、「女性(47.7%)」となり、「男性」の方が8.3ポイント高くなりました。

年代別で見ると、運動を行っている割合は、「70歳以上(65.8%)」が最も高く、続く「60歳代(59.2%)」、「20歳代(51.8%)」の世代も5割を超えました。最も低かった世代は、「40歳代(39.4%)」となり、トップの「70歳以上」と比べると26.4ポイントの差がありました。

地域区分別で見ると、「市街地地域(53.8%)」が最も高くなりましたが、他の地区も約5割となりました。

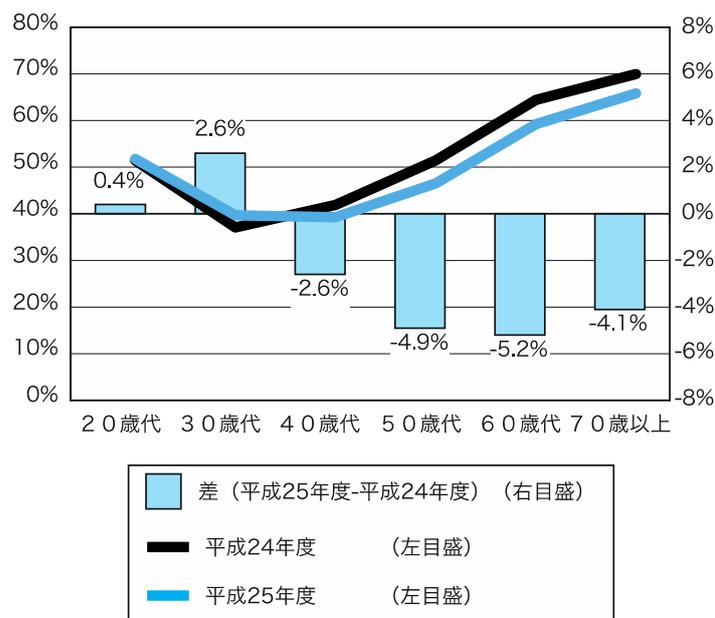
前年度比較



前年度の平成24年度の調査結果と比較すると、ポイントが増加した項目は、2項目で、「週2日行っている」が「平成24年度(10.9%)」、「平成25年度(11.6%)」で0.7ポイントの増加、「行っていない」が「平成24年度(44.8%)」、「平成25年度(46.7%)」で1.9ポイントの増加となりました。

1日30分以上行っている割合は、「平成24年度(53.8%)」、「平成25年度(51.4%)」となり、2.4ポイント減少しました。

年代別折れ線グラフ



運動を1日30分以上行っている割合を年代別で折れ線グラフに表し、前年度平成24年度との差を縦棒グラフに表すと上記のとおりとなりました。

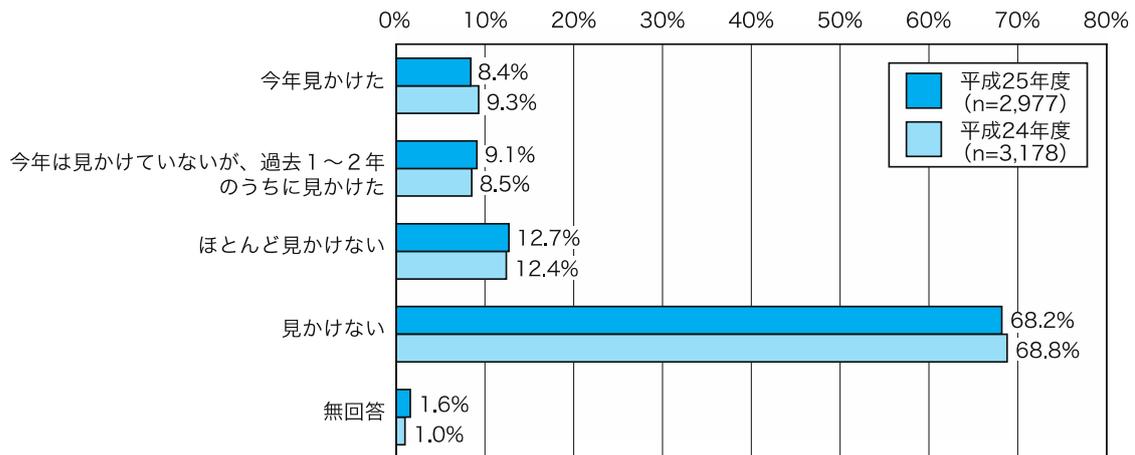
ホタルを見かけた市民 ~前年度より0.3ポイント減「17.5%」~

問 19 お住まいの地区では、ホタルを見かけることがありますか。次の中から1つだけ をしてください。

基本施策 212 良好な自然環境の確保								
指標項目			現状値 (H22)		目標値 (H28)			
ホタルを見かけることがある市民の割合			18.2%		30.0%			
		合計	今年見かけた	今年は見かけていないが、過去1~2年のうちに見かけた	ほとんど見かけない	見かけない	無回答	
全体	回答数	2,977	250	272	377	2,029	49	
	割合	100.0%	8.4%	9.1%	12.7%	68.2%	1.6%	
地域区分	市街地地域	回答数	1,105	52	82	118	841	12
		割合	100.0%	4.7%	7.4%	10.7%	76.1%	1.1%
	市街地周辺地域	回答数	596	62	64	79	382	9
		割合	100.0%	10.4%	10.7%	13.3%	64.1%	1.5%
	犀南地域	回答数	773	22	35	94	611	11
		割合	100.0%	2.8%	4.5%	12.2%	79.0%	1.4%
	松代・若穂	回答数	238	50	35	41	110	2
		割合	100.0%	21.0%	14.7%	17.2%	46.2%	0.8%
	中山間地域	回答数	249	62	56	43	78	10
		割合	100.0%	24.9%	22.5%	17.3%	31.3%	4.0%
	無回答	回答数	16	2	0	2	7	5
		割合	100.0%	12.5%	0.0%	12.5%	43.8%	31.3%

「住んでいる地区でホタルを見かけたことがあるか」については、「見かけない(68.2%)」という回答が最も多く、「ほとんど見かけない(12.7%)」と合計すると約8割の市民がホタルを見かけていないことが分かりました。

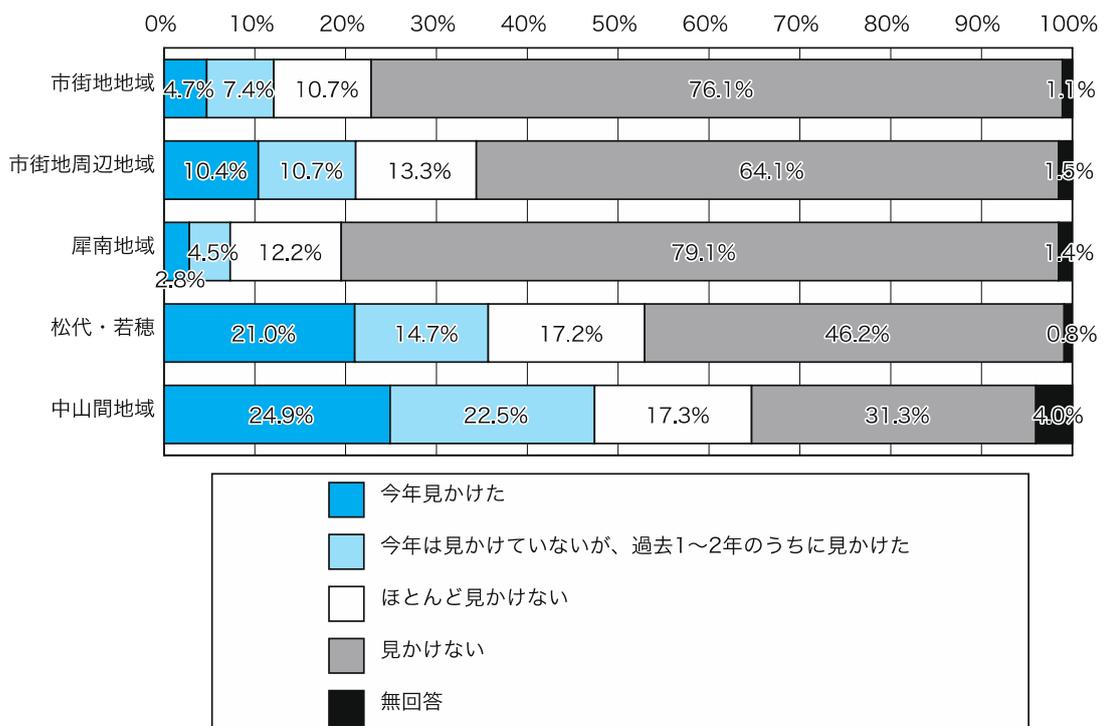
前年度比較



前年度の平成 24 年度の調査結果と比較すると、ポイントが増加した項目は、2 項目であり、「今年は見かけていないが、過去 1～2 年のうちに見かけた」は「平成 24 年度 (8.5%)」、「平成 25 年度 (9.1%)」で 0.6 ポイントの増加、「ほとんど見かけない」が「平成 24 年度 (12.4%)」、「平成 25 年度 (12.7%)」で 0.3 ポイントの増加となりました。

ホテルを見かけた割合(「今年見かけた」、「今年は見かけていないが、過去 1～2 年のうちに見かけた」)は、平成 25 年度は 17.5%で、平成 24 年度の 17.8%より 0.3 ポイント減少しました。

地域別「積み上げグラフ」



地域区別で見ると、ホテルを見かけた割合は「中山間地域 (47.4%)」が最も多い。一方、同割合が最も低かった地域は「犀南地域 (7.3%)」であり、40.1 ポイントの差がありました。

行政施策の満足度（第四次長野市総合計画 基本施策 アンケート指標）

市民満足度トップは、「生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている」

問 20 あなたの日常生活を思い出していただき、1 から 44 のそれぞれの質問項目について、最も当てはまると思われる番号1つに をつけてください。実感や印象、経験でお答えください。

（選択肢：「1. そう思う」「2. ややそう思う」「3. あまりそう思わない」「4. そう思わない」「5. わからない」）

【「そう思う」、「ややそう思う」合計上位5項目】

順位	施策項目	そう思う	やや そう思う	合計
1	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている	22.9%	44.2%	67.2%
2	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある	23.9%	42.6%	66.4%
3	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである	16.8%	48.5%	65.3%
4	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている	14.9%	47.5%	62.3%
5	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている	14.6%	40.8%	55.4%

【「そう思う」、「ややそう思う」合計下位5項目】

順位	施策項目	そう思う	やや そう思う	合計
40	市役所は、行政改革に積極的に取り組んでいる	2.2%	13.9%	16.1%
41	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている	2.1%	10.6%	12.7%
42	外国の人や文化との交流が行われている	1.8%	10.7%	12.6%
43	工業や製造業に活気がある	1.2%	9.9%	11.1%
44	働きたい人が仕事につきやすい環境がある	0.7%	5.2%	5.9%

「日常生活を思い出し、各項目（44項目）についてどのように思うか」について尋ねたところ、回答結果のうち、「そう思う」、「ややそう思う」という回答割合の合計上位5項目、下位5項目は上記のとおりになりました。

市民満足度（「そう思う」、「ややそう思う」）が最も高い項目は、「生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている（合計：67.2%）」でありました。この項目は、前年度から2.1ポイント増加し、平成21年度以来4年ぶりにトップになりました。

続いて、「豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある（合計：66.4%）」、「資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである（合計：65.3%）」、「騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている（合計：62.3%）」が6割以上の満足度を得ており、長野市の生活環境については、多くの市民が満足している結果となりました。

一方、満足度が低い項目は、「働きたい人が仕事につきやすい環境がある（合計：5.9%）」、「工業や製造業に活気がある（合計：11.1%）」などでありました。雇用や経済の活性化が、依然として大きな課題となりました。

【「あまりそう思わない」、「そう思わない」合計上位5項目】

順位	施策項目	あまりそう 思わない	そう 思わない	合計
1	働きたい人が仕事につきやすい環境がある	32.7%	47.4%	80.1%
2	公共施設や歩道は、すべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている	37.4%	30.2%	67.6%
3	工業や製造業に活気がある	37.0%	29.1%	66.1%
4	魅力と賑わいがある中心市街地が整備されている	34.8%	30.6%	65.4%
5	公共交通が、利便性と環境負荷の軽減を考慮しながら整備されている	33.9%	28.4%	62.3%

【「あまりそう思わない」、「そう思わない」合計下位5項目】

順位	施策項目	あまりそう 思わない	そう 思わない	合計
40	生まれや育ちにより差別されない平等な地域社会が築かれている	17.7%	8.3%	26.0%
41	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである	19.3%	6.2%	25.5%
42	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある	16.4%	8.7%	25.1%
43	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている	16.0%	6.7%	22.7%
44	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている	11.5%	4.9%	16.4%

「日常生活を思い出し、各項目（44項目）についてどのように思うか」について尋ねたところ、回答結果のうち、「あまりそう思わない」、「そう思わない」という回答割合の合計上位5項目、下位5項目は上記のとおりになりました。

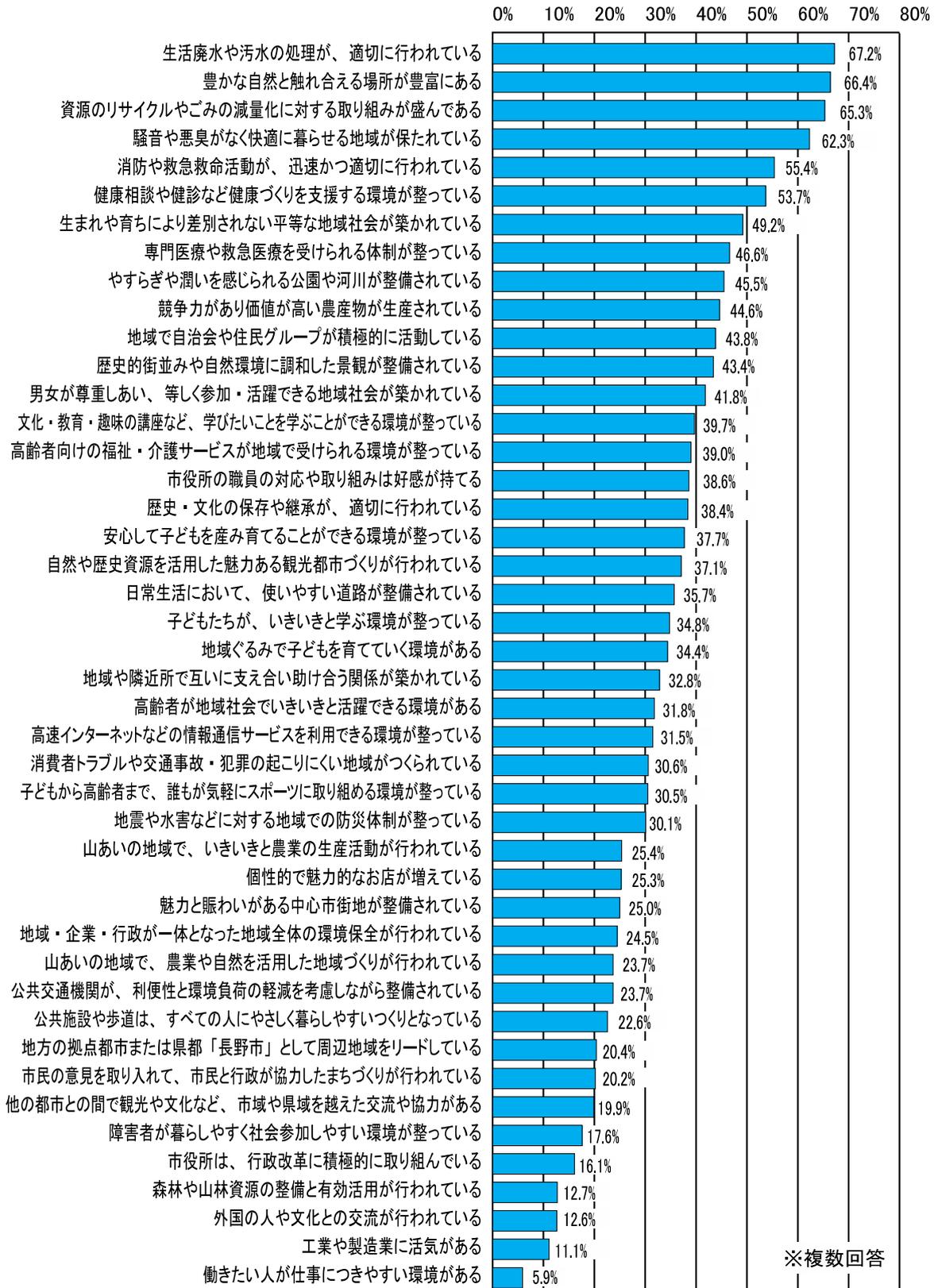
＜参考＞第四次長野市総合計画

第四次長野市総合計画は、「～善光寺平に結ばれる～人と地域がきらめくまち“ながの”」をまちづくりの目標（都市像）に定め、市民福祉の更なる向上と新たなまちづくりを展望した総合的な市政運営を行うための基本方針（長野市の最高方針）である。平成19年度を初年度として、平成28年度を目標としている。

総合計画は、まちづくりの方針や施策を示す「基本構想」と、施策の展開や取組内容を示す「基本計画」、具体的な事業を示す「実施計画」で構成されている。

「基本計画」は、目標年次までの前半5年間（平成19年度から平成23年度）の前期基本計画と、後半5年間（平成24年度から平成28年度）の後期基本計画に分けられ、基本施策の「アンケート指標」を定め、市民の皆さんによる評価の視点を導入している。

「そう思う」、「ややそう思う」の場合（全44項目）

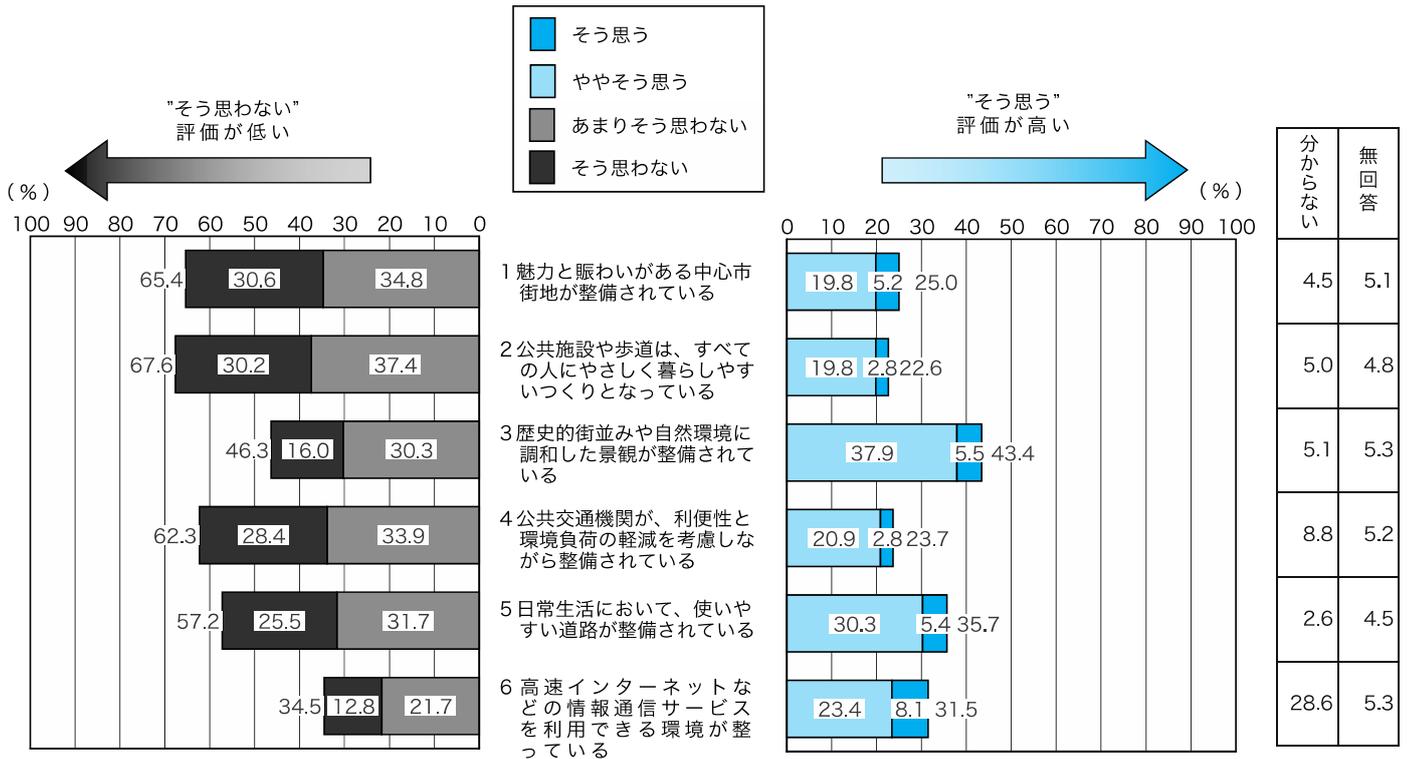


回答結果一覧（設問順）

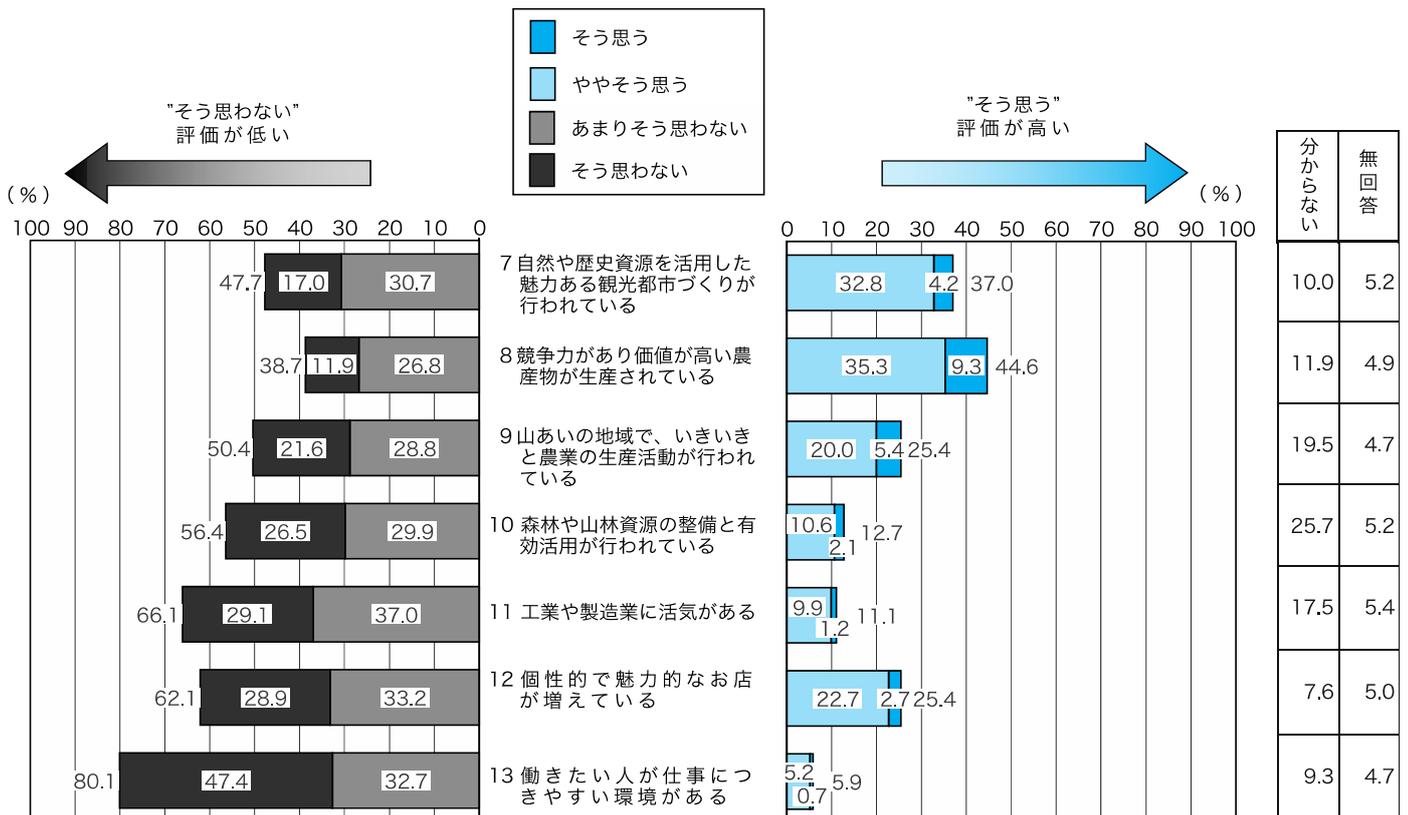
選択肢	そう 思う	やや そう思う	あまり そう思 わない	そう 思わない	分か らない	無回 答
1 魅力と賑わいがある中心市街地が整備されている	5.2%	19.8%	34.8%	30.6%	4.5%	5.1%
2 公共施設や歩道は、すべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている	2.8%	19.8%	37.4%	30.2%	5.0%	4.8%
3 歴史的街並みや自然環境に調和した景観が整備されている	5.5%	37.9%	30.3%	16.0%	5.1%	5.3%
4 公共交通機関が、利便性と環境負荷の軽減を考慮しながら整備されている	2.8%	20.9%	33.9%	28.4%	8.8%	5.2%
5 日常生活において、使いやすい道路が整備されている	5.4%	30.3%	31.7%	25.5%	2.6%	4.5%
6 高速インターネットなどの情報通信サービスを利用できる環境が整っている	8.1%	23.4%	21.7%	12.8%	28.6%	5.3%
7 自然や歴史資源を活用した魅力ある観光都市づくりが行われている	4.2%	32.8%	30.7%	17.0%	10.0%	5.2%
8 競争力があり価値が高い農産物が生産されている	9.3%	35.3%	26.8%	11.9%	11.9%	4.9%
9 山あいの地域で、いきいきと農業の生産活動が行われている	5.4%	20.0%	28.8%	21.6%	19.5%	4.7%
10 森林や山林資源の整備と有効活用が行われている	2.1%	10.6%	29.9%	26.5%	25.7%	5.2%
11 工業や製造業に活気がある	1.2%	9.9%	37.0%	29.1%	17.5%	5.4%
12 個性的で魅力的なお店が増えている	2.7%	22.7%	33.2%	28.9%	7.6%	5.0%
13 働きたい人が仕事につきやすい環境がある	0.7%	5.2%	32.7%	47.4%	9.3%	4.7%
14 子どもたちが、いきいきと学ぶ環境が整っている	4.2%	30.7%	30.3%	13.1%	16.6%	5.2%
15 地域ぐるみで子どもを育てていく環境がある	4.6%	29.7%	31.0%	16.0%	13.9%	4.8%
16 文化・教育・趣味の講座など、学びたいことを学ぶことができる環境が整っている	6.0%	33.6%	30.4%	12.9%	12.6%	4.4%
17 歴史・文化の保存や継承が、適切に行われている	4.8%	33.6%	27.0%	11.3%	18.1%	5.3%
18 子どもから高齢者まで、誰もが気軽にスポーツに取り組める環境が整っている	4.9%	25.6%	34.5%	18.7%	11.8%	4.5%
19 外国の人や文化との交流が行われている	1.8%	10.7%	30.5%	23.8%	27.8%	5.3%
20 地震や水害などに対する地域での防災体制が整っている	3.8%	26.3%	31.9%	17.6%	16.4%	3.9%
21 消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている	14.6%	40.8%	16.0%	6.7%	18.4%	3.6%
22 消費者トラブルや交通事故・犯罪の起こりにくい地域がつけられている	3.1%	27.5%	33.0%	13.9%	18.0%	4.5%
23 地域・企業・行政が一体となった地域全体の環境保全が行われている	2.4%	22.1%	35.0%	14.5%	20.7%	5.3%
24 豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある	23.9%	42.6%	16.4%	8.7%	3.6%	4.9%
25 資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである	16.8%	48.5%	19.3%	6.2%	4.7%	4.4%
26 騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている	14.9%	47.5%	19.5%	9.2%	3.8%	5.1%
27 生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている	22.9%	44.2%	11.5%	4.9%	11.4%	5.1%
28 やすらぎや潤いを感じられる公園や河川が整備されている	8.5%	37.1%	30.9%	12.5%	6.1%	4.9%
29 安心して子どもを産み育てることができる環境が整っている	5.5%	32.2%	25.6%	13.3%	17.8%	5.5%
30 高齢者向けの福祉・介護サービスが地域で受けられる環境が整っている	7.4%	31.6%	24.4%	12.1%	20.2%	4.3%
31 高齢者が地域社会でいきいきと活躍できる環境がある	5.3%	26.5%	27.7%	13.4%	22.1%	4.9%
32 障害者が暮らしやすく社会参加しやすい環境が整っている	1.6%	15.9%	30.3%	17.4%	29.5%	5.2%
33 地域や隣近所で互いに支え合い助け合う関係が築かれている	4.2%	28.7%	34.3%	17.5%	10.1%	5.2%
34 健康相談や健診など健康づくりを支援する環境が整っている	10.2%	43.5%	21.9%	7.8%	11.7%	4.9%
35 専門医療や救急医療を受けられる体制が整っている	9.6%	36.9%	24.0%	11.0%	13.6%	4.8%
36 生まれや育ちにより差別されない平等な地域社会が築かれている	11.1%	38.1%	17.7%	8.3%	19.8%	5.0%
37 男女が尊重しあい、等しく参加・活躍できる地域社会が築かれている	7.3%	34.5%	23.4%	9.8%	19.9%	5.2%
38 市民の意見を取り入れて、市民と行政が協力したまちづくりが行われている	2.9%	17.3%	32.3%	22.4%	20.4%	4.8%
39 地域で自治会や住民グループが積極的に活動している	7.3%	36.5%	24.9%	10.8%	15.8%	4.7%
40 山あいの地域で、農業や自然を活用した地域づくりが行われている	3.2%	20.6%	23.5%	11.5%	36.2%	4.9%
41 地方の拠点都市または県都「長野市」として周辺地域をリードしている	3.4%	17.0%	32.8%	22.2%	19.2%	5.3%
42 他の都市との間で観光や文化など、市域や県域を越えた交流や協力がある	2.4%	17.5%	29.6%	14.2%	31.0%	5.3%
43 市役所は、行政改革に積極的に取り組んでいる	2.2%	13.9%	26.8%	24.8%	27.3%	5.0%
44 市役所の職員の対応や取り組みは好感が持てる	8.0%	30.7%	23.7%	18.2%	15.1%	4.4%

部門別評価

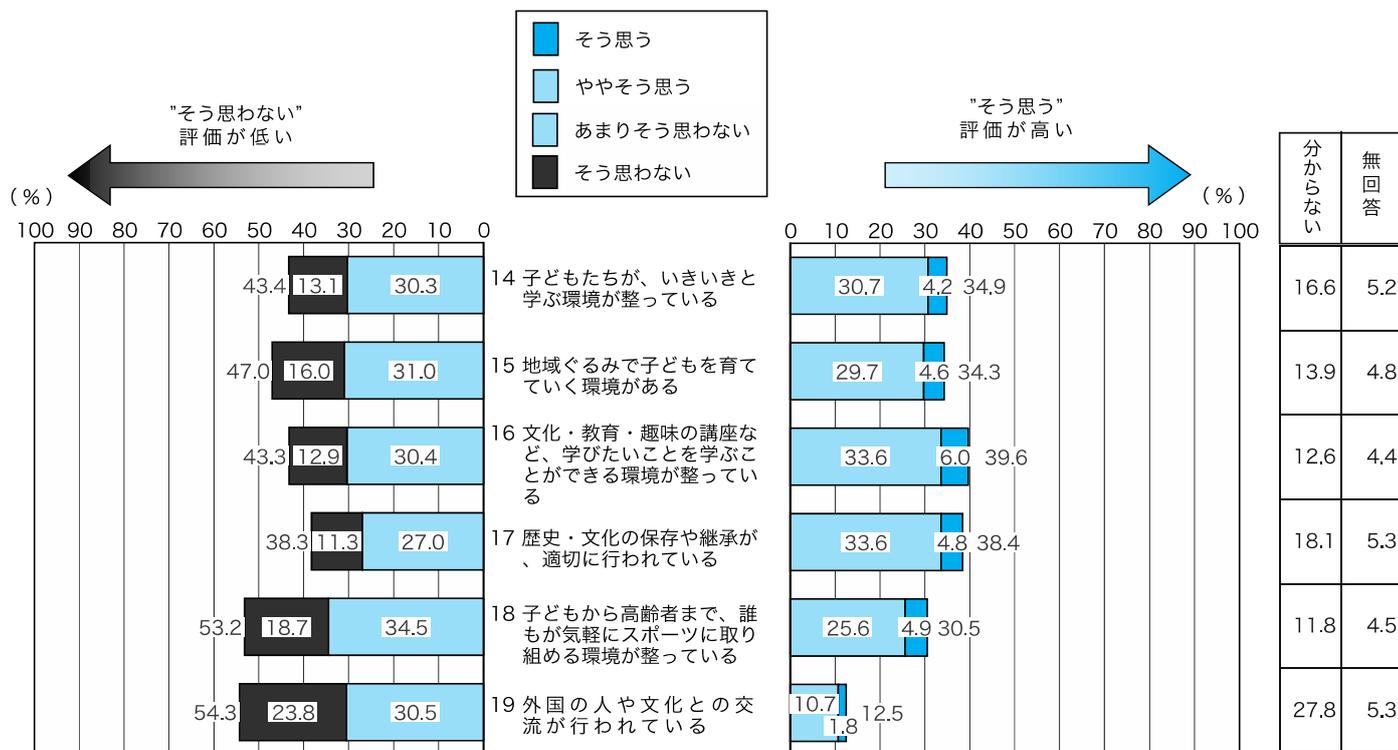
《都市整備について》



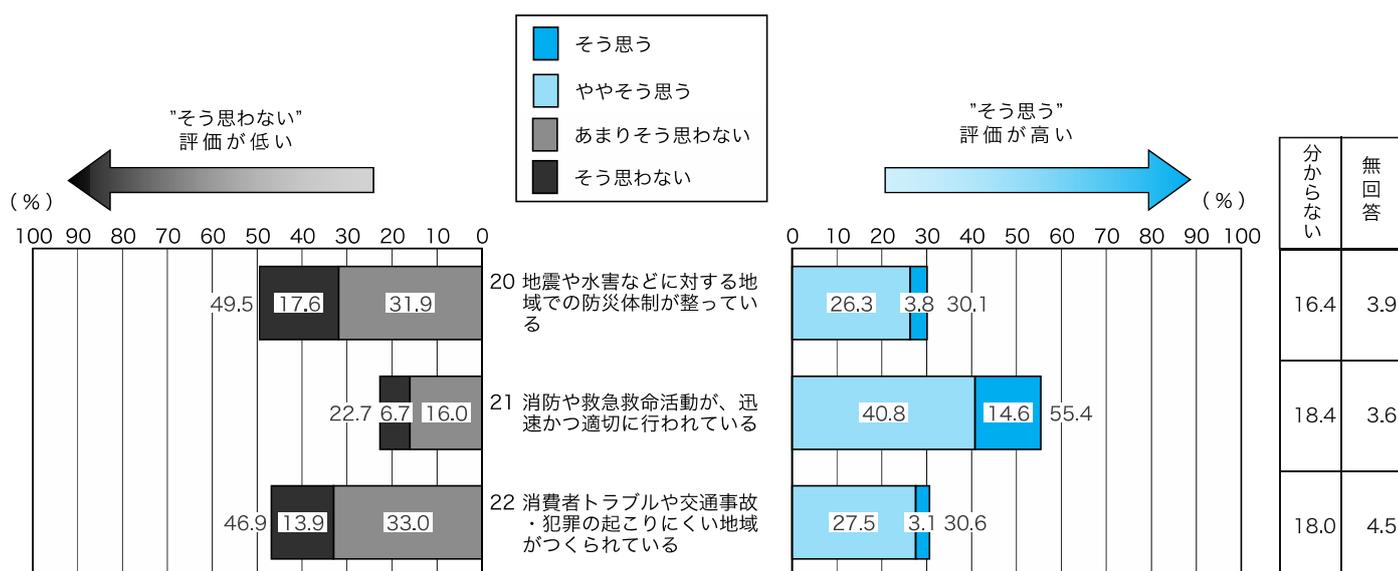
《産業、経済について》



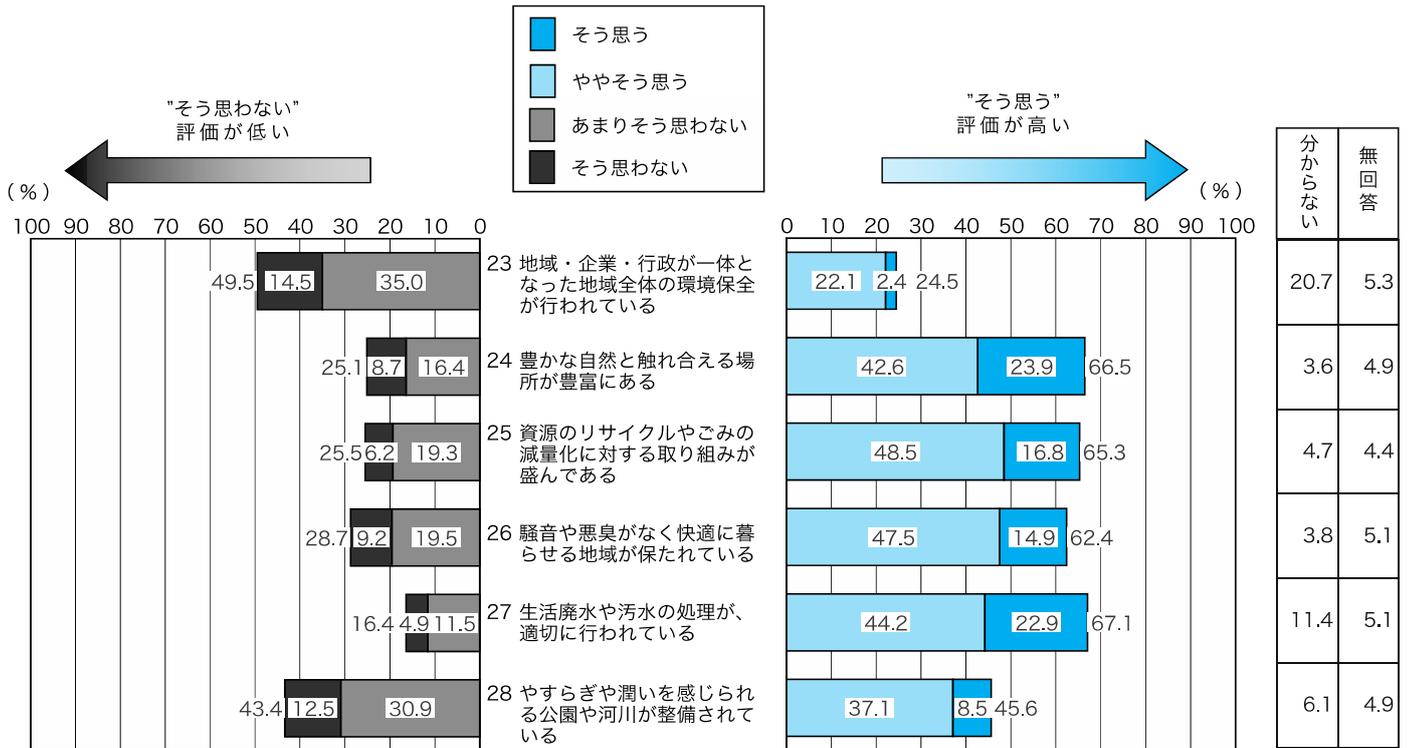
《教育、文化について》



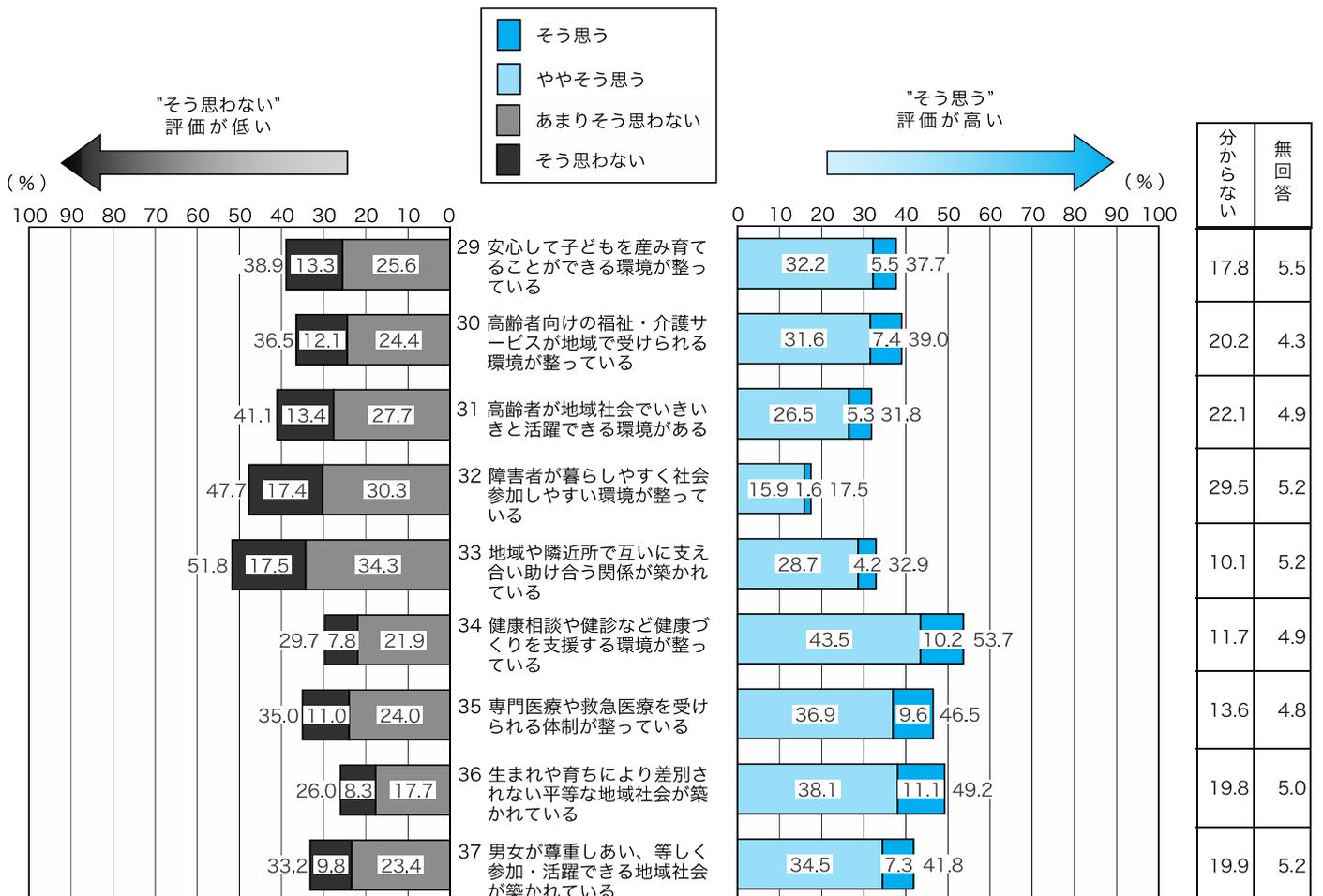
《防災、安全について》



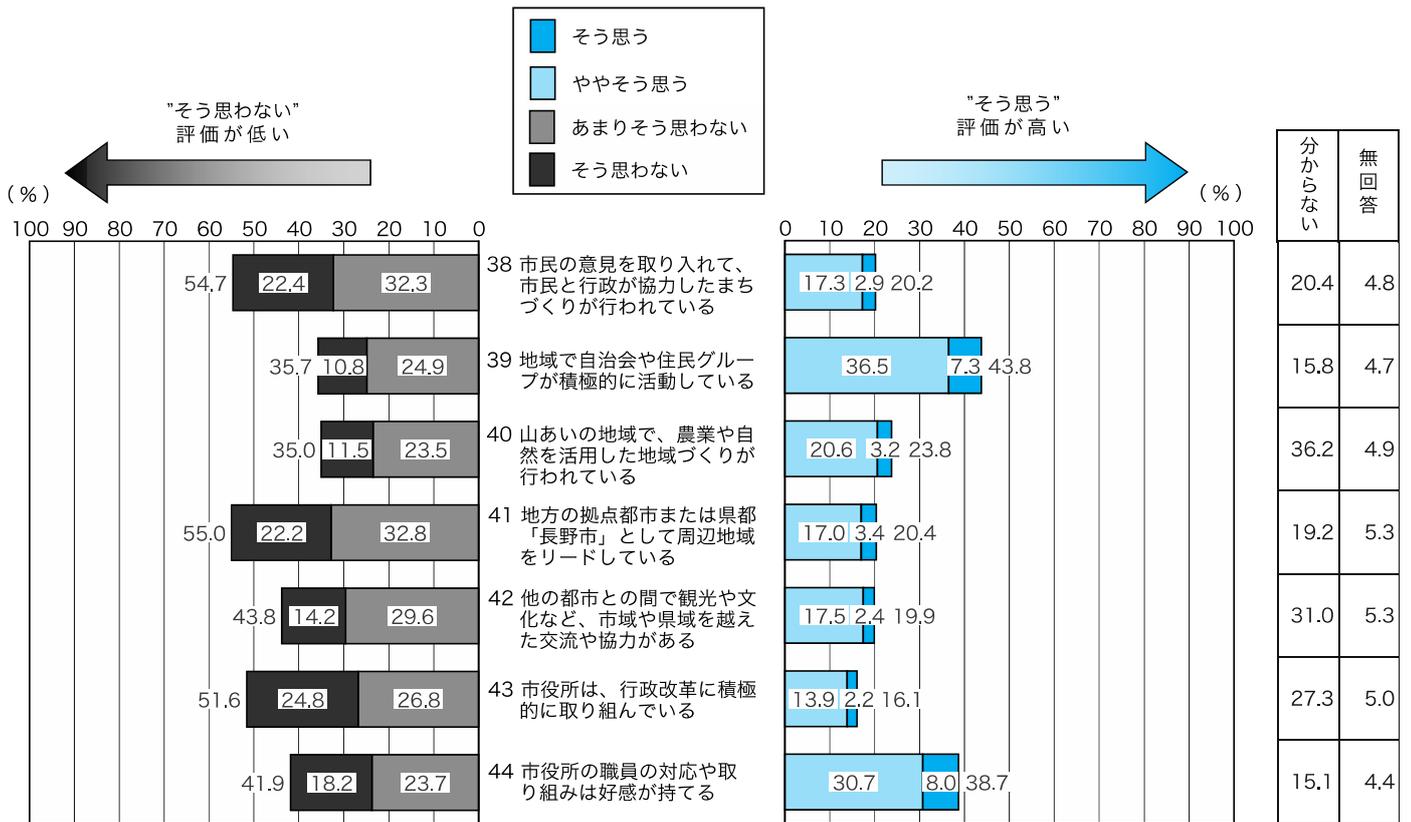
《環境について》



《保健、福祉について》



《行政経営について》



【性別・年代別順位】「そう思う」、「ややそう思う」合計上位5項目

順位	男性 (n=1,319)	女性 (n=1,650)	20歳代 (n=247)	30歳代 (n=420)	40歳代 (n=495)	50歳代 (n=530)	60歳代 (n=718)	70歳以上 (n=553)
1	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている(70.3%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある(68.2%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある(72.5%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある(76.4%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある(71.5%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている(73.8%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている(72.7%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている(65.8%)
2	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある(64.5%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである(67.5%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている(65.2%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている(69.5%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている(65.5%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである(69.1%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである(70.5%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである(65.6%)
3	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである(62.8%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている(64.8%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである(59.9%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている(64.0%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている(59.8%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある(66.0%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある(63.2%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている(59.0%)
4	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている(61.7%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている(63.0%)	競争力があり価値が高い農産物が生産されている(53.0%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである(61.9%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである(59.6%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている(64.7%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている(60.6%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている(58.8%)
5	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている(58.6%)	健康相談や健診など健康づくりを支援する環境が整っている(57.4%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている(50.6%) やすらぎや潤いを感じられる公園や河川が整備されている(50.6%)	やすらぎや潤いを感じられる公園や河川が整備されている(53.6%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている(51.7%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている(61.1%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている(58.9%)	健康相談や健診など健康づくりを支援する環境が整っている(57.5%)

【地域別順位別】「そう思う」、「ややそう思う」合計上位5項目

順位	市街地地域 (n=1,105)	市街地周辺地域 (n=596)	犀南地域 (n=773)	松代、若穂 (n=238)	中山間地域 (n=249)
1	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている(68.0%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである(67.8%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている(69.7%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある(64.7%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている(68.7%)
2	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある(66.6%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある(64.6%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある(68.4%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている(61.3%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある(67.1%)
3	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである(66.2%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている(64.6%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである(66.5%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている(60.9%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている(61.8%)
4	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている(63.5%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている(63.1%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている(61.7%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである(60.1%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである(58.6%)
5	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている(53.0%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている(54.9%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている(58.0%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている(58.4%)	健康相談や健診など健康づくりを支援する環境が整っている(55.4%)

【性別・年代別順位】「そう思う」、「ややそう思う」合計下位5項目

	男性 (n=1,319)	女性 (n=1,650)	20歳代 (n=247)	30歳代 (n=420)	40歳代 (n=495)	50歳代 (n=530)	60歳代 (n=718)	70歳以上 (n=553)
40	市役所は、行政改革に積極的に取り組んでいる(15.2%)	市役所は、行政改革に積極的に取り組んでいる(17.0%)	外国の人や文化との交流が行われている(18.6%)	障害者が暮らしやすく社会参加しやすい環境が整っている(15.5%)	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている(14.9%)	市役所は、行政改革に積極的に取り組んでいる(15.7%)	障害者が暮らしやすく社会参加しやすい環境が整っている(16.0%)	個性的で魅力的なお店が増えている(17.4%)
41	工業や製造業に活気がある(12.1%)	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている(13.9%)	地方の拠点都市または県都「長野市」として周辺地域をリードしている(18.6%)	工業や製造業に活気がある(14.3%)	市役所は、行政改革に積極的に取り組んでいる(14.5%)	外国の人や文化との交流が行われている(11.3%)	外国の人や文化との交流が行われている(12.8%)	外国の人や文化との交流が行われている(11.9%)
42	外国の人や文化との交流が行われている(12.1%)	外国の人や文化との交流が行われている(13.0%)	工業や製造業に活気がある(16.6%)	外国の人や文化との交流が行われている(12.1%)	外国の人や文化との交流が行われている(11.9%)	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている(9.2%)	工業や製造業に活気がある(10.9%)	工業や製造業に活気がある(8.0%)
43	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている(11.4%)	工業や製造業に活気がある(10.3%)	市役所は、行政改革に積極的に取り組んでいる(16.2%)	市役所は、行政改革に積極的に取り組んでいる(11.0%)	工業や製造業に活気がある(11.7%)	工業や製造業に活気がある(9.2%)	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている(9.3%)	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている(7.6%)
44	働きたい人が仕事につきやすい環境がある(5.9%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある(5.9%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある(12.6%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある(5.5%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある(5.3%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある(5.8%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある(5.8%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある(4.2%)

【地域別順位別】「そう思う」、「ややそう思う」合計下位5項目

	市街地地域 (n=1,105)	市街地周辺地域 (n=596)	犀南地域 (n=773)	松代、若穂 (n=238)	中山間地域 (n=249)
40	市役所は、行政改革に積極的に取り組んでいる(17.3%)	市役所は、行政改革に積極的に取り組んでいる(15.1%)	市役所は、行政改革に積極的に取り組んでいる(15.5%)	公共交通機関が、利便性と環境負荷の軽減を考慮しながら整備されている(16.0%) 市役所は、行政改革に積極的に取り組んでいる(16.0%)	市役所は、行政改革に積極的に取り組んでいる(16.1%)
41	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている(15.1%)	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている(13.6%)	工業や製造業に活気がある(14.9%)	外国の人や文化との交流が行われている(13.0%)	外国の人や文化との交流が行われている(8.4%)
42	外国の人や文化との交流が行われている(14.2%)	外国の人や文化との交流が行われている(11.1%)	外国の人や文化との交流が行われている(12.5%)	工業や製造業に活気がある(12.2%)	工業や製造業に活気がある(8.0%)
43	工業や製造業に活気がある(10.0%)	工業や製造業に活気がある(9.2%)	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている(12.0%)	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている(7.6%)	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている(7.6%)
44	働きたい人が仕事につきやすい環境がある(6.0%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある(5.0%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある(7.5%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある(3.8%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある(4.4%)

【性別・年代別順位】「あまりそう思わない」、「そう思わない」合計上位5項目

順位	男性 (n=1,319)	女性 (n=1,650)	20歳代 (n=247)	30歳代 (n=420)	40歳代 (n=495)	50歳代 (n=530)	60歳代 (n=718)	70歳以上 (n=553)
1	働きたい人が仕事につきやすい環境がある(81.6%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある(79.0%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある(74.9%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある(83.6%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある(85.7%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある(84.3%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある(82.6%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある(68.2%)
2	工業や製造業に活気がある(71.9%)	公共施設や歩道は、すべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている(68.1%)	公共施設や歩道は、すべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている(69.6%)	魅力と賑わいがある中心市街地が整備されている(77.4%)	公共施設や歩道は、すべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている(72.5%)	公共施設や歩道は、すべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている(74.9%)	工業や製造業に活気がある(70.2%)	個性的で魅力的なお店が増えている(57.7%)
3	公共施設や歩道は、すべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている(67.5%)	魅力と賑わいがある中心市街地が整備されている(64.1%)	魅力と賑わいがある中心市街地が整備されている(67.6%)	公共施設や歩道は、すべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている(72.4%)	魅力と賑わいがある中心市街地が整備されている(70.3%)	工業や製造業に活気がある(72.5%)	公共施設や歩道は、すべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている(68.4%)	工業や製造業に活気がある(54.4%)
4	魅力と賑わいがある中心市街地が整備されている(67.4%)	工業や製造業に活気がある(61.6%)	公共交通機関が、利便性と環境負荷の軽減を考慮しながら整備されている(66.8%)	工業や製造業に活気がある(66.4%)	公共交通機関が、利便性と環境負荷の軽減を考慮しながら整備されている(70.3%)	魅力と賑わいがある中心市街地が整備されている(71.7%)	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている(64.8%)	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている(51.9%)
5	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている(66.4%)	公共交通機関が、利便性と環境負荷の軽減を考慮しながら整備されている(59.5%)	工業や製造業に活気がある(60.7%)	公共交通機関が、利便性と環境負荷の軽減を考慮しながら整備されている(64.8%)	工業や製造業に活気がある(69.1%)	公共交通機関が、利便性と環境負荷の軽減を考慮しながら整備されている(66.2%)	魅力と賑わいがある中心市街地が整備されている(63.4%)	公共施設や歩道は、すべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている(51.5%)
				個性的で魅力的なお店が増えている(64.8%)				

【地域別順位別】「あまりそう思わない」、「そう思わない」合計上位5項目

順位	市街地地域 (n=1,105)	市街地周辺地域 (n=596)	犀南地域 (n=773)	松代、若穂 (n=238)	中山間地域 (n=249)
1	働きたい人が仕事につきやすい環境がある(79.1%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある(81.4%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある(80.1%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある(81.5%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある(81.9%)
2	魅力と賑わいがある中心市街地が整備されている(68.9%)	工業や製造業に活気がある(66.4%)	公共施設や歩道は、すべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている(70.8%)	公共交通機関が、利便性と環境負荷の軽減を考慮しながら整備されている(73.1%)	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている(71.9%)
3	公共施設や歩道は、すべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている(68.2%)	公共施設や歩道は、すべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている(65.8%)	魅力と賑わいがある中心市街地が整備されている(66.2%)	公共施設や歩道は、すべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている(69.7%)	工業や製造業に活気がある(68.7%)
4	工業や製造業に活気がある(66.6%)	魅力と賑わいがある中心市街地が整備されている(64.8%)	個性的で魅力的なお店が増えている(64.4%)	工業や製造業に活気がある(68.9%)	個性的で魅力的なお店が増えている(61.8%)
5	個性的で魅力的なお店が増えている(61.4%)	公共交通機関が、利便性と環境負荷の軽減を考慮しながら整備されている(63.1%)	工業や製造業に活気がある(63.9%)	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている(65.5%)	山あいの地域で、いきいきと農業の生産活動が行われている(61.4%)
				個性的で魅力的なお店が増えている(65.5%)	

【性別・年代別順位】「あまりそう思わない」、「そう思わない」合計下位5項目

順位	男性 (n=1,319)	女性 (n=1,650)	20歳代 (n=247)	30歳代 (n=420)	40歳代 (n=495)	50歳代 (n=530)	60歳代 (n=718)	70歳以上 (n=553)
40	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである(29.4%)	生まれや育ちにより差別されない平等な地域社会が築かれている(24.5%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている(27.9%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている(26.9%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである(32.1%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある(28.1%)	生まれや育ちにより差別されない平等な地域社会が築かれている(28.6%)	高速インターネットなどの情報通信サービスを利用できる環境が整っている(21.5%)
41	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある(28.7%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである(22.5%)	生まれや育ちにより差別されない平等な地域社会が築かれている(27.9%)	生まれや育ちにより差別されない平等な地域社会が築かれている(26.7%)	生まれや育ちにより差別されない平等な地域社会が築かれている(27.3%)	生まれや育ちにより差別されない平等な地域社会が築かれている(27.4%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある(28.3%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている(20.1%)
42	生まれや育ちにより差別されない平等な地域社会が築かれている(28.0%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある(22.3%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある(22.7%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている(21.0%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている(24.0%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである(24.9%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている(23.4%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである(19.2%)
43	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている(24.4%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている(21.3%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている(22.3%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある(19.3%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある(23.6%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている(24.3%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである(22.0%)	生まれや育ちにより差別されない平等な地域社会が築かれている(19.2%)
44	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている(17.7%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている(15.3%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている(19.0%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている(16.4%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている(17.8%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている(15.8%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている(16.4%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている(14.3%)

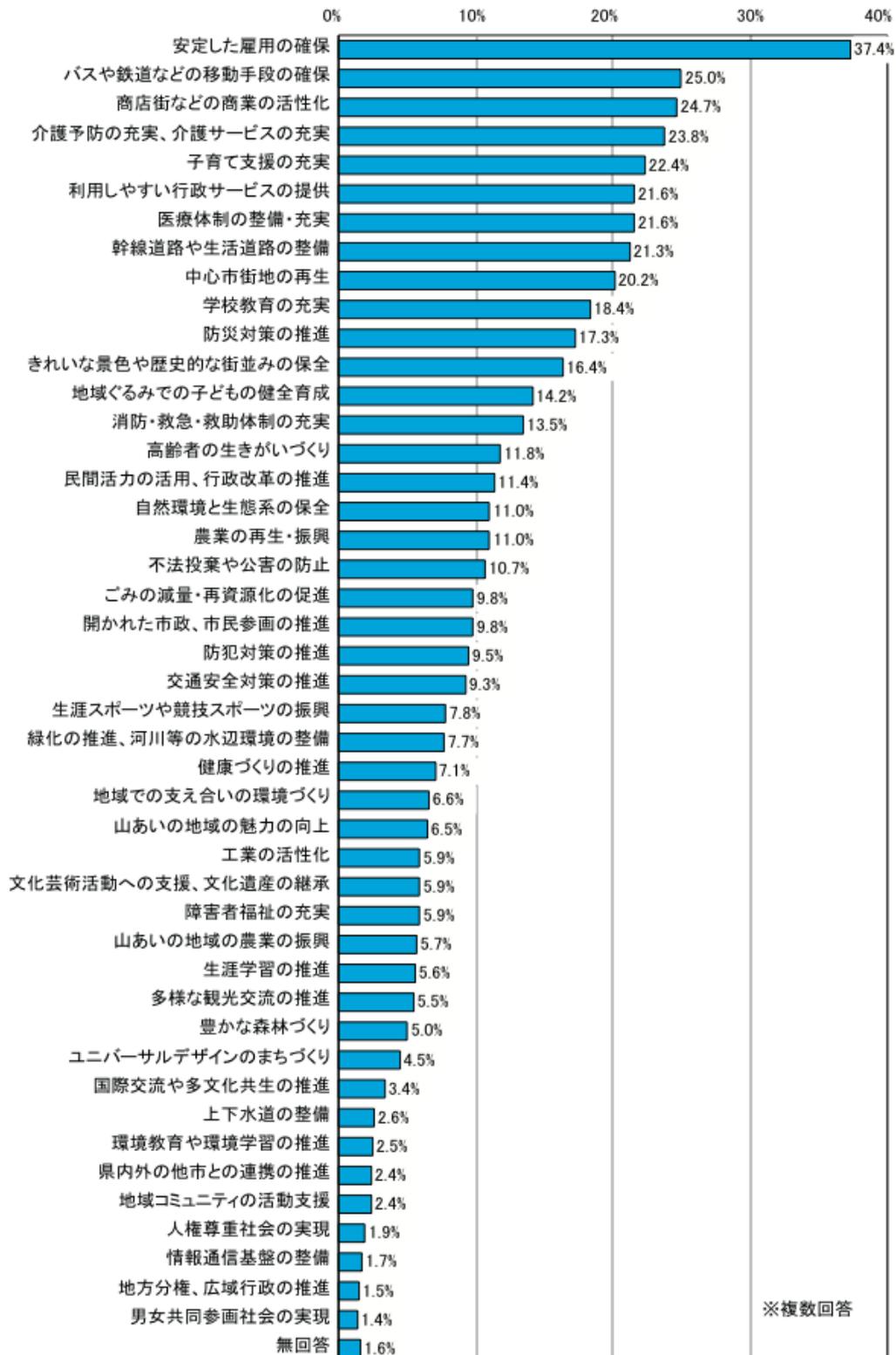
【地域別順位】「あまりそう思わない」、「そう思わない」合計下位5項目

順位	市街地地域 (n=1,105)	市街地周辺地域 (n=596)	犀南地域 (n=773)	松代、若穂 (n=238)	中山間地域 (n=249)
40	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある(26.0%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている(27.3%)	生まれや育ちにより差別されない平等な地域社会が築かれている(26.0%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである(30.7%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている(25.7%)
41	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである(25.3%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある(25.8%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである(25.5%)	生まれや育ちにより差別されない平等な地域社会が築かれている(30.7%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている(24.9%)
42	生まれや育ちにより差別されない平等な地域社会が築かれている(24.3%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている(22.3%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある(23.8%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある(29.8%)	生まれや育ちにより差別されない平等な地域社会が築かれている(24.1%)
43	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている(23.3%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである(22.0%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている(21.7%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている(21.4%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある(19.7%)
44	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている(15.4%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている(16.3%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている(16.9%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている(21.4%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている(14.9%)

行政施策の優先度

「安定した雇用の確保」が5年連続でトップ

問 21 住み良い長野市をつくるため、特に力を入れるべきだと思う施策を下記 45 項目の中から 5 つ選んで、回答欄に番号を記入してください。



【行政施策の優先順位に係る前年度比較】

設問項目	順位(回答割合)	
	平成 25 年度	平成 24 年度
安定した雇用の確保	1 (37.4%)	1 (41.8%)
バスや鉄道などの移動手段の確保	2 (25.0%)	2 (26.7%)
商店街などの商業の活性化	3 (24.7%)	7 (20.5%)
介護予防の充実、介護サービスの充実	4 (23.8%)	5 (23.1%)
子育て支援の充実	5 (22.4%)	4 (24.5%)
利用しやすい行政サービスの提供	6 (21.6%)	6 (22.7%)
医療体制の整備・充実	7 (21.6%)	3 (25.8%)
幹線道路や生活道路の整備	8 (21.3%)	8 (20.0%)
中心市街地の再生	9 (20.2%)	9 (18.5%)
学校教育の充実	10 (18.4%)	10 (17.6%)
防災対策の推進	11 (17.3%)	13 (12.7%)
きれいな景色や歴史的な街並みの保全	12 (16.4%)	19 (10.1%)
地域ぐるみでの子どもの健全育成	13 (14.2%)	14 (12.5%)
消防・救急・救助体制の充実	14 (13.5%)	15 (12.0%)
高齢者の生きがいづくり	15 (11.8%)	11 (14.9%)
民間活力の活用、行政改革の推進	16 (11.4%)	17 (10.4%)
自然環境と生態系の保全	17 (11.0%)	16 (11.2%)
農業の再生・振興	18 (11.0%)	29 (5.7%)
不法投棄や公害の防止	19 (10.7%)	21 (9.5%)
ごみの減量・再資源化の促進	20 (9.8%)	22 (9.0%)
開かれた市政、市民参画の推進	20 (9.8%)	24 (8.5%)
防犯対策の推進	22 (9.5%)	12 (13.0%)
交通安全対策の推進	23 (9.3%)	20 (10.0%)
生涯スポーツや競技スポーツの振興	24 (7.8%)	27 (7.2%)
緑化の推進、河川等の水辺環境の整備	25 (7.7%)	18 (10.3%)
健康づくりの推進	26 (7.1%)	28 (7.0%)
地域での支え合いの環境づくり	27 (6.6%)	23 (8.9%)
山あいの地域の魅力の向上	28 (6.5%)	26 (7.9%)
工業の活性化	29 (5.9%)	33 (4.2%)
文化芸術活動への支援、文化遺産の継承	30 (5.9%)	30 (5.3%)
障害者福祉の充実	30 (5.9%)	25 (8.1%)
山あいの地域の農業の振興	32 (5.7%)	35 (3.7%)
生涯学習の推進	33 (5.6%)	39 (2.9%)
多様な観光交流の推進	34 (5.5%)	36 (3.3%)
豊かな森林づくり	35 (5.0%)	32 (4.3%)
ユニバーサルデザインのまちづくり	36 (4.5%)	34 (3.9%)
国際交流や多文化共生の推進	37 (3.4%)	37 (3.3%)
上下水道の整備	38 (2.6%)	40 (2.9%)
環境教育や環境学習の推進	39 (2.5%)	42 (2.1%)
県内外の他市との連携の推進	40 (2.4%)	38 (3.1%)
地域コミュニティの活動支援	41 (2.4%)	31 (4.7%)
人権尊重社会の実現	42 (1.9%)	45 (0.7%)
情報通信基盤の整備	43 (1.7%)	43 (1.9%)
地方分権、広域行政の推進	44 (1.5%)	41 (2.2%)
男女共同参画社会の実現	45 (1.4%)	44 (1.6%)

長野市が「特に力を入れるべき施策」としては、「安定した雇用の確保(37.4%)」が、本年度1位となりました。これは、平成21年度から5年連続でトップとなり、依然として厳しい雇用環境を表していると考えられます。

2位の「バスや鉄道などの移動手段の確保(25.0%)」も、平成21年度から5年連続で2位となりました。

3位の「商店街などの商業の活性化(24.7%)」は、前年度7位から順位を上げました。

4位の「介護予防の充実、介護サービスの充実(23.8%)」、5位の「子育て支援の充実(22.4%)」、7位の「医療体制の整備・充実(21.6%)」などが上位に来ていることから、福祉・健康分野に対する市民の関心の高さがうかがえました。

特に前年度から順位を大きく上げた項目(5ランク以上順位を上げた項目)は三つあり、12位の「きれいな景色や歴史的な街並みの保全(16.4%)」が前年度19位から7ランク順位を上げ、18位の「農業の再生・振興(11.0%)」が前年度29位から11ランク順位を上げ、33位の「生涯学習の推進(5.6%)」が前年度39位から6ランク順位を上げました。

【性別・年代別順位】

順位	全体 (n=2,977)	男性 (n=1,319)	女性 (n=1,650)	20歳代 (n=247)	30歳代 (n=420)	40歳代 (n=495)	50歳代 (n=530)	60歳代 (n=718)	70歳以上 (n=553)
1	安定した雇用の確保 (37.4%)	安定した雇用の確保 (34.0%)	安定した雇用の確保 (40.2%)	安定した雇用の確保 (42.5%)	子育て支援の充実 (49.8%)	安定した雇用の確保 (39.6%)	安定した雇用の確保 (39.2%)	安定した雇用の確保 (36.6%)	安定した雇用の確保 (31.3%)
2	バスや鉄道などの移動手段の確保 (25.0%)	幹線道路や生活道路の整備 (26.0%)	介護予防の充実、介護サービスの充実 (27.2%)	子育て支援の充実 (32.0%)	安定した雇用の確保 (39.0%)	バスや鉄道などの移動手段の確保 (29.3%)	バスや鉄道などの移動手段の確保 (27.0%)	介護予防の充実、介護サービスの充実 (26.9%)	介護予防の充実、介護サービスの充実 (27.7%)
3	商店街などの商業の活性化 (24.7%)	商店街などの商業の活性化 (24.9%)	子育て支援の充実 (25.8%)	中心市街地の再生 (26.7%)	学校教育の充実 (27.6%)	医療体制の整備・充実 (27.5%)	介護予防の充実、介護サービスの充実 (27.0%)	バスや鉄道などの移動手段の確保 (24.8%)	バスや鉄道などの移動手段の確保 (21.7%)
4	介護予防の充実、介護サービスの充実 (23.8%)	バスや鉄道などの移動手段の確保 (24.5%)	バスや鉄道などの移動手段の確保 (25.5%)	バスや鉄道などの移動手段の確保 (26.3%)	中心市街地の再生 (26.9%)	子育て支援の充実 (27.3%)	商店街などの商業の活性化 (26.8%)	商店街などの商業の活性化 (24.2%)	商店街などの商業の活性化 (21.2%)
5	子育て支援の充実 (22.4%)	介護予防の充実、介護サービスの充実 (19.8%)	商店街などの商業の活性化 (24.7%)	商店街などの商業の活性化 (22.7%)	商店街などの商業の活性化 (26.7%)	商店街などの商業の活性化 (26.7%)	医療体制の整備・充実 (25.7%)	利用しやすい行政サービスの提供 (20.6%)	幹線道路や生活道路の整備 (20.4%)
6	利用しやすい行政サービスの提供 (21.6%)	中心市街地の再生 (19.2%)	医療体制の整備・充実 (24.7%)	利用しやすい行政サービスの提供 (21.5%)	医療体制の整備・充実 (23.6%)	学校教育の充実 (26.5%)	幹線道路や生活道路の整備 (25.1%)	幹線道路や生活道路の整備 (20.5%)	防災対策の推進 (18.3%)
7	医療体制の整備・充実 (21.6%)	利用しやすい行政サービスの提供 (18.9%)	利用しやすい行政サービスの提供 (23.9%)	きれいな景色や歴史的な街並みの保全 (21.1%)	利用しやすい行政サービスの提供 (23.6%)	利用しやすい行政サービスの提供 (24.8%)	利用しやすい行政サービスの提供 (21.9%)	医療体制の整備・充実 (18.0%)	高齢者の生きがいづくり (18.3%)
8	幹線道路や生活道路の整備 (21.3%)	子育て支援の充実 (18.3%)	中心市街地の再生 (21.1%)	医療体制の整備・充実 (20.2%)	バスや鉄道などの移動手段の確保 (21.4%)	介護予防の充実、介護サービスの充実 (23.6%)	防災対策の推進 (20.0%)	中心市街地の再生 (16.9%)	利用しやすい行政サービスの提供 (18.1%)
9	中心市街地の再生 (20.2%)	防災対策の推進 (18.0%)	学校教育の充実 (20.4%)	幹線道路や生活道路の整備 (19.8%)	幹線道路や生活道路の整備 (18.6%)	幹線道路や生活道路の整備 (22.4%)	きれいな景色や歴史的な街並みの保全 (18.9%)	高齢者の生きがいづくり (16.7%)	中心市街地の再生 (17.2%)
10	学校教育の充実 (18.4%)	医療体制の整備・充実 (17.8%)	幹線道路や生活道路の整備 (17.6%)	学校教育の充実 (16.6%)	地域ぐるみでの子どもの健全育成 (18.6%)	中心市街地の再生 (21.4%)	中心市街地の再生 (18.7%)	地域ぐるみでの子どもの健全育成 (16.6%)	消防・救急・救助体制の充実 (17.0%)

男女別で見ると、「安定した雇用の確保」が「男性（34.0%）」、「女性（40.2%）」共にトップとなりました。

「男性」については、「幹線道路や生活道路の整備（26.0%）」、「商店街などの商業の活性化（24.9%）」が続きました。一方、「女性」については、「介護予防の充実、介護サービスの充実（27.2%）」、「子育て支援の充実（25.8%）」が続きました。

年代別で見ると、「30歳代」のみ「子育て支援の充実（49.8%）」が、他の年代では「安定した雇用の確保」がトップとなりました。

「子育て支援の充実」については、「20歳代（32.0%）」で2位、「30歳代（49.8%）」で1位、「40歳代（27.3%）」で4位と、子育て世代では関心が高いことが分かりました。

「バスや鉄道などの移動手段の確保」は、「40歳代（29.3%）」、「50歳代（27.0%）」で2位、「60歳代（24.8%）」、「70歳以上（21.7%）」で3位となり、年齢が高い方は、公共交通機関の重要性が高いことがうかがえます。

「介護予防の充実、介護サービスの充実」は、「50歳代（27.0%）」で3位、「60歳代（26.9%）」、「70歳以上（27.7%）」で2位となり、年齢が高い方には、介護の重要性が高いことがうかがえます。

「20歳代（26.7%）」、「30歳代（26.9%）」の低い年代は、「中心市街地の再生」が3位から4位となりました。

このように、年代により、施策に対する重要度が異なることが分かりました。

【地域別順位】

順位	全体 (n=2,977)	市街地地域 (n=1,105)	市街地周辺地域 (n=596)	犀南地域 (n=773)	松代・若穂 (n=238)	中山間地域 (n=249)
1	安定した雇用の確保(37.4%)	安定した雇用の確保(36.7%)	安定した雇用の確保(41.1%)	安定した雇用の確保(38.8%)	バスや鉄道などの移動手段の確保(36.1%)	安定した雇用の確保(33.7%)
2	バスや鉄道などの移動手段の確保(25.0%)	商店街などの商業の活性化(30.4%)	介護予防の充実、介護サービスの充実(24.5%)	バスや鉄道などの移動手段の確保(26.5%)	安定した雇用の確保(31.9%)	幹線道路や生活道路の整備(28.1%)
3	商店街などの商業の活性化(24.7%)	中心市街地の再生(28.3%)	商店街などの商業の活性化(24.2%)	介護予防の充実、介護サービスの充実(25.7%)	幹線道路や生活道路の整備(27.3%)	バスや鉄道などの移動手段の確保(26.9%)
4	介護予防の充実、介護サービスの充実(23.8%)	子育て支援の充実(22.4%)	バスや鉄道などの移動手段の確保(24.0%)	子育て支援の充実(24.6%)	介護予防の充実、介護サービスの充実(24.8%)	介護予防の充実、介護サービスの充実(24.9%)
5	子育て支援の充実(22.4%)	介護予防の充実、介護サービスの充実(22.0%)	子育て支援の充実(23.8%)	利用しやすい行政サービスの提供(23.9%)	子育て支援の充実(20.6%)	利用しやすい行政サービスの提供(24.9%)
6	利用しやすい行政サービスの提供(21.6%)	医療体制の整備・充実(21.8%)	医療体制の整備・充実(23.7%)	医療体制の整備・充実(22.8%)	商店街などの商業の活性化(19.7%)	山あいの地域の農業の振興(22.1%)
7	医療体制の整備・充実(21.6%)	バスや鉄道などの移動手段の確保(21.4%)	幹線道路や生活道路の整備(22.1%)	商店街などの商業の活性化(21.1%)	利用しやすい行政サービスの提供(19.3%)	防災対策の推進(22.1%)
8	幹線道路や生活道路の整備(21.3%)	利用しやすい行政サービスの提供(20.3%)	利用しやすい行政サービスの提供(20.5%)	学校教育の充実(20.1%)	地域ぐるみでの子どもの健全育成(18.5%)	山あいの地域の魅力の向上(21.7%)
9	中心市街地の再生(20.2%)	幹線道路や生活道路の整備(19.9%)	中心市街地の再生(20.3%)	幹線道路や生活道路の整備(18.5%)	防災対策の推進(16.4%)	医療体制の整備・充実(20.1%)
10	学校教育の充実(18.4%)	学校教育の充実(19.5%) きれいな景色や歴史的な街並みの保全(19.5%)	防災対策の推進(19.5%)	防災対策の推進(16.6%)	きれいな景色や歴史的な街並みの保全(16.0%)	商店街などの商業の活性化(17.3%)

地域別で見ると、「安定した雇用の確保」が、「松代・若穂」以外でトップとなりました。その「松代・若穂」では、「バスや鉄道などの移動手段の確保（36.1%）」がトップになりました。この項目は、「市街地周辺地域（24.0%）」で4位、「犀南地域（26.5%）」で2位、「中山間地域（26.9%）」で3位と、ほぼどの地域でも力を入れるべき施策であると認識されています。

市街地地域では、「安定した雇用の確保（36.7%）」、「商店街などの商業の活性化（30.4%）」、「中心市街地の再生（28.3%）」の順となっており、他の地域との違いが分かります。

また、「介護予防の充実、介護サービスの充実」が、「市街地周辺地域（24.5%）」で2位、「犀南地域（25.7%）」で3位と上位になっています。

3 アンケート用紙

平成 25 年 10 月 25 日

各 位

「まちづくりアンケート」ご協力をお願い

拝啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃、市政にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

このアンケートは、市民の皆さまのご意見やご要望をお聴きし、長野市のまちづくりに反映させることを目的に、昭和 57 年度から毎年度実施しております。

本年度は、平成 25 年 10 月 16 日現在の長野市の住民基本台帳に登録されている 20 歳以上の市民の皆さまから、5,000 人の方を無作為に抽出させていただき、あなたにアンケートをお願いすることとなりました。

この調査のまとめは、コンピューターにより統計的に処理を行いますので、個人の秘密が漏れたり、ご迷惑をお掛けしたりすることはありません。つきましては、お忙しいところ誠に恐れ入りますが、この調査の趣旨をご理解いただき、アンケートの記入にご協力をお願い申し上げます。

なお、調査結果の概要は、平成 26 年 3 月発行の「広報ながの」に掲載する予定です。

敬具

長野市長 鷲澤 正一

ご記入の方法などについて

この「まちづくりアンケート」は、あなた自身の率直なお考えをお書きください。

回答は、あなた自身の考えに近いものをお選びください。

「その他」に当てはまる場合は、() 内に具体的に記入してください。

**ご記入いただきましたアンケートは、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに
平成 25 年 11 月 8 日(金)までにご返送ください。**

【お問い合わせ先】

長野市企画政策部広報広聴課（広聴担当）

電話：026 - 224 - 5004（直通）

まちづくりアンケート

以下、選択肢の該当する番号に○をしてください。

【最初にあなた自身についてお聞きします】

問A あなたがお住まいの地区は。

- | | | | | | |
|---------|--------|-------|-------|--------|--------|
| 1 第一 | 2 第二 | 3 第三 | 4 第四 | 5 第五 | 6 芹田 |
| 7 古牧 | 8 三輪 | 9 吉田 | 10 古里 | 11 柳原 | 12 浅川 |
| 13 大豆島 | 14 朝陽 | 15 若槻 | 16 長沼 | 17 安茂里 | 18 小田切 |
| 19 芋井 | 20 篠ノ井 | 21 松代 | 22 若穂 | 23 川中島 | 24 更北 |
| 25 七二会 | 26 信更 | 27 豊野 | 28 戸隠 | 29 鬼無里 | 30 大岡 |
| 31 信州新町 | 32 中条 | | | | |

※地区名が分からない場合は、町名を記入してください。()

問B あなたの性別は。

- 1 男性 2 女性

問C あなたの年代は。

- 1 20歳代 2 30歳代 3 40歳代 4 50歳代 5 60歳代 6 70歳以上

問D あなたの職業は。

《自営業主および家族従業員》

- 1 農業・林業・漁業 2 工業 3 商業・自由業

《会社員・公務員》

- 4 会社員（事務系） 5 会社員（技術系） 6 公務員・教員

《その他》

- 7 主婦 8 パート・アルバイト 9 無職（学生含む） 10 その他

問E あなたは長野市にお住まいになって何年になりますか。

- 1 5年未満 2 5年以上10年未満 3 10年以上20年未満 4 20年以上

【ネーミングライツについて】

「ネーミングライツ」とは、公共施設などの名称に、企業名、商品名などを冠した愛称を付与し、施設の名称として使用する代わりに、権利を取得した事業者から、対価（命名権料）を得るもので、施設運営などに係る資金調達の手段の一つとして、一部の地方公共団体において取り入れられています。

この「ネーミングライツ」について、お聞きします。（例：日産スタジアム、ホクト文化ホールなど）

問1 市有施設などへのネーミングライツの導入について、どのように考えますか。次の中から1つだけ○をしてください。

- 1 賛成である→問2、3、4へ 2 反対である→問5へ 3 判断できない→問2、3へ

問2 問1で「1 賛成である」または「3 判断できない」に○をした方にお聞きします。長野市でネーミングライツを導入する場合、どのような施設に導入すればよいと考えますか。当てはまるもの全てに○をしてください。

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1 文化施設（市民会館、文化ホールなど） | 2 スポーツ施設（総合球技場、市民プールなど） |
| 3 社会教育施設（図書館、博物館など） | 4 公園施設（都市公園、遊園地など） |
| 5 観光施設など（スキー場、動物園など） | 6 公衆トイレなど |
| 7 道路、歩道橋など | 8 その他（) |

問3 問1で「1 賛成である」または「3 判断できない」に○をした方にお聞きます。ネーミングライツを導入するかどうかの検討に当たり、何を重視すべきであると考えますか。次の中から2つ以内で選び、○をしてください。

- 1 得られる対価が、導入対象となる施設の価値に見合ったものか
- 2 施設に企業名や商品名が付くことが、市や施設などの魅力の向上につながるか
- 3 特定の企業名や商品名が付くことで、市や施設などに対して、他の企業の協力を受けにくくならないか（イベントの協賛や寄付など）
- 4 施設の名称を変えることで、施設などの利用者（市民、観光客など）に分かりづらくなるか
- 5 権利を取得する企業などのイメージに問題がないか（企業などの業種、沿革、社会的認知度、経営状況など）
- 6 権利を取得する企業などが地元企業であるか
- 7 その他（ ）

問4 問1で「1 賛成である」に○をした方にお聞きます。ネーミングライツで得た収入は、どのように使うのがよいと考えますか。次の中から1つだけ、○をしてください。

- 1 導入施設の運営・維持管理経費（施設の修繕、光熱水費、人件費など）
- 2 導入施設の設備更新や機能向上（新たな設備の導入や施設の拡充など）
- 3 導入施設を使用した新たなサービス（新たなイベントの開催や利便性の向上など）
- 4 導入施設に限定せず、市全体の財源として使用（市債借入れの抑制、他の施策の充実など）
- 5 その他（ ）

問5 問1で「2 反対である」に○をした方にお聞きます。ネーミングライツの導入に反対の理由は何ですか。次の中から2つ以内で選び、○をしてください。

- 1 公共の施設などに特定の企業名や商品名が付くことに抵抗感がある
- 2 契約期間ごとに施設などの名称が変わる可能性があり、分かりづらい
- 3 企業名や商品名が付くことにより、本来の施設の目的が分かりづらい
- 4 長野市の施設であること、長野市にある施設であることが分かりづらい
- 5 権利を取得した企業などに不祥事があった場合、市や施設のイメージが損なわれる恐れがある
- 6 他の企業などが主催するイベントや大会などが開催しづらくなる恐れがある
- 7 その他（ ）

【長野市の公共施設について】

わが国では、高度経済成長期に整備された数多くの公共施設が今後耐用年数を迎え老朽化が進むことから、施設の安全確保に向けた取り組みが急務となる一方、近年の財政状況を勘案すると、施設の維持管理・更新費の十分な確保は困難な状況にあります。

本市においても、少子高齢化の進行による税収の減少や社会保障費の増加、人口減少に伴う施設利用者数の減少などから、全ての公共施設を今のまま維持・更新していくことは難しくなると考えられます。今後、持続可能な行政サービスを提供していくためにも、施設の用途変更や統廃合、複合化・多機能化による施設総量（延床面積）の縮小なども含め、さまざまな視点から公共施設の将来の在り方について検討することが必要になるため、お聞きます。

問6 長野市の公共施設の利用状況についてお聞きます。

あなたは、長野市の公共施設をどの程度利用していますか。回答欄の(1)～(13)の長野市の公共施設について、利用されている方は、「週に3回以上」、「月に数回」、「年に数回」から1つ選んで、回答欄に○をしてください。（観覧・参観などの利用だけでなく、主催者、演者、競技者などとしての場合も含みます）

また、利用されていない方は、＜利用していない理由＞欄にその理由として当てはまる番号を1つ選んで、回答欄の数字に○をしてください。「10」に○をした方は、その理由もご記入ください。

【回答欄】

施設名など	週に3回以上	月に数回	年に数回	<利用していない理由>										
				1 自宅や勤務先の近くに必要とする施設がない	2 駐車場が少ない、交通機関がなく、行きにくい	3 必要な時間に利用できない	4 サービス内容や利用方法が分からない	5 施設が古く、設備が整っていない	6 利用料金が高い	7 県・近隣市町村の施設を利用している	8 民間施設を利用している	9 利用の必要がない	10 その他	
(1) 市立公民館（分館を含む）・隣保館・人権同和教育集会所など				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	理由
(2) 篠ノ井市民会館・松代文化ホール・コンベンション施設				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
(3) 図書館				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
(4) 博物館・美術館・動物園				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
(5) 労働者等福祉施設 (勤労青少年ホーム・働く女性の家など)				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
(6) 温泉保養・宿泊施設 (松代荘、りんごの湯など)				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
(7) スキー場				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
(8) キャンプ場 (戸隠、飯綱など)				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
(9) 道の駅 (大岡、信州新町、中条)				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
(10) スポーツ施設 (市営体育館、市民プール、マレットゴルフ場など)				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
(11) 保健福祉施設 (保健センター・ふれあい福祉センターなど)				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
(12) 保育・子育て支援施設 (こども広場など)				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
(13) 高齢者施設 (老人福祉センター、憩の家など)				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	

問7 公共施設の総量を縮小（施設の数を減らしたり、規模を小さくすること）することに対するあなたの考えで、最も近いものに1つだけ○をしてください。

- 1 足りないので、増やすべき
- 2 全て必要なので、現状維持すべき
- 3 必要性を見直し、人口や税収入に見合った数や規模まで減らすべき
- 4 必要性が低いので、積極的に減らすべき
- 5 その他（ ）

問8 問7で選んだ理由として、あなたの考えに近いものを次の中から2つ以内で選び、○をしてください。

- 1 趣味・文化活動に必要
- 2 区や自治会の活動で利用するために必要
- 3 遠くなると、利用しづらくなる
- 4 公共施設は、地域ごとに、今までのように配置すべき
- 5 公共サービスが低下する
- 6 利用したい施設が公共施設しかない
- 7 遠くても、必要であれば利用する
- 8 施設が減っても、サービスが維持できればよい
- 9 公共施設に、同様な施設が多すぎる
- 10 県・近隣市町村の施設や、民間施設を利用する
- 11 維持管理費用が掛かる
- 12 老朽化による建て替えにより、市の財政負担が増える
- 13 あまり利用されているとは思えない
- 14 公共施設は利用しない
- 15 その他（ ）

問9 公共施設のサービスの提供に要する経費は、主に施設利用者の負担金と税金で賄っています。公共施設の利用者負担の見直しを検討することについて、あなたはどのように思われますか。あなたの考えに最も近いものに1つだけ○をしてください。

- 1 利用者負担を増やすことは当然
- 2 利用者負担は増やさず、税金で維持すべき
- 3 利用者負担や税金を増やさなければ維持できない施設は、なくなってしまっても仕方ない
- 4 公共施設は利用しないので、分からない
- 5 その他（ ）

【コンビニ納付・ペイジー納付について】

問10 長野市では、今年4月からコンビニ納付・ペイジー納付を開始しました。長野市の税金、国民健康保険料、介護保険料および後期高齢者医療保険料のコンビニ納付とペイジー納付について、お聞きします。

- コンビニ納付（コンビニエンスストアでの納付）について当てはまるものに、1つだけ○をしてください。
 - 1 すでに利用したことがある →問11へ
 - 2 できることは知っているが、実際に使ったことはない
 - 3 できることを知らなかった
- ペイジー納付（金融機関のインターネットバンキングやペイジー対応ATMなどを利用した電子納付）について当てはまるものに、1つだけ○をしてください。
 - 4 すでに利用したことがある →問12へ
 - 5 できることは知っているが、実際に使ったことはない
 - 6 できることを知らなかった

問11 問10で回答が「1」の方にお聞きします。

コンビニ納付を利用した主な理由を次の中から1つだけ○をしてください。

- 1 自宅、勤務先の近くにコンビニがある
- 2 市役所、銀行などの営業時間外に利用できる
- 3 市役所、銀行などで待つことなく利用できる
- 4 公金振込用紙の記入を省ける
- 5 買い物に行ったついでに納付できる
- 6 その他（ ）

問12 問10で回答が「4」の方にお聞きします。

ペイジー納付を利用した主な理由を次の中から1つだけ○をしてください。

- 1 自宅のパソコンや携帯電話などで納付できる
- 2 市役所、銀行などの窓口営業時間外に利用できる
- 3 市役所、銀行などの窓口やコンビニのレジに並ぶ必要がない
- 4 預貯金口座から直接支払いができる
- 5 預貯金通帳に取引記録を残せる
- 6 その他（ ）

【市政全般について】

問20 あなたの日常生活を思い出していただき、No. 1 からNo.44のそれぞれの質問項目について、最も当てはまると思われる番号1つに○をしてください。実感や印象、経験でお答えください。

No.	質問項目	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	分からない
例	□□□□や△△△△な環境が整っている	1	2	3	4	5

《都市整備について》

1	魅力と賑わいがある中心市街地が整備されている	1	2	3	4	5
2	公共施設や歩道は、すべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている	1	2	3	4	5
3	歴史的街並みや自然環境に調和した景観が整備されている	1	2	3	4	5
4	公共交通機関が、利便性と環境負荷の軽減を考慮しながら整備されている	1	2	3	4	5
5	日常生活において、使いやすい道路が整備されている	1	2	3	4	5
6	高速インターネットなどの情報通信サービスを利用できる環境が整っている	1	2	3	4	5

《産業、経済について》

7	自然や歴史資源を活用した魅力ある観光都市づくりが行われている	1	2	3	4	5
8	競争力があり価値が高い農産物が生産されている	1	2	3	4	5
9	山あいの地域で、いきいきと農業の生産活動が行われている	1	2	3	4	5
10	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている	1	2	3	4	5
11	工業や製造業に活気がある	1	2	3	4	5
12	個性的で魅力的なお店が増えている	1	2	3	4	5
13	働きたい人が仕事につきやすい環境がある	1	2	3	4	5

《教育、文化について》

14	子どもたちが、いきいきと学ぶ環境が整っている	1	2	3	4	5
15	地域ぐるみで子どもを育てていく環境がある	1	2	3	4	5
16	文化・教育・趣味の講座など、学びたいことを学ぶことができる環境が整っている	1	2	3	4	5
17	歴史・文化の保存や継承が、適切に行われている	1	2	3	4	5
18	子どもから高齢者まで、誰もが気軽にスポーツに取り組める環境が整っている	1	2	3	4	5
19	外国の人や文化との交流が行われている	1	2	3	4	5

《防災・安全について》

20	地震や水害などに対する地域での防災体制が整っている	1	2	3	4	5
21	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている	1	2	3	4	5
22	消費者トラブルや交通事故・犯罪の起こりにくい地域がつけられている	1	2	3	4	5

〈問20の続き〉

No.	質問項目	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	分からない
-----	------	------	--------	-----------	--------	-------

《環境について》

23	地域・企業・行政が一体となった地域全体の環境保全が行われている	1	2	3	4	5
24	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある	1	2	3	4	5
25	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである	1	2	3	4	5
26	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている	1	2	3	4	5
27	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている	1	2	3	4	5
28	やすらぎや潤いを感じられる公園や河川が整備されている	1	2	3	4	5

《保健・福祉について》

29	安心して子どもを産み育てることができる環境が整っている	1	2	3	4	5
30	高齢者向けの福祉・介護サービスが地域で受けられる環境が整っている	1	2	3	4	5
31	高齢者が地域社会でいきいきと活躍できる環境がある	1	2	3	4	5
32	障害者が暮らしやすく社会参加しやすい環境が整っている	1	2	3	4	5
33	地域や隣近所で互いに支え合い助け合う関係が築かれている	1	2	3	4	5
34	健康相談や健診など健康づくりを支援する環境が整っている	1	2	3	4	5
35	専門医療や救急医療を受けられる体制が整っている	1	2	3	4	5
36	生まれや育ちにより差別されない平等な地域社会が築かれている	1	2	3	4	5
37	男女が尊重しあい、等しく参加・活躍できる地域社会が築かれている	1	2	3	4	5

《行政経営について》

38	市民の意見を取り入れて、市民と行政が協力したまちづくりが行われている	1	2	3	4	5
39	地域で自治会や住民グループが積極的に活動している	1	2	3	4	5
40	山あいの地域で、農業や自然を活用した地域づくりが行われている	1	2	3	4	5
41	地方の拠点都市または県都「長野市」として周辺地域をリードしている	1	2	3	4	5
42	他の都市との間で観光や文化など、市域や県域を越えた交流や協力がある	1	2	3	4	5
43	市役所は、行政改革に積極的に取り組んでいる	1	2	3	4	5
44	市役所の職員の対応や取り組みは好感が持てる	1	2	3	4	5

問21 住み良い長野市をつくるため、特に力を入れるべきだと思う施策を下記45項目の中から5つ選んで、回答欄に番号を記入してください。

分野	番号	項目	分野	番号	項目
都市整備	1	中心市街地の再生	環境	24	環境教育や環境学習の推進
	2	ユニバーサルデザインのまちづくり		25	自然環境と生態系の保全
	3	きれいな景色や歴史的な街並みの保全		26	ごみの減量・再資源化の促進
	4	バスや鉄道などの移手段の確保		27	不法投棄や公害の防止
	5	幹線道路や生活道路の整備		28	上下水道の整備
	6	情報通信基盤の整備		29	緑化の推進、河川等の水辺環境の整備
産業・経済	7	多様な観光交流の推進	保健・福祉	30	子育て支援の充実
	8	農業の再生・振興		31	介護予防の充実、介護サービスの充実
	9	山あいの地域の農業の振興		32	高齢者の生きがいつくり
	10	豊かな森林づくり		33	障害者福祉の充実
	11	工業の活性化		34	地域での支え合いの環境づくり
	12	商店街などの商業の活性化		35	健康づくりの推進
教育・文化	13	安定した雇用の確保	行政経営	36	医療体制の整備・充実
	14	学校教育の充実		37	人権尊重社会の実現
	15	地域ぐるみでの子どもの健全育成		38	男女共同参画社会の実現
	16	生涯学習の推進		39	開かれた市政、市民参画の推進
	17	文化芸術活動への支援、文化遺産の継承		40	地域コミュニティの活動支援
	18	生涯スポーツや競技スポーツの振興		41	山あいの地域の魅力の向上
防災・安全	19	国際交流や多文化共生の推進	42	地方分権、広域行政の推進	
	20	防災対策の推進	43	県内外の他市との連携の推進	
	21	消防・救急・救助体制の充実	44	民間活力の活用、行政改革の推進	
	22	交通安全対策の推進	45	利用しやすい行政サービスの提供	
	23	防犯対策の推進			

回答欄

1	2	3	4	5

アンケートは以上です。

お忙しいところ、ご協力いただきましてありがとうございました。

恐れ入りますが、**11月8日(金)**までに、同封の返信用封筒にてご返送ください。

平成 2 6 年 3 月発行

発行：長野市

編集：長野市企画政策部 広報広聴課

長野市大字鶴賀緑町 1613 番地 電話 026 (224) 5004 (直通)

E-mail : kouhou-kouchou@ci ty.nagano.lg.jp

<http://www.ci ty.nagano.nagano.jp/>

集計・印刷：カシヨ株式会社